Printia LASER

B5WY-0601-02

Printia LASER XLシリーズ

取扱説明書

ページプリンタ　XL-6300

製品を安全に使用していただくために

●本書の取り扱いについて

本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要なことがらが記載されています。製品を使用する前に本書をよくお読みください。
特に、本書に記載されている「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、内容をよく理解したうえで製品を使用してください。
本書は、お読みになった後も製品の使用中いつでも参照できるように、大切に保管してください。
富士通は、お客様の生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために細心の注意を払っています。当製品を使用する際は、本書の説明に従ってください。

● ＶＣＣＩ 適合基準について

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

●電源の瞬時低下について

本製品は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。ただし、ページプリンタは突入電源が大きいため、その仕様を満足する交流無停電電源装置等をご使用ください。

（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

●電源高調波について

本製品は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

●国際エネルギースタープログラムについて

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

●本製品およびオプション品のハイセイフティ用途での使用について

本製品およびオプション品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

・ 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

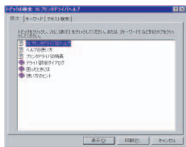
●リサイクル部品の使用について

地球環境への配慮から本製品には一部リサイクル部品を使用しています。

●レーザ規格について

本製品は、危険なレーザ光を出さない「クラスⅠ」のレーザシステムです。本書に従って操作してください。本書に書かれた以外の操作は行わないでください。思わぬ故障や事故を起こす原因になります。

はじめに

このたびは、弊社のページプリンタ XL-6300 をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
XL-6300 は最大 40 ページ／分の高速印刷が可能なページプリンタです。
本書では、プリンタの設置や取り扱いに関することがらについて説明しています。
本書にしたがって正しく取り扱い、本プリンタを有効にご利用ください。
なお、本書で使用する画面表示例では、プリンタ名を XL-XXXX と表示している箇所があります。このときは、お使いのプリンタ名で読み替えてください。機種やソフトウェアのバージョン、OS によっては表示内容が一部異なることがあります。

2004 年 10 月

マニュアルの種類

本プリンタでは、次のマニュアルを用意しています。目的に応じて参照してください。

	設置ガイド プリンタを梱包箱から取り出し、単体で使用できるようにするまでを説明した印刷物です。
	取扱説明書 プリンタの設置と運用について、基本的なことを説明した印刷物です。 同じ内容の PDF ファイルが、添付の CD-ROM に収められています。
	オンラインマニュアル（PDF） 添付の CD-ROM 内にソフトウェア編、取扱説明書等、機能ごとにいくつかの PDF ファイルが収められています。 本製品の設置・運用に必要な手順および本プリンタの持つすべての機能について説明しています。
	オンラインヘルプ 「オンラインヘルプ」では、プリンタドライバのプロパティ、および添付ソフトウェアの各機能について調べることができます。ヘルプを参照するには、次の 2 つの方法があります。 ・［?］をクリックする ・各画面にある［ヘルプ］ボタンをクリックする

マニュアルの構成

本プリンタのマニュアルの構成を以下に説明します。

取扱説明書

●セットアップ編

目次	内容
第 1 章　お使いになる前に	本プリンタを使用する前に知っておいていただきたいことについて説明しています。
第 2 章　プリンタ本体の設置	プリンタ本体の設置方法からプリンタが単体で正しく動作することを確認するまでの手順を説明しています。
第 3 章　オプションの装着	オプションの取り付け方について説明しています。

●運用編

目次	内容
第 4 章　日常の操作	本プリンタを使用するうえで日常的に必要となる操作について説明しています。
第 5 章　オペレータパネルの操作	プリンタの液晶ディスプレイに表示される内容と、オペレータパネルの操作のしかたについて説明しています。
第 6 章　用紙について	本プリンタで使用できる用紙とその保管のしかたについて説明しています。
第 7 章　こんなときには	故障が発生したと思われるとき、紙づまりのとき、各種メッセージが表示されたときの処置のしかたについて説明しています。
付録	本プリンタを使用する際に補助的に必要となることがらについて説明しています。

オンラインマニュアル

目次	内容
ソフトウェア編	プリンタ設置後、パソコンから印刷を行えるようにするまでの手順や、プリンタドライバや添付ソフトウェアの使い方などの、ソフトウェアに関することがらについて説明しています。 主な記載内容： ・プリンタドライバのインストール手順や機能の利用方法 ・プリンタを共有するときの設定方法 ・プリンタ管理ソフトウェアの使い方 ・Web ブラウザからのプリンタの状態参照や設定方法
エミュレーション編	本プリンタをエミュレーションモード（ESC/P モード）で印刷する場合の設定方法について説明しています。

章構成についての詳細は、オンラインマニュアルを参照してください。

オンラインマニュアルの見かた

オンラインマニュアルは、本プリンタに添付されている CD-ROM に、PDF ファイルとして収録されています。
PDF ファイルの内容を参照するには、「Adobe Reader」というソフトウェアが必要です。お使いのパソコンに「Adobe Reader」がインストールされていない場合は、本製品添付の CD-ROM からインストールしてください。

● Adobe Reader のインストール

添付の CD-ROM から次の手順で Adobe Reader をインストールすることができます。

添付の CD-ROM「Printia LASER プリンタユーティリティ」を、パソコンの CD-ROM ドライブにセットし、Printianavi インストーラが自動的に起動したら [Adobe Reader] をクリックする

Adobe Reader のインストーラが起動します。
画面の指示に従ってインストールを行ってください。

ガイド

・Printianavi インストーラが自動的に起動しない場合は、エクスプローラで CD-ROM の「Adreader」フォルダにある「Adrdr.exe」をダブルクリックし、インストールを行ってください。
・Adobe Reader がインストールできない場合は、エクスプローラで CD-ROM の「Adreader」フォルダにある「Ar51jpn.exe」をダブルクリックし、Acrobat Reader5.1 のインストールを行ってください。
・Adobe Reader は PDF（Portable Document Format）形式のファイルを閲覧・印刷するソフトウェアです。Adobe Reader は、アドビシステムズ社よりライセンスされ、無償配布するものです。
・最新版の Adobe Reader の入手方法およびその他情報につきましては、アドビシステムズ社にお問い合わせください。
　アドビシステムズ社　URL：http://www.adobe.co.jp
※上記 URL は、本書発行時点でのものです。

●オンラインマニュアルの使いかた

オンラインマニュアルは、Adobe Reader がインストールされたパソコンから次の手順で表示します。

1 添付の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

Printianavi インストーラが自動的に起動します。

ガイド

Printianavi インストーラが自動的に起動しない場合は、エクスプローラで CD-ROM ドライブ直下の xlsetup.exe（CD-ROM ドライブが D: のときは「D:¥xlsetup.exe」）を実行するか、CD-ROM の「Manual」フォルダにある「Index.pdf」をエクスプローラから開き、3 に進んでください。

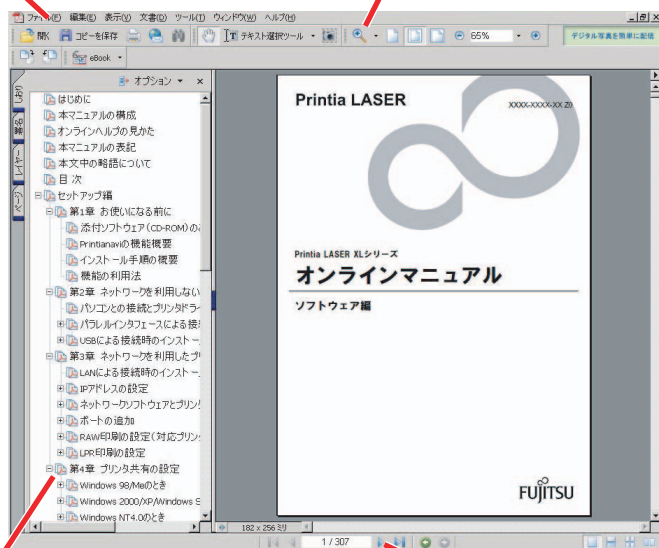
2 ［オンラインマニュアル］をクリックする

Adobe Reader が起動し、オンラインマニュアルの表紙が表示されます。

3 参照するマニュアル名をクリックする

マニュアルの本文は、次のような画面となります。

メニューバー
プルダウンメニューから印刷やAdobe Readerのヘルプの表示などを行うことができます。

ツールバー
をクリックすると表示を拡大します。
また、検索などの操作を行うことができます。

しおり
見出しをクリックすると、そのページを表示します。
⊞が表示されている場合、これをクリックすると次のレベルの見出しが表示されます。

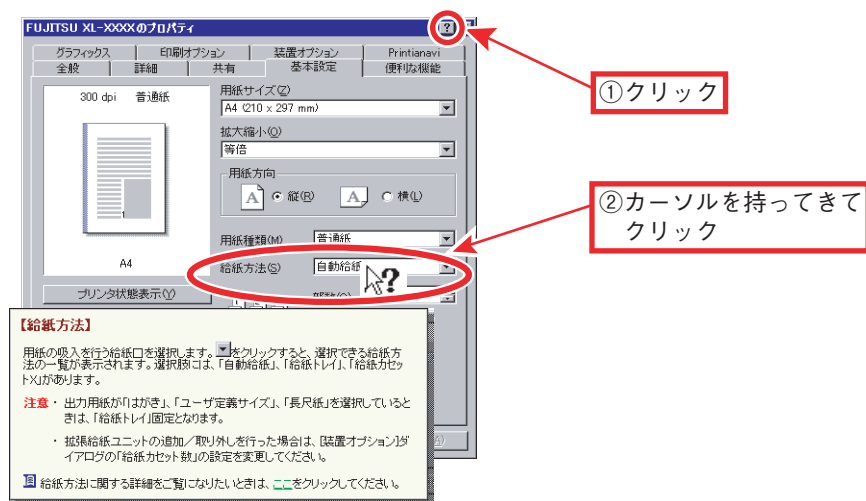
ステータスバー
をクリックすると次のページを表示します。

オンラインヘルプの見かた

オンラインヘルプを参照する方法を、以降に示します。

[?] をクリックする

ダイアログの右上にある ? をクリックするとカーソルの形が ? に変わります。その状態のまま、説明が必要な項目をクリックするとダイアログ上にポップアップウィンドウが表示されます。

（例）給紙方法についてのヘルプをみる場合

[ヘルプ] ボタンをクリックする

[ヘルプ] ボタンがあるダイアログで [ヘルプ] ボタンをクリックすると、そのダイアログに関する詳細なヘルプが表示されます。
詳しい利用方法については、ヘルプの［目次］の「ヘルプの使いかた」を参照してください。

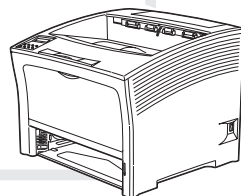
製品に関する注意事項

ここでは、お客様に特に見ていただきたいことや、注意していただきたい項目について概要を説明します。詳細は、本文をよくお読みになったうえで本プリンタを正しくお使いください。

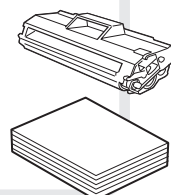
製品寿命（耐用期間）について

本プリンタの耐用期間（寿命）は、以下のいずれか早いほうです。
- 100万ページ印刷（A4サイズ横送り）
- 5年（8時間/日）

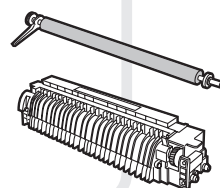
注）耐用期間は、プリンタの設置環境・使用頻度により大幅に変動します。

参照 「プリンタの基本仕様」（180 ページ）参照

サプライ品（消耗品）について

プロセスカートリッジや用紙などは、本プリンタ専用の純正サプライ品をお使いください。
非純正サプライ品をお使いになったことによる、製品のトラブル、誤動作については当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。

参照 「サプライ品一覧」（187 ページ）参照

定期交換部品について

定期交換部品の交換時期の目安は以下になります。
- 定着器（除電シート含む）　10万ページ印刷
- 用紙搬送ロールキット　　20万枚印刷
- 転写ロール　　　　　　　20万ページ印刷

上記は、A4サイズ横送り/片面印刷での目安であり、これ以外の印刷の場合、交換時期がずれることがあります。

オンラインマニュアルについて

オンラインマニュアルは、本プリンタに添付されているCD-ROMに、PDFファイルとして収録されています。

参照 「オンラインマニュアルの見かた」（5 ページ）参照

プリンタドライバのバージョンを確認する方法

本プリンタに関するお問合せをするときに、お問い合わせの内容によってプリンタドライバのバージョンを聞かれる場合があります。
プリンタドライバのバージョンをご確認のうえ、お問い合わせください。

参照 『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

本マニュアルの表記

本マニュアルでは、説明する内容により、以下の用語を使用しています。

お願い	本製品を正しく使っていただくための依頼事項を説明しています。操作する前に必ずお読みください。
ガイド	本製品を使う際に参考にしていただきたい内容を説明しています。必要に応じてお読みください。
参照	本書内で参照していただきたい参照先を示します。
参照	オンラインマニュアル内で参照していただきたい参照先を示します。

本文中の略語について

各製品を以下のように略記しています。

製品名称	本文中の表記
Microsoft® Windows Server™ 2003, Standard Edition	Windows Server 2003
Microsoft® Windows Server™ 2003, Enterprise Edition	
Microsoft® Windows® XP Professional	Windows XP
Microsoft® Windows® XP Home Edition	
Microsoft® Windows® 2000 Professional	Windows 2000
Microsoft® Windows® 2000 Server	
Microsoft® Windows NT® Workstation Version 4.0	Windows NT 4.0
Microsoft® Windows NT® Server Version 4.0	
Microsoft® Windows® Millennium Edition	Windows Me
Microsoft® Windows® 98	Windows 98
Microsoft® Windows® 95	Windows 95
Microsoft® Windows® Version 3.1	Windows 3.1
Adobe® Reader	Adobe Reader
Adobe® Acrobat® Reader	Acrobat Reader

注：Windows 98/Me/NT4.0/2000/Windows Server 2003 のように併記する場合があります。

●警告表示マークについて

本書では、製品を安全にかつ正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられる恐れのある危害や損害を未然に防止するために、次のような表示をしています。

⚠ 警告	⚠ 注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

絵記号の例とその意味	
	△で示した記号は、警告、注意を促す事項であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容を表す絵（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⃠ で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

安全上のご注意

プリンタ設置および移動時のご注意

プリンタの上に花びん、植木鉢、コップなどの水の入った容器、金属物を置かないでください。

感電・火災の原因となります。

湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所に置かないでください。

感電・火災の原因となります。

電源プラグは、交流100V、15A専用コンセント以外には差し込まないでください。たこ足配線をしないでください。

感電・火災の原因となります。本機定格電源は100V、10Aとなっています。

添付の電源コード以外は使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

プリンタや他の機器の電源コードの上にプリンタをのせないでください。

電源コードが傷つき、感電・火災・故障の原因となります。

ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、アルコール、シンナー、ガソリンなど揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近くにはプリンタを設置しないでください。

火災の原因となります。

延長コードは、定格（125V、15A）未満のものは使用しないでください。特に容量不足の延長コードは絶対に使用しないでください。

異常な発熱や火災の原因となります。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

- ガス管（引火や爆発の危険があります。）
- 電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。）
- 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）

風呂場、シャワー室などの水場に置かないでください。

感電・火災の原因となります。

⚠ 警告

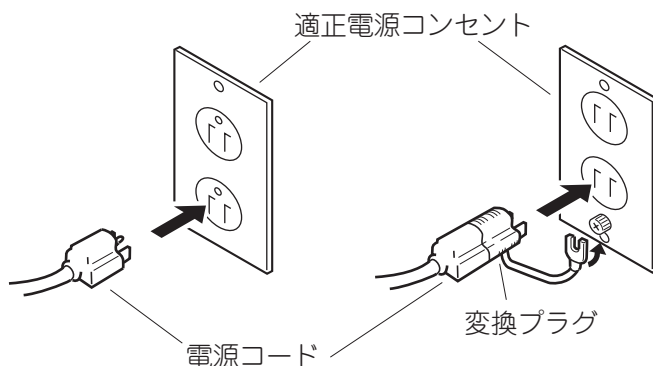
変換プラグを使用する場合は、緑色のアース線を必ずいずれかに取り付けてください。

・電源コンセントのアース線

・銅片などを650mm以上地中に埋めたもの

・接地工事（第３種）を行っている接地端子

アース接続は必ず電源プラグを電源に差し込む前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から抜いてから行ってください。アース接続できない場合は、「ハードウェア修理相談センター」（191ページ）にご連絡ください。

アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電・火災の原因となります。

パラレルケーブルおよびオプション製品の取り付け取り外しを行うときは、必ずプリンタ本体および接続されている機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

感電の原因となります。

オプション機器を接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。

感電・火災・故障の原因となります。

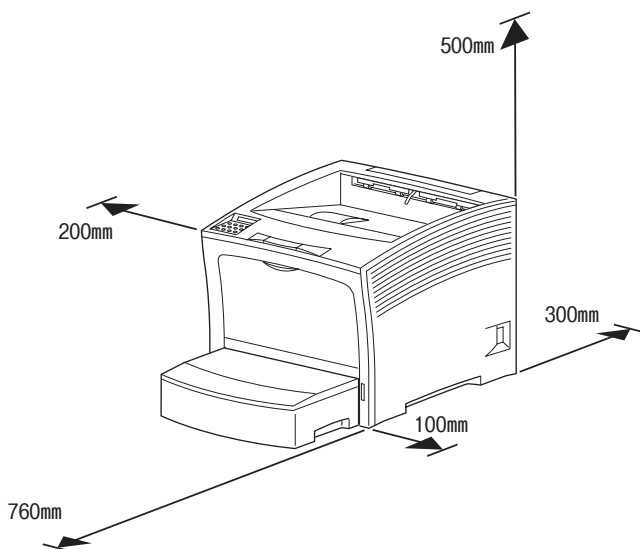
近くで雷が起きたときは、電源コードをコンセントから抜いて、雷がおさまるのを待ってください。

入れたままにしておきますと、雷によっては機器を破壊し、火災の原因となります。

直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、高温になる場所に長時間放置しないでください。

高温によりカバーなどが過熱、変形、溶解する原因となったり、プリンタ内部が高温となり、火災の原因となることがあります。

プリンタの背面と側面には通風口があります。プリンタは壁から100㎜以上離して設置してください。

通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。プリンタの操作および消耗品類の交換、日常の点検など、プリンタを正しく使用し、プリンタの性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。
プリンタの上部には、日常の操作に必要な500mm以上のスペースを確保してください。

プリンタの上に重いものを置かないでください。また、衝撃を与えないでください。

バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

オプション類の装着、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。

指定された場所以外のネジを外すと、けがや故障の原因となることがあります。

プリンタは重さ約88kg（フルオプション、消耗品を含む）に耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。

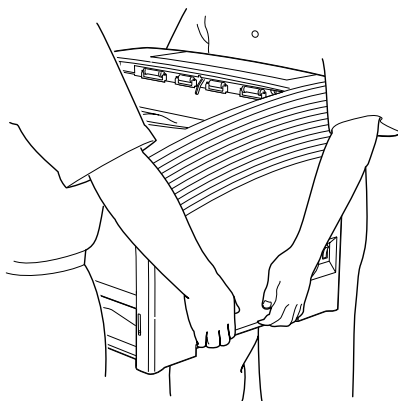
プリンタの転倒などによりけがの原因となることがあります。

プリンタを移動する場合は、プリンタを傾けないでください。

プリンタの転倒などによりけがの原因となることがあります。

プリンタは、オプションや消耗品、用紙が入っていない状態で約25kgあります。プリンタを動かす場合は必ず２人以上で持ち運んでください。

プリンタ本体に拡張給紙ユニット、大容量給紙ユニットを取り付けたまま移動することは危険なので絶対にしないでください。プリンタを動かす場合は、必ずプリンタ本体から拡張給紙ユニット、大容量給紙ユニットを取り外して別々に移動してください。また、プリンタを持ち上げるときは、プリンタの左右にあるくぼみをしっかりと持ってください。くぼみ以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。

落下によりけがの原因となることがあります。

プリンタを移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなどもはずしてください。

作業は足元に十分注意して行ってください。

電源コードが傷つき、感電・火災の原因となったり、本プリンタが倒れたりしてけがの原因となることがあります。

プリンタ使用時のご注意

プリンタに水をかけたり、濡らしたりしないでください。

感電・火災の原因となります。

開口部（通風口など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

感電・火災の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工しないでください。

重いものを載せたり、引っぱったり、無理に曲げたり、ねじったり、過熱したりすると、電源コードを傷め、感電・火災の原因となります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。修理は「ハードウェア修理相談センター」（191 ページ）にご連絡ください。

異常音がするなどの故障状態で使用しないでください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。
故障の修理は、「ハードウェア修理相談センター」（191 ページ）にご連絡ください。

カバーを外した状態で電源プラグを差したり、電源を入れたりしないでください。

感電・火災の原因となります。

プリンタの近くで強燃性スプレーを使用しないでください。

火災の原因となります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となります。

ネジで固定されているパネルやカバーなどは、本書で指示してある箇所以外絶対に開けないでください。内部の点検、修理は「ハードウェア修理相談センター」（191 ページ）にご連絡ください。

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となったり、レーザ光漏れにより失明する恐れがあります。

プリンタを改造したり、部品を変更して使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

⚠ 警告

電源プラグの金属部、およびその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。

そのまま使用すると、火災の原因となります。

取り外したカバー、キャップ、ネジ等は、小さなお子さまが誤って飲むことがないように、小さなお子さまの手の届かないところに置いてください。

万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

万一、プリンタから発熱や煙、異臭や異音などが発生した場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

煙が消えるのを確認して、「ハードウェア修理相談センター」(191ページ)に修理をご依頼ください。お客さま自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。

万一、異物(金属片、水、液体など)が内部に入った場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、「ハードウェア修理相談センター」(191ページ)にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

プリンタを落としたり、カバーなどを破損した場合は、プリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、「ハードウェア修理相談センター」(191ページ)にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

注意

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源コードを引っぱると電源コードの芯線が露出したり、断線したりして、感電・火災の原因となることがあります。

使用中のプリンタは布などでおおったり、包んだりしないでください。

熱がこもり、火災の原因となることがあります。

プリンタの電源を入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。

プラグが変形し、火災の原因となることがあります。

プリンタの内部には磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。

プリンタが動作状態になる場合があり、けがの原因となることがあります。

電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。

火災・故障の原因となることがあります。

つまった用紙を取り除くときは、プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。

紙片が残ったままになっていると火災の原因となることがあります。なお、定着器やローラ部に用紙が巻き付いているときは無理に取らないで、直ちに電源を切り、「ハードウェア修理相談センター」（191ページ）にご連絡ください。

つまった用紙を取り除いたり故障処置を行うときは、鋭利部に触れないよう注意してください。

けがの原因となることがあります。

つまった用紙を取り除いたり故障処置を行うときは、ネクタイやネックレスなどがプリンタ内部に巻き込まれないように注意してください。

けがの原因となることがあります。

「高温注意」を促すラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対触れないでください。

やけどの原因となることがあります。

１カ月に一度はプリンタの電源を切り、次のような点検をしてください。

- **電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれていますか。**
- **電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどがありませんか。**
- **電源プラグやコンセントに細かいホコリがついていませんか。**
- **電源コードに亀裂や擦り傷などはありませんか。**
- **アース線は取り付けられていますか。**

なお、異常がある場合は「ハードウェア修理相談センター」（191ページ）にご連絡ください。

⚠ 注意

長期間、プリンタを使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電・火災の原因となることがあります。

プリンタの清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源スイッチを切らずにプリンタの清掃や保守を行うと、やけどや感電の原因となることがあります。

用紙排出部のローラが作動しているとき作動部には触れないでください。

指を挟み、けがをする原因となることがあります。

プロセスカートリッジの取り扱い上のご注意

プロセスカートリッジを火中に投入しないでください。

火中に投入すると、トナー粉がはねて、やけどの原因となります。使用済みのプロセスカートリッジを処分するときは、当社の回収サービスをご利用ください。

参照 「使用済みプロセスカートリッジの回収サービス」（191 ページ）参照

トナーは目や口に入らないように注意してください。

プロセスカートリッジの交換時などにトナーが手に付いた場合は、速やかに洗い落としてください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

プロセスカートリッジを保管する場合は、小さなお子さまがトナーを誤って飲むことがないように、小さなお子さまの手の届かないところに置いてください。

万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

目次

セットアップ編

第3章　オプションの装着 67

運　用　編

セットアップ編

第 1 章

お使いになる前に

この章では、プリンタを使用する前に知っておいていただきたいことについて説明します。

本機の特長

本機の特長を示します。

1 高速で高品位な印刷

XL-6300 は最大 40 ページ / 分の高速での印刷やメモリの増設を行わずに標準で解像度 1200dpi の高品位な印刷が可能です。

2 ３つのポートに対応

USB、パラレル、LAN の３つのポートを標準装備しています。
また、Windows 2000/XP/Windows Server 2003 をご使用の場合、OS の標準 TCP/IP プリンタポートによる RAW 設定での印刷も可能です。

3 高性能なプリンタドライバとネットワークソフトウェア

・プリンタドライバの設定により、N-up 印刷や拡大縮小印刷など、さまざまな印刷が可能です。
・Printianavi 機能を利用することにより、プリンタの状態表示、印刷中止、印刷完了通知などがパソコンで行えるようになります。
・ネットワークソフトウェアにより、LAN やインターネット環境への対応や複数のプリンタの管理を実現します。

参照　詳細は、『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

4 さまざまな用紙サイズに対応

定形では、最大 A3 サイズの用紙への印刷が可能です。また、はがき、ユーザ定義サイズ (長尺紙を含む) といったさまざまな種類の用紙への印刷も可能です。

5 便利な機能

給紙トレイおよび給紙カセット（オプションを含む）ごとに、自動給紙の指定（有効／無効）が可能です。

6 優れた拡張性

次のオプションを用意しており、使用環境に合わせて機能を拡張することができます。
・両面ユニットを取り付けることにより、用紙の両面に印刷することができます。
・標準の給紙カセット以外に拡張給紙ユニット、大容量給紙ユニットを 2 段まで取り付けることができ、最大 3,200 枚の用紙をセットすることができます。

7 各種ユーティリティを添付

プリンタの状態を監視する「Printianavi ネットワークマネージャ」、小冊子の印刷ができる「HyperPrint お試し版」、ワープロ感覚で帳票を作成できる「RepoAgent お試し版」、パソコンでバーコード印刷ができる「かんたんバーコード Lite」を添付しています。
※ 添付ソフトウェアは、本書発行時現在のものです。詳細は添付の CD-ROM を参照してください。

8 セキュリティ機能の充実

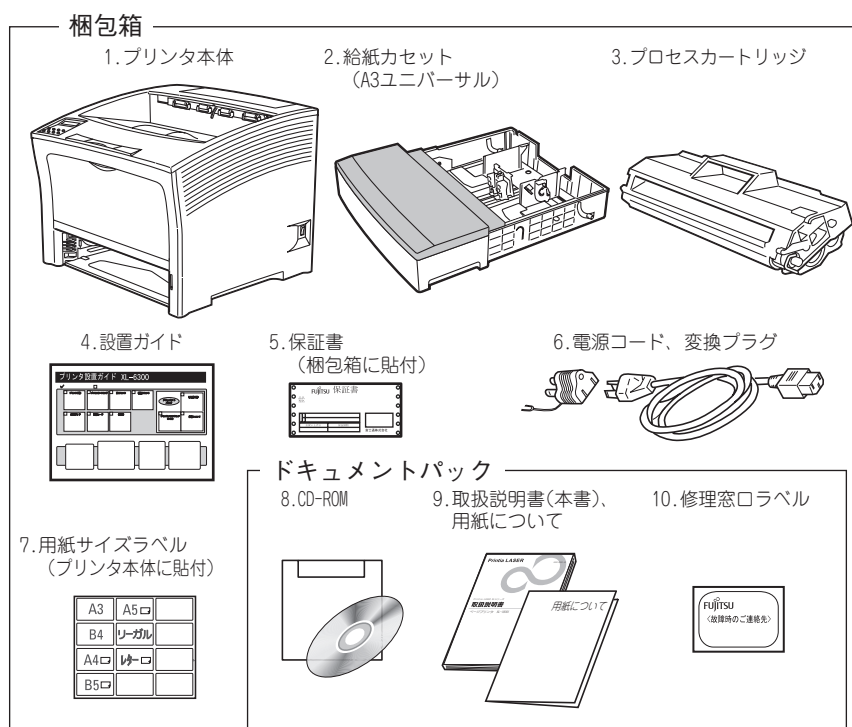
ネットワーク経由でプリンタを使用する場合、指定した IP アドレスのホストのみにプリンタへのアクセスを許可したり、管理者以外のユーザがプリンタの設定を勝手に変更したりできないようにするなどセキュリティ面でも優れた機能を持っています。

9 CIDR（サイダー）のサポート

IP アドレス空間を効率的に利用できる CIDR 技術に対応しています。

製品の確認（梱包されている製品）

本プリンタは、添付品とともに梱包材で保護し、梱包してあります。梱包箱から取り出して、製品が揃っていることを確認してください。万一、不良品や不足品がありましたら、ご購入元にご連絡ください。

※プリンタは、必ず 2 人以上で持ち運んでください。

お願い

本プリンタには、パソコンとの接続ケーブル (パラレルケーブル、USB ケーブル) は添付されていません。
別売ケーブルをお使いください。

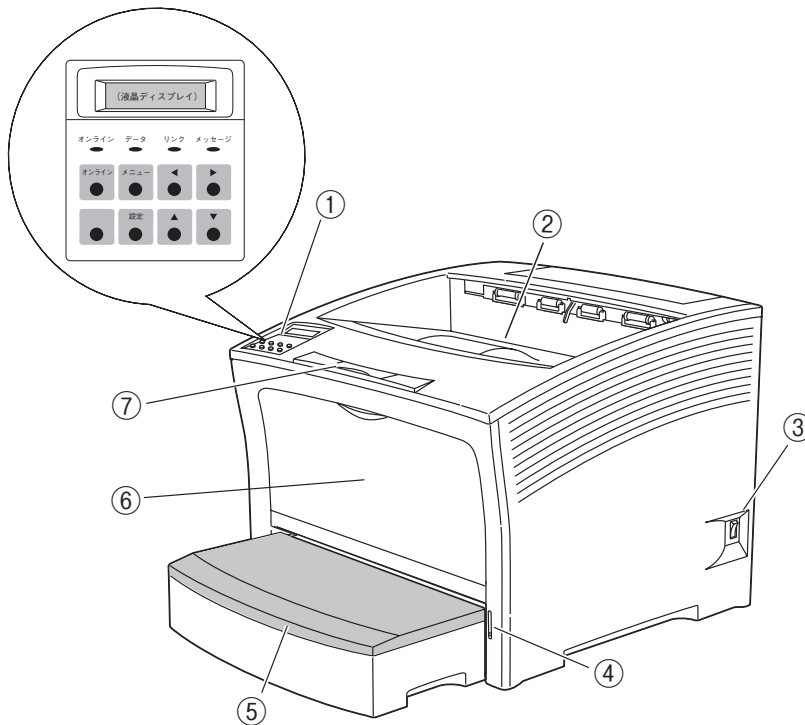
参照　「プリンタケーブル」（71 ページ）参照

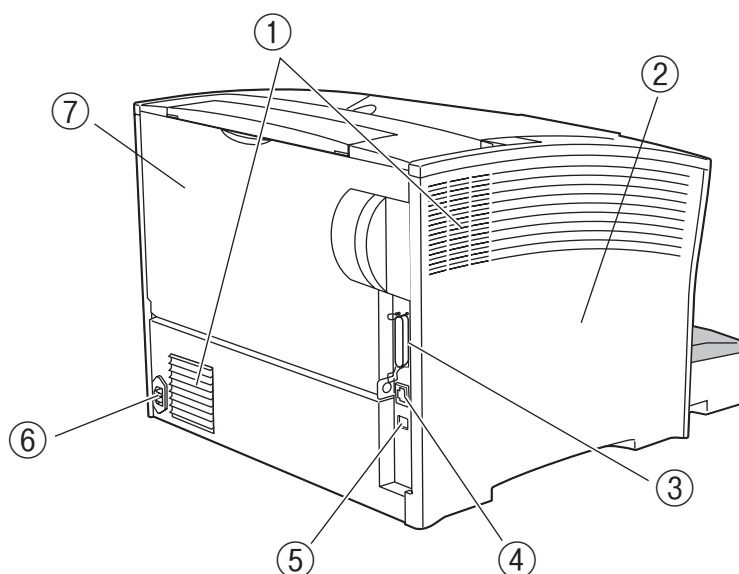
ガイド

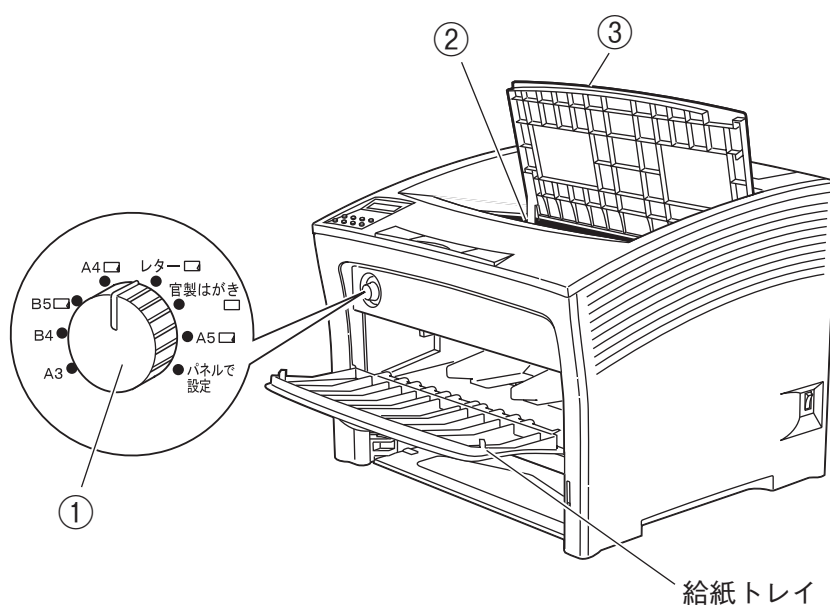
移転など、プリンタを運搬する可能性がある場合は、梱包箱を保管しておくと便利です。

各部の名称と機能

本製品の主要各部の名称と機能について説明します。

●前 面

①	オペレータパネル	操作に必要なスイッチ、表示ランプ、および液晶ディスプレイがあります。 参照　「第５章　オペレータパネルの操作」(117 ページ) 参照
②	排紙部	印刷された用紙がおもて面を下にして排出されます。
③	電源スイッチ	電源を入／切します。
④	用紙残量メータ	給紙カセット内の用紙残量の目安が表示されます。
⑤	給紙カセット (A3 ユニバーサル)	A5 ～ A3 サイズの用紙をセットします。
⑥	給紙トレイ	開いて用紙をセットします。A4 以下の用紙を横にセットした場合は、閉じたままで使用できます。
⑦	排紙トレイ／排紙止め	B4 や A3 などの長い用紙に印刷するときに使用します。

●背 面

①	通風口	プリンタ内部の過熱を防ぐため、熱が放出されます。通風口をふさがないでください。
②	サイドカバー	両面ユニット（オプション）やプリンタ RAM モジュール（オプション）を取り付けるときに外します。
③	パラレルケーブルコネクタ	プリンタとパソコンをパラレルインタフェースで接続するためのコネクタです。
④	LAN ケーブルコネクタ	プリンタを LAN 経由で接続するためのコネクタです。
⑤	USB ケーブルコネクタ	プリンタとパソコンを USB インタフェースで接続するためのコネクタです。
⑥	電源コードコネクタ	電源コードを差し込むコネクタです。
⑦	背面カバー	両面ユニットを取り付けるときや、つまった用紙を取り除くときに開きます。

●内 部

①	給紙トレイ用紙サイズスイッチ	給紙トレイにセットした用紙のサイズを設定するスイッチです。『パネルで設定』の位置にすると、プリンタドライバまたはオペレータパネルで設定したサイズが有効となります。
②	プロセスカートリッジ	感光ドラム、現像器ユニット、およびトナーから構成される機構です。
③	上部カバー	プロセスカートリッジを交換するときや、つまった用紙を取り除くときに開きます。

添付ソフトウェア（CD-ROM）について

添付 CD-ROM「Printia LASER プリンタユーティリティ」には、パソコンから印刷するために必要なプリンタドライバやネットワークで使用するために必要なソフトウェア、プリンタをより快適に使用するために便利な各種のソフトウェアが収録されています。
これらのソフトウェアは、Printianavi インストーラからインストールできます。Printianavi インストーラは、添付 CD-ROM「Printia LASER プリンタユーティリティ」を、パソコンの CD-ROM ドライブにセットすると自動的に起動します。

ガイド

・Printianavi インストーラが自動的に起動しない場合は、エクスプローラで CD-ROM の内容を表示し、一番上の階層にある「xlsetup.exe」をダブルクリックしてください。
・CD-ROM に収録されているソフトウェアの詳細は、『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」、および CD-ROM ドライブ直下にある「Readme.txt」を参照してください。

第2章

プリンタ本体の設置

この章では、プリンタ本体の設置方法と、プリンタが単体で正しく動作することを確認するまでの手順を説明します。

設置上のお願い

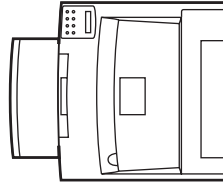
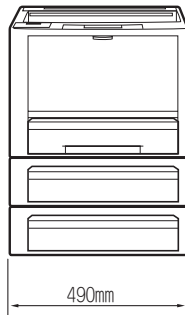
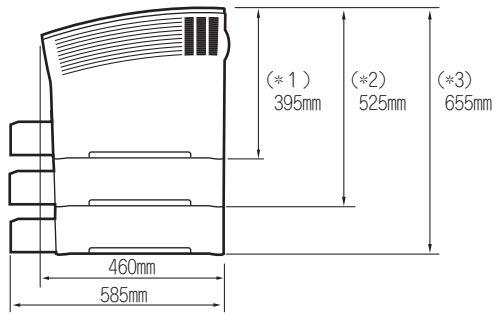
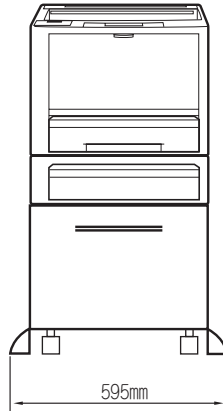
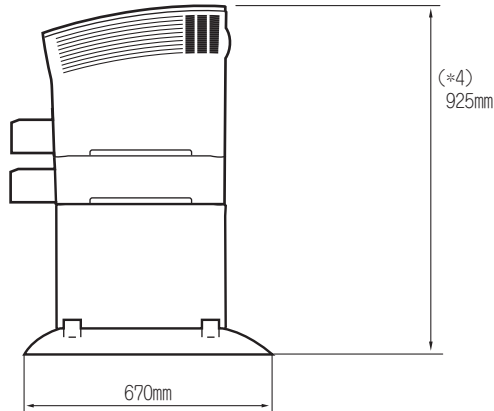
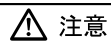
安全に快適にプリンタをご利用いただくために、安全上のご注意とともに、以下の点に注意して設置してください。

・いつも良い状態でご使用いただける環境範囲は次のとおりです。
　　温度 :10 ～ 32 ℃　　湿度 :15 ～ 85%RH
　温度 32 ℃以上のときは湿度 70%RH 以下、湿度が 85%RH 前後のときは温度 28 ℃以下でご使用ください。（ただし、結露しないこと。）
　冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、機械の内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。室温になじませてから使用してください。
・サーバ接続などによりプリンタの 24 時間運用や無人運用をする場合は、不慮の事故に対する安全性を高める必要から、適切な防災対策（耐震対策、煙感知機、温度センサーなど）が施された場所に設置してください。
　また、防災管理者（警備員、管理人など）が建物内に待機していることも必要です。
・プリンタを前後左右に 5°以上傾けないでください。
　トナーがこぼれるなど故障の原因となります。
・プリンタは凹凸のない、平らな場所に設置してください。
　斜行等により印字ズレが大きくなったり、故障の原因となったりします。
・ラジオの雑音、テレビやディスプレイ（CRT）のチラツキやゆがみなど電波や磁気による障害が発生し、原因が本プリンタであると考えられる場合は、本製品の電源を切って障害がなくなるかどうか確認してください。電源を切ると電波や磁気による障害がなくなるようであれば、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。
　　- プリンタとラジオ、テレビ、ディスプレイ（CRT）の距離を離してみる。
　　- プリンタとラジオ、テレビ、ディスプレイ（CRT）の位置や向きを変えてみる。
　　- プリンタとラジオ、テレビ、ディスプレイ（CRT）の電源を別系統のものに変えてみる。
　　- 受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。（アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。）
　　- ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。
・化学薬品や油分を使用または保管している環境では本プリンタは使用しないでください。故障の原因となります。
・プリンタや他の機器の電源コードの上にプリンタをのせないでください。
　電源コードが傷つき、感電・火災・故障の原因になります。

お願い

－超音波加湿器をご使用のお客様へ－
超音波加湿器をご使用の際に、水道水や井戸水をご使用になりますと、水中の不純物が大気中に放出され、プリンタの内部に付着して画像不良の原因となります。ご使用の際には、純水のご使用をお勧めします。

プリンタの寸法

装置の寸法を示します。設置のときに参考にしてください。

*1　:標準構成時
*2　:拡張給紙ユニット(500枚)を1段搭載時
*3　:拡張給紙ユニット(500枚)を2段搭載時
*4　:拡張給紙ユニット(500枚)と大容量給紙ユニット(2000枚)を搭載時
　　大容量給紙ユニットは最下段でのみ使用できます。

注意

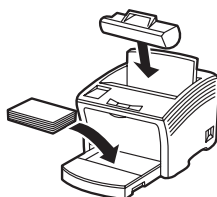
火災	プリンタの背面と側面には通風口があります。プリンタは壁から十分離して設置してください。
参照	「安全上のご注意」（12 ページ）参照
けが	設置する台は、プリンタの足全体が十分に載る大きさのものを準備してください。

プリンタの設置からインストールまで

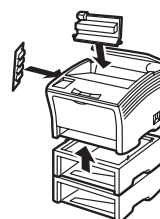
プリンタの設置から印刷するために必要な設定までの流れを説明します。
プリンタの接続・運用形態によって手順が異なります。次の図を参照し、必要な設定を行ってください。

プリンタ本体の設置

参照「第２章　プリンタ本体の設置」（35 ページ）参照

プリンタから印刷が行えるように、プリンタ本体の設置や用紙のセットを行います。

オプションの取り付け

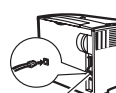
参照「第３章　オプションの装着」（67 ページ）参照

- プリンタRAMモジュール
- 両面ユニット
- 拡張給紙ユニット　など

ケーブルの接続

参照「第２章　プリンタ本体の設置」（35 ページ）参照

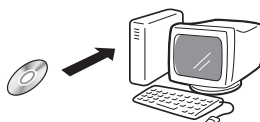
お使いの接続、運用形態にあわせてケーブルを接続します。

パラレルケーブル

USBケーブル

LANケーブル
コネクタ

ソフトウェアのインストール

参照『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

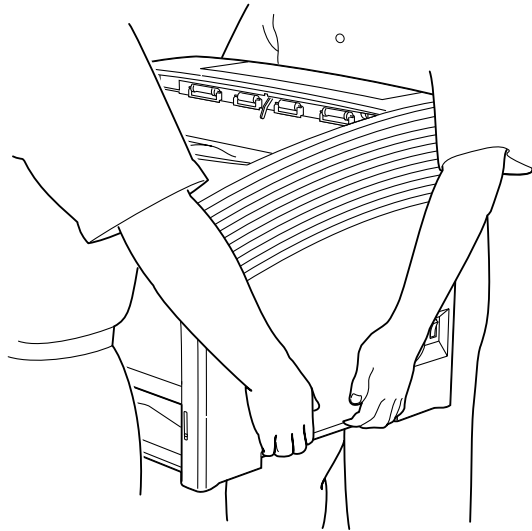
お使いの接続、運用形態にあわせて必要なソフトウェアをインストールします。

※　CD-ROMをパソコンにセットしてください。

本体の取り出し

1. **梱包箱を開け、製品を取り出す**

   製品の確認（梱包されている製品）」を参照し、まず製品がすべて揃っていることを確認してください。

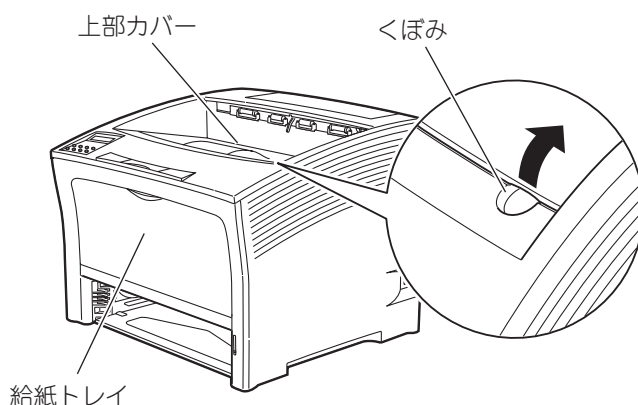
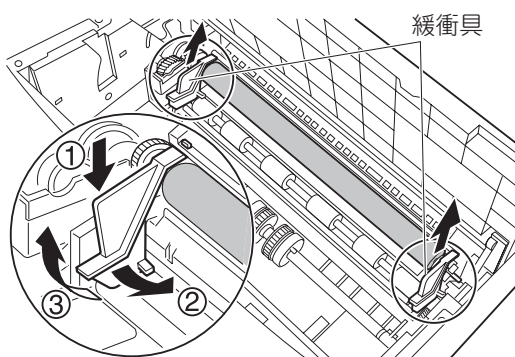
2. **ビニール袋を取り外す**

3. **プリンタの左右下部のくぼみを持ち、水平に保ちながら取り出す**

お願い

本体は約 25kg の重さがあります。必ず 2 人以上の人数で図の取っ手を持ち、背中や腰を痛めないように注意して運んでください。

4. **水平でしっかりした机などの上に静かに置く**

緩衝具の取り外し

1. くぼみに指を入れて上部カバーを開け、上部カバーおよび給紙トレイ内部の段ボールを抜き取る

2. 緩衝具（オレンジ色、２か所）をつまんだ状態で押し、内側にずらして引き抜く

オプションの取り付け

2

お願い

以下のオプションは、プロセスカートリッジの取り付けや用紙のセットを行う前にプリンタ本体に取り付けてください。
・ プリンタ RAM モジュール
・ 両面ユニット
・ 拡張給紙ユニット
・ 大容量給紙ユニット

各オプションの取り付けは、第 3 章を参照してください。

参照　「プリンタ RAM モジュールの取り付けかた」（73 ページ）参照

参照　「両面ユニットの取り付けかた」（76 ページ）参照

参照　「拡張給紙ユニットの取り付けかた」（80 ページ）参照

参照　「大容量給紙ユニットの取り付けかた」（85 ページ）参照

セットアップ編

プロセスカートリッジの取り付け

次の手順で、プロセスカートリッジを取り付けます。

お願い

・直射日光や強い光に当てないでください。
・プロセスカートリッジの取り付け作業は、強い光の当たる場所を避け、できるだけ 5 分以内で終了してください。
・トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときにはすぐに洗い流してください。
・感光体 (ドラム) の表面には絶対に手を触れないでください。

⚠注意

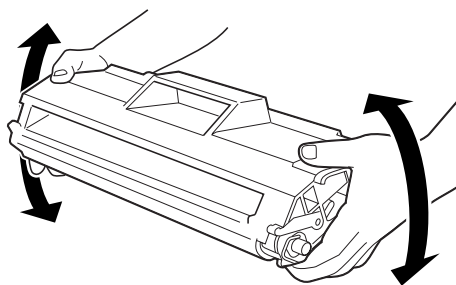
故　障　プロセスカートリッジは、本製品専用品を取り付けてください。専用品以外のプロセスカートリッジを取り付けると、プロセスカートリッジおよびプリンタ本体の故障の原因となる恐れがあります。

参照　「プロセスカートリッジの取り扱い上のご注意」(20 ページ) 参照

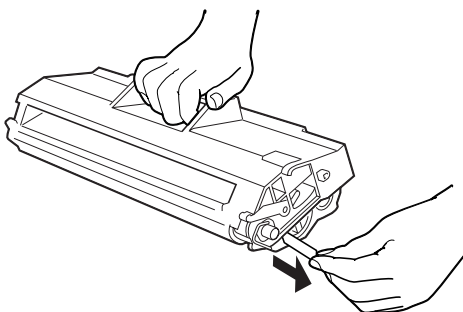
1 プロセスカートリッジを 7 〜 8 回振り、トナーを均一にする

トナーの状態が均一でないと、印字品質が低下することがあります。

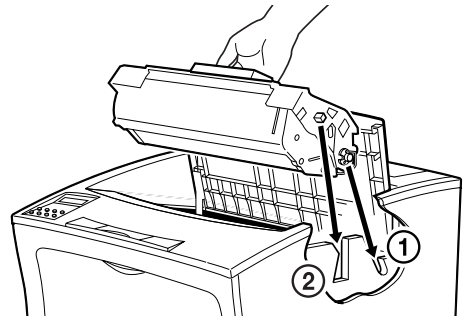
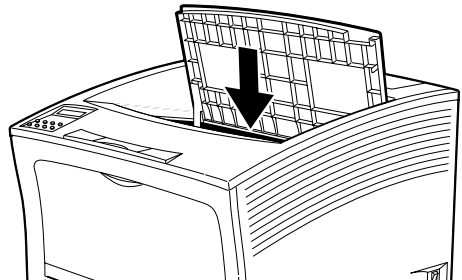
お願い

感光体（ドラム）の表面には、絶対に手を触れないでください。

2 プロセスカートリッジを平らな場所に置き、片手で押さえながらトナーシールをゆっくり引き抜く

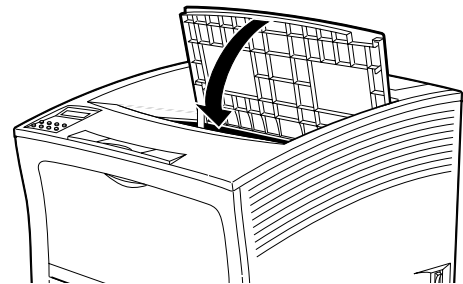
お願い

トナーシールを抜くときには、水平にまっすぐ引き抜いてください。斜めに引くと、途中でトナーシールが切れてしまうことがあります。
トナーシールは、引き抜くと全長約 65cm です。
トナーシールを引き抜いた後は、プロセスカートリッジを振ったり、衝撃を与えたりしないでください。

3 プロセスカートリッジの取っ手を持ち、プロセスカートリッジの両側にある突起をプリンタ内部の溝に合わせて挿入する

お願い

・プリンタ内部の部品には手を触れないでください。
・プロセスカートリッジ挿入時は、カートリッジがプリンタ内部に当たらないように静かに入れてください。

4 プロセスカートリッジを奥まで押し込み、確実にセットされたことを確認する

5 上部カバーを元に戻し、中央を押して確実にロックする

お願い

上部カバーが確実にロックされたことを確認してください。完全にロックされていないと、印刷不良が発生することがあります。

電源の投入

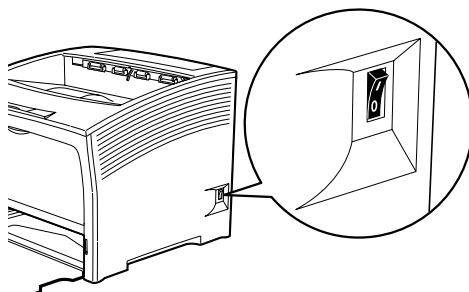
電源コードを接続し、プリンタの電源が入るかどうか確認します。

電源コードを接続する

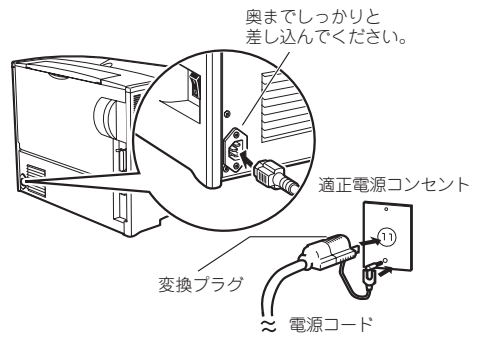
次の手順で、電源コードを接続します。
本プリンタの電圧定格値は、AC100V です。
上記の定格は、プリンタの後部にある製造銘板に表示してあります。使用するコンセントの電圧が、プリンタの定格電圧と一致するか確認してください。

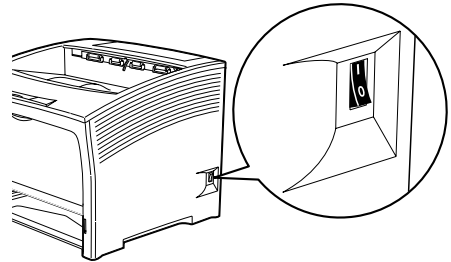
⚠ 警告

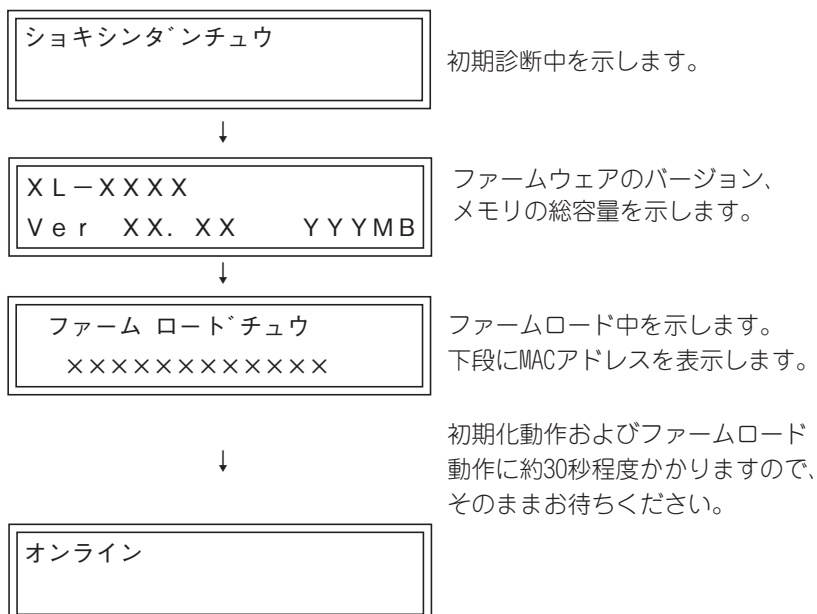
感　電	電源コードを接続するときは、必ず電源スイッチをオフ（「○」側）にしてください。電源を切らずに接続すると、感電の原因となります。
火　災	電源コードのアース線は必ず専用のアース端子に接続してください。
感　電	危険ですので次の箇所にアース線を接続しないでください。 ･ガス管（火災や爆発の危険があります） ･電話専用アース線・避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です） ･水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません）
感　電	プリンタや他の機器の電源コードの上にプリンタを載せないでください。電源コードが傷つき、感電・火災・故障の原因となります。

スイッチがオフ（「○」側）であることを確認する

電源コードをプリンタ背面にある電源コードコネクタに差し込む

お願い

本プリンタには平行３ピンの電源コードが添付されています。できるだけ３ピンのコンセントをご使用ください。もし、３ピンの電源コンセントがない場合には、添付の変換プラグを使って図に示すように電源コードとアース線を接続してください。

電源スイッチをオンにする

電源スイッチを「｜」側に倒して電源を入れます。

プリンタの動作とオペレータパネルの表示の確認

電源を入れると、オペレータパネルの「オンライン」「データ」「メッセージ」の各ランプが点灯し、液晶ディスプレイの表示が次のように切り替わります。

※カセットが未装着の場合、下段に「カセットカクニン」と表示されます。

参照　オペレータパネルが上記の表示にならないときは、
「オペレータパネルのエラーメッセージ」（170 ページ）参照

用紙のセット

給紙カセットに用紙をセットする

ここでは、標準の給紙カセットに用紙をセットする手順について説明します。

お願い

次の用紙は、給紙カセット、拡張給紙ユニット（オプション）、大容量給紙ユニット（オプション）からは印刷できません。

官製はがき、厚紙（重量 91g/m^2 ～ 135g/m^2)、OHP フィルム、ラベル紙、不定形用紙、長尺紙

給紙トレイに用紙をセットして印刷してください。

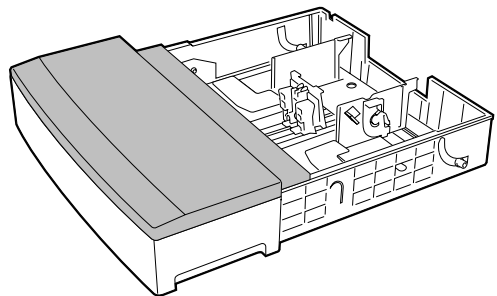
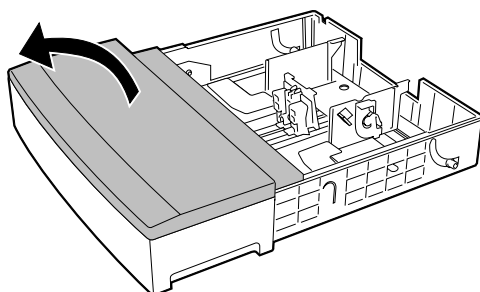
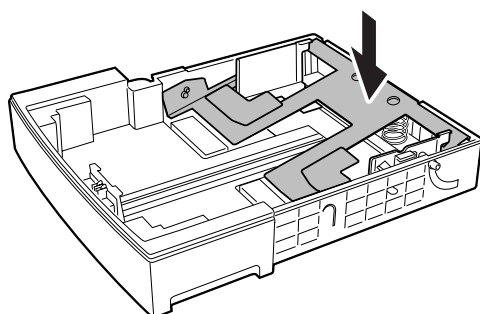
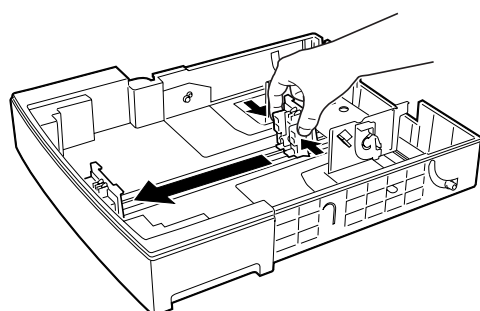
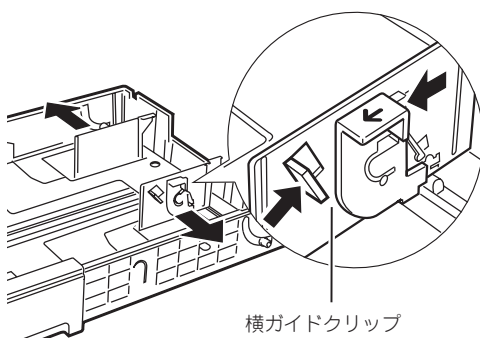
参照　「給紙トレイに用紙をセットする」（51 ページ）参照

ガイド

- 拡張給紙ユニット（オプション）が装着されている場合は、給紙カセットを、本体、拡張給紙ユニットのどちらにもセットできます。
- 給紙トレイから印刷中でも、印刷を停止せずに給紙カセットに用紙をセットできます。
- 異なるサイズの用紙を、同時に 1 つの給紙カセットにセットすることはできません。
- オプションの拡張給紙カセット（A4）および拡張給紙ユニット（オプション）に用紙をセットする場合も標準の給紙カセットと同じ手順でセットできます。

1 給紙カセットを平らな場所に置く

ガイド

給紙カセットがプリンタにセットされている場合は、カセットをプリンタから引き抜いてください。

給紙カセットのフタを取る

3 給紙カセットの中の金属板を手で下げてロックする

4 縦ガイドクリップを指でつまみ、軽く持ち上げながら、矢印の方向に移動する

5 横ガイドクリップを指でつまみながら、矢印の方向に移動する

用紙の四隅を揃え、印刷面を上にして、カセットの中央に入れる

お願い

- 反り、しわ、折り目の入った用紙は使用しないでください。
- 最大積載可能枚数または用紙上限線を超える枚数の用紙は、セットしないでください。
- 横ガイドは、用紙の幅に正しく合わせてください。横ガイドの位置がずれていると、用紙が正常に搬送されず、紙づまりの原因となることがあります。
- 用紙サイズによって、以下の方向に設定してください。

A4、B5、A5、レターサイズ	横長
A3、B4、リーガルサイズ	縦長

ガイド

- 給紙カセットに収容できる枚数は、約 500 枚（64g/m^2 の場合）です。
- 500枚収納できる給紙カセットに小数枚の用紙をセットした場合、用紙がたわむ場合があります。異常ではありませんので、そのままお使いください。

横ガイドクリップを用紙の幅に合わせ、用紙の端を揃える

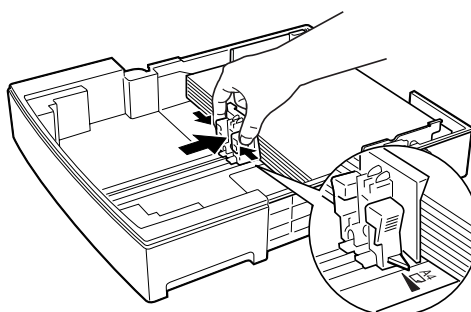
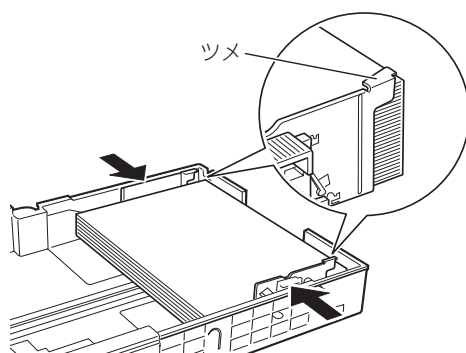
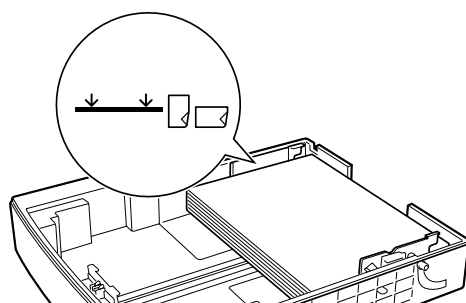
用紙の向きは、用紙の短辺が横になるようにセットしたときが「縦」、用紙の長辺が横になるようにセットしたときが「横」になります。

お願い

用紙の端は横ガイドクリップのツメの下に入れてください。

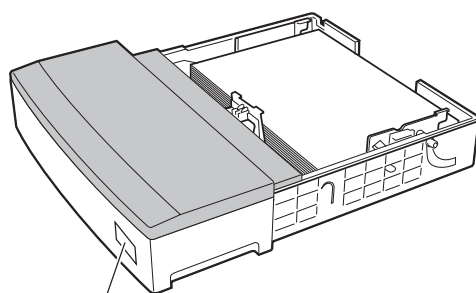
用紙の端をそろえ、縦ガイドクリップを用紙サイズ目盛りに合わせる

お願い

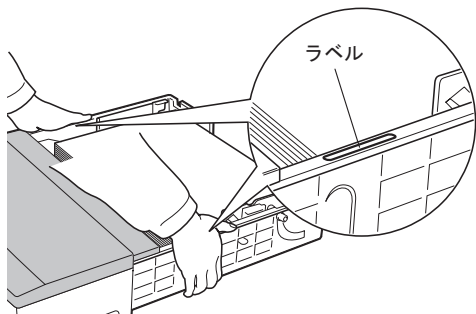
縦ガイドクリップのストッパーが目盛りの穴にぴったりはまっていることを確認してください。

給紙カセットのフタを閉める

必要に応じてプリンタに添付されている用紙サイズラベルを貼ります。

お願い

ほこりの付着を防ぐため、フタは必ず閉めてください。

給紙カセットのラベルが貼ってある部分を両手で持ち、プリンタに押し込み、奥までしっかり押し込まれていることを確認する

お願い

・セットされていない給紙カセットがあると、『カセットカクニン n』（n はカセット番号）と表示されます。
・給紙カセットは奥に突き当たるまで押し込んでください。突き当たるまで押し込んでいないと、カセットなしや、紙づまりの原因となります。

給紙トレイに用紙をセットする

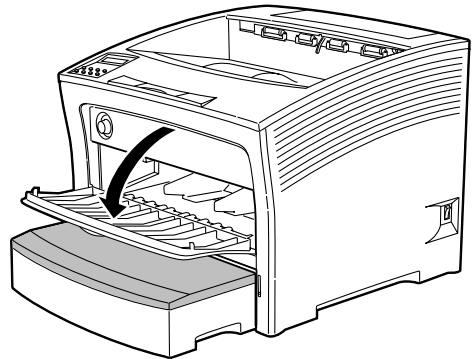
ここでは、給紙トレイに用紙をセットする手順について説明します。

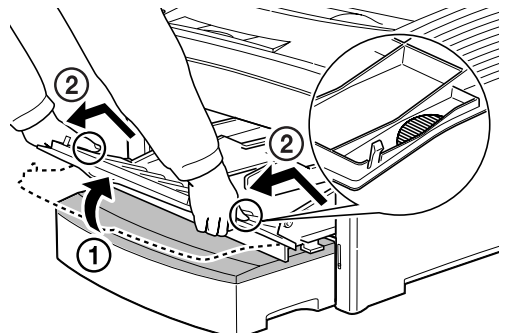
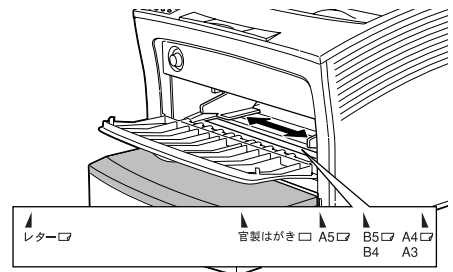
お願い

プリンタドライバおよびオペレータパネルで設定した用紙のサイズと、実際に使用する用紙のサイズは、必ず一致させてください。異なるサイズの用紙に印刷した場合、プリンタが故障するおそれがあります。

1 プリンタ前面の上部中央にあるくぼみに指をかけて、給紙トレイを開ける

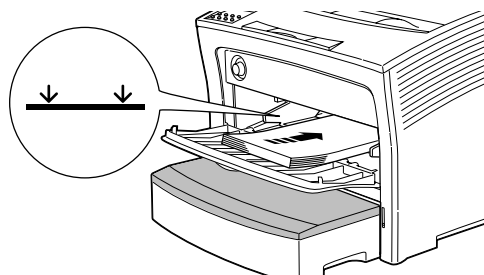
お願い

給紙トレイは約 80°の角度に開きます。給紙トレイに必要以上の力をかけたり、用紙以外の重たいものを載せないでください。
破損の原因となります。

2 A5以下の小さなサイズの用紙をセットするときはトレイを引き出す

トレイの左右を持って少し閉じ(①)、さらに軽く持ち上げ手前に引き出します(②)。

3 用紙ガイドを、使用する用紙サイズに合わせて動かす

用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上にし、差し込み口に軽く突き当たるまで入れる

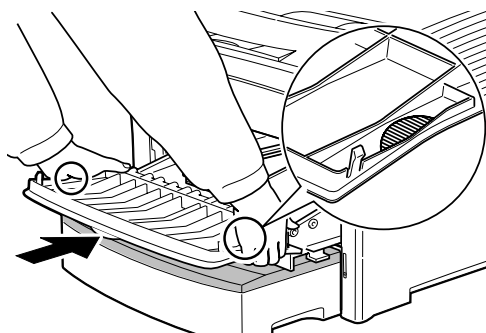
お 願 い

・反り、しわ、折り目の入った用紙は、使用しないでください。また、特殊紙を使用するときは、よくさばいてから入れてください。
・用紙ガイドのラベルにある線がセットできる用紙枚数の上限です。用紙は線が見える範囲の枚数にしてください。
・印刷中は、給紙トレイを引き出さないでください。装置が故障するおそれがあります。

参照　印刷方向については、「用紙関係」（189 ページ）参照

ガ イ ド

給紙トレイに収容できる枚数は、約 200 枚（64g/m^2 の場合）です。

給紙トレイの左右を持ち、突き当たるまで押し込む

突き当たると「カチッ」という音がします。

6 給紙トレイにセットした用紙のサイズを、給紙トレイ用紙サイズスイッチで設定する

スイッチの表示にセットした用紙サイズがない場合は、「パネルで設定」の位置にします。

給紙トレイ用紙サイズスイッチ

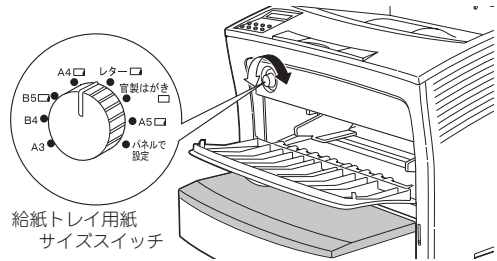
ガイド

- 「パネルで設定」の位置にすると、プリンタドライバまたはオペレータパネルで設定したサイズが有効となります。
- A4 横の長さ以下のサイズの用紙をセットした場合は、給紙トレイを閉じて印刷することができます。

お願い

印刷中は、給紙トレイ用紙サイズスイッチを操作しないでください。プリンタが誤作動する場合があります。

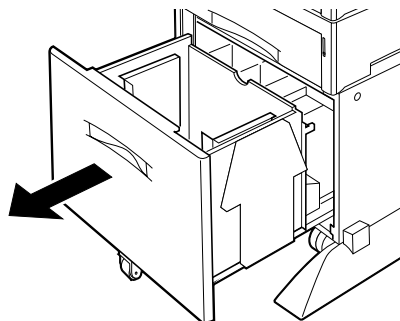
2

セットアップ編

大容量給紙ユニットに用紙をセットする

オプションの大容量給紙ユニットに用紙をセットする手順について説明します。
大容量給紙ユニットには、A4 またはレターサイズの用紙を 2000 枚セットすることができます。

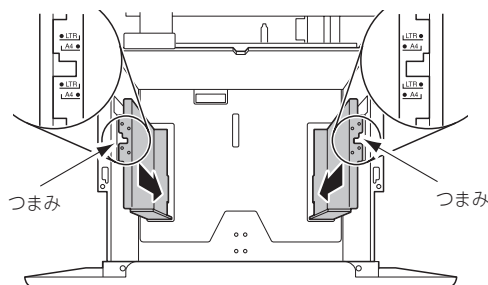
前面の給紙カセットを止まるまで引き出す

お願い

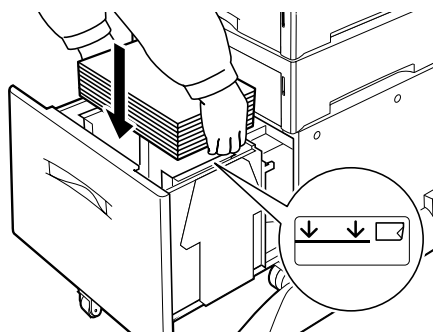
給紙カセットを引き出すと内部のプレートが自動的に下がります。手を触れないようにしてください。

2 左右のガイドプレートを使用する用紙のサイズ（A4 またはレター）に合わせる

つまみを外側に倒してガイドプレートを上に引き抜き、使用する用紙のラベル位置に差し込みます。

お願い

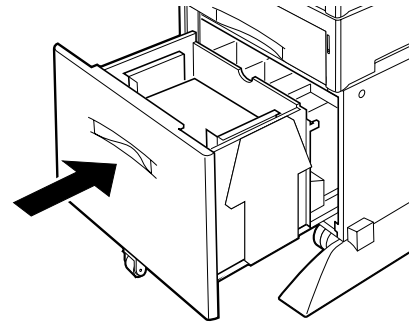
ガイドプレートをセットする際に、下側の用紙サイズ位置と上側の用紙サイズ位置が異なっていると、用紙が正しくセットされません。上下の用紙サイズ位置が合うようにガイドプレートを差し込んでください。

用紙を両手で持ち、給紙カセットにセットする

お願い

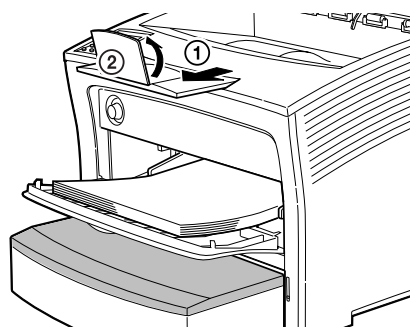
- 反り、しわ、折り目の入った用紙は使用しないでください。
- 用紙の四隅をそろえてセットしてください。用紙の四隅がそろっていないと紙づまりや装置の故障の原因となることがあります。
- トレイ内に貼ってあるラベルの線がセットできる用紙の上限です。上限線以上の用紙をセットすると、紙づまりの原因となることがあります。

給紙カセットを大容量給紙ユニットの奥に突き当たるまでゆっくり戻す

用紙を給紙可能な位置まで引き上げるリフトアップが行われます。

ガイド

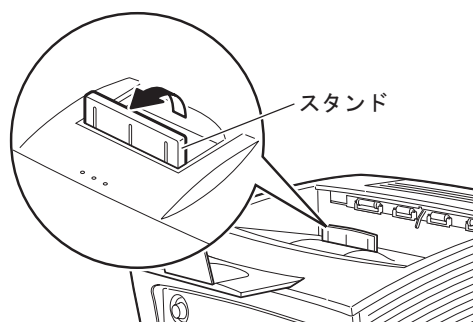
大容量給紙ユニットのリフトアップ中に電源を切断した場合は、電源再投入時に用紙残量を正しく認識できません。その場合は、大容量給紙ユニットの給紙カセットを引き出し、内部のプレートが下がったことを確認してから給紙カセットを戻してください。

排紙トレイのセット

排紙トレイをセットする手順について説明します。

B4以上の用紙を排紙する場合は、排紙トレイを引き出し（①）、排紙止めを立てる（②）

2

印刷した用紙が排紙部でばらばらになったり、プリンタから落下するときは、排紙部のスタンドを立てる

ガイド

特にめくれるようなカール癖のある用紙は排紙部でばらけやすいのでスタンドを立ててご使用ください。
また、コシの弱い用紙はスタンドを立てておくと先端が引っかかることがありますので、ご注意ください。

設定一覧の印刷

次の操作で設定の一覧を印刷し、プリンタが正しく動作することを確認します。

1 印刷可能状態であることを確認する

次のいずれかの状態であることを確認します。

・オペレータパネルの「オンライン」ランプが点灯し、液晶ディスプレイに「オンライン」と表示されている

・オペレータパネルに「オフライン」と表示されている

・オペレータパネルに「セツデン」と表示されている

参照　「第 5 章　オペレータパネルの操作」（117 ページ）参照

2 「メニュー」スイッチを押し、メニューモードにする

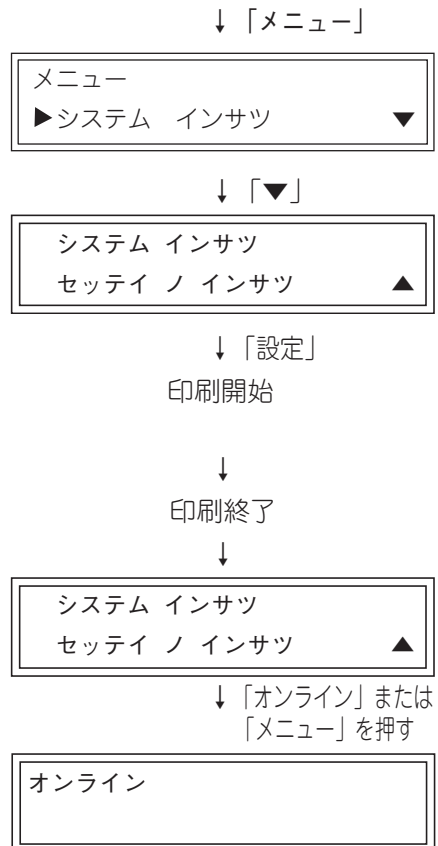
3 「▼」スイッチを押す

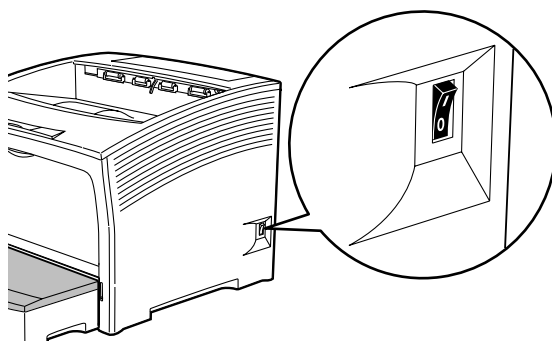
4 「設定」スイッチを押す

設定の一覧の印刷が開始されます。

5 印刷状態を確認する

参照　正常に印刷されないときは、「第 7 章　こんなときには」（151 ページ）参照

6 「オンライン」または「メニュー」スイッチを押して、印刷可能状態に戻す

電源の切断

電源を切るときは、電源スイッチをオフ（「○」側）に倒します。

電源が切断されると、オペレータパネルのすべてのランプおよび液晶ディスプレイが消灯します。

お願い

印刷中は電源を切らないでください。もし電源を切ってしまったときは、プリンタ内に残っている用紙を取り除いてください。

参照　「紙づまりになったとき」（152 ページ）参照

以上でプリンタ本体の設置は完了です。目的に合わせて次の設定に進んでください。

参照　パソコンとパラレルケーブルで接続するには「パラレルインタフェースによる接続」（60 ページ）参照

参照　パソコンと USB ケーブルで接続するには「USB インタフェースによる接続」（62 ページ）参照

参照　LAN ケーブルで接続するには「LAN ケーブルの接続」（63 ページ）参照

ケーブルの接続

接続、運用形態にあわせ、プリンタにケーブルを接続します。

ガイド

- 接続、運用形態は、お使いの環境に合わせて以下を目安に選択してください。
  - パラレルケーブル /USB ケーブルで接続
    1 台のパソコンからのみ印刷する場合や、プリンタ用に IP アドレスを使いたくない場合に選択します。
    より速く印刷したい場合は、USB ケーブルによる接続をおすすめします。
  - LAN ケーブルで接続
    プリンタの設置場所を自由に動かしたい場合や、インターネットを利用して印刷する場合に選択します。
    LAN ケーブルを利用するとデータの転送速度が高速になります。
- サーバ経由で印刷すると、クライアント側の設定／管理が比較的容易になります。また、大規模なネットワークに適しています。
- 本プリンタは、パラレル /USB/LAN のケーブルを同時に接続することができます。

参照　「複数のポートに同時接続するときの注意事項」(65 ページ) 参照

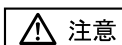
パラレルインタフェースによる接続

IEEE1284 準拠のパラレルインタフェースにパソコンを接続するときの注意事項と手順について説明します。

環境

・パソコン
　双方向パラレルインタフェースをサポートする PC/AT 互換機
・OS
　Windows 98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 日本語版

⚠ 警告

感　電　パラレルケーブルを接続するときは、必ず本プリンタとパソコンの電源を切ってください。電源を切らずに接続すると、感電の原因となります。

⚠ 注意

故　障　ケーブルの接続は本書をよく読み、接続に間違いがないようにしてください。誤った接続状態で使用すると、プリンタおよびパソコンが故障する原因となることがあります。

お願い

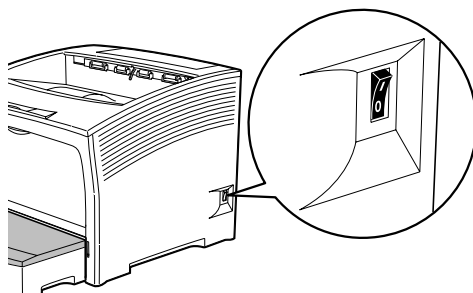
パソコンとプリンタの接続に使用するパラレルケーブルは、1.5m 以下のシールドケーブルをお使いください。

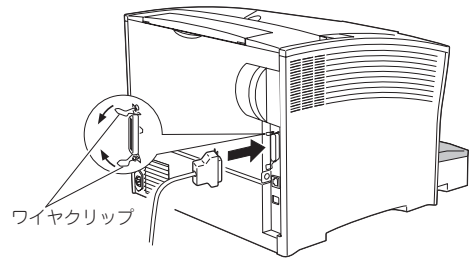
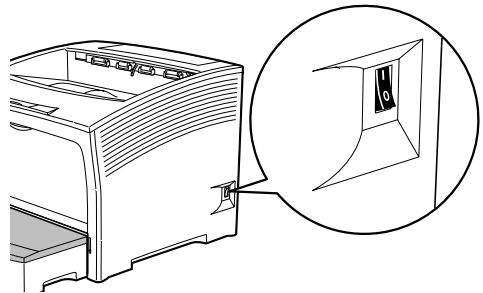
ガイド

本プリンタには、パラレルケーブルは添付されていません。別売ケーブルをお使いください。

参照　「プリンタケーブル」（71 ページ）参照

1　電源スイッチを「○」側に倒し、プリンタの電源を切断する

パソコンの電源も切断してください。

2 **パラレルケーブルをプリンタ背面にあるパラレルケーブルコネクタに差し込み、両側のワイヤクリップで固定する**

パソコン側の接続は、パソコンの取扱説明書を参照してください。

3 **電源スイッチを「｜」側に倒し、プリンタの電源を入れる**

4 **パソコンの電源を入れ、Windows を起動する**

この後は、『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」で、パラレル接続時のプリンタドライバのインストール方法の説明を参照してください。

USB インタフェースによる接続

USB インタフェースにパソコンを接続するときの注意事項と手順について説明します。

環境

・パソコン
　USB インタフェースを内蔵する PC/AT 互換機
・OS
　Windows 98/Me/2000/XP/Windows Server 2003 日本語版

お願い

・Windows 3.1/95 から Windows 98/Me へアップグレードインストールした環境での動作は保証できません。
・Windows 95/NT4.0 では動作しません。
・パソコンとプリンタの接続に使用する USB ケーブルは、5m 以下のシールドケーブルをお使いください。
・印刷中に USB ケーブルを抜き差ししないでください。
・USB ハブを使用する場合は、パソコンと直接接続された USB ハブに接続してください。
・本プリンタと接続した USB ケーブルのもう一方は、パソコン本体の USB コネクタ、またはセルフパワータイプの USB ハブ（電源コードや AC アダプタにより電源が供給されるタイプのハブ）のコネクタに接続してください。上記以外の USB コネクタに接続すると、正常に動作しない場合があります。
・USB1.1 または USB2.0 に準拠した USB ケーブルを用意してください。

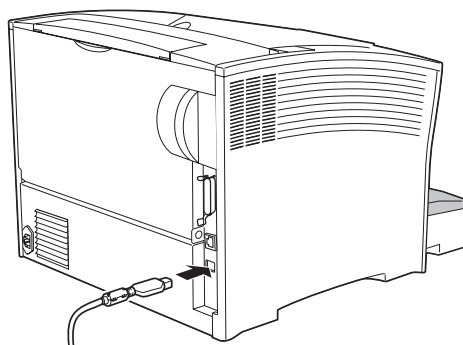
ガイド

・USB2.0 のケーブルを使用しても、本プリンタとの接続時は USB1.1 で動作します。
・USB ケーブルは本製品には添付されていません。お使いのパソコンに合わせて、別途購入してください。

参照　「プリンタケーブル」（71 ページ）参照

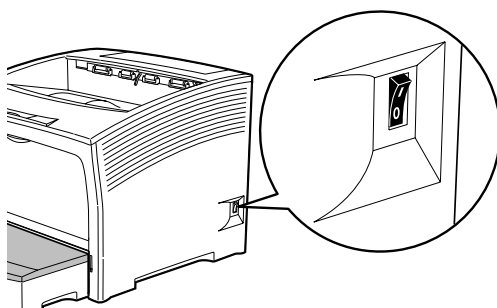
1 **USBケーブルをプリンタ背面にある USB ケーブルコネクタに差し込む**

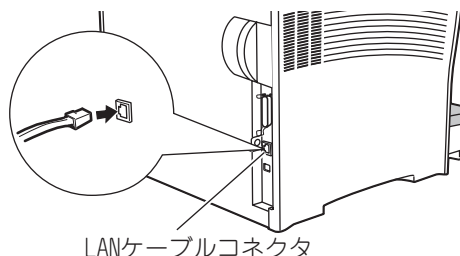
2 **パソコンに USB ケーブルを接続する**

パソコン側の接続は、パソコンの取扱説明書を参照してください。
この後は、『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」で、USB 接続時のプリンタドライバのインストール方法の説明を参照してください。

USBケーブル

LAN ケーブルの接続

プリンタをネットワークに接続する手順について説明します。
プリンタをネットワーク経由で接続するときは、ハブユニット間をツイストペアケーブルで接続します。
100BASE-TX 対応のハブユニットに接続して 100Mbps でご使用になる場合には、必ずカテゴリー 5 のツイストペアケーブルをご使用ください。
また、次ページの「LAN に接続するときの注意事項」もあわせてお読みください。

プリンタの電源の切断（電源スイッチが「○」側）を確認する

2 プリンタ背面にあるLANケーブルコネクタに LAN ケーブルを接続し、電源を入れる

この後は、『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」で、ネットワーク接続時の設定方法の説明を参照してください。

ガイド

LAN ケーブルで接続した場合は、プリンタに IP アドレスを設定する必要があります。
IP アドレスは、添付の CD-ROM に納められたソフトウェアから設定可能ですが、オペレータパネルからプリンタ単体で設定することもできます。

参照　オペレータパネルで IP アドレスを設定する方法は、「IP アドレスの設定」（134 ページ）参照

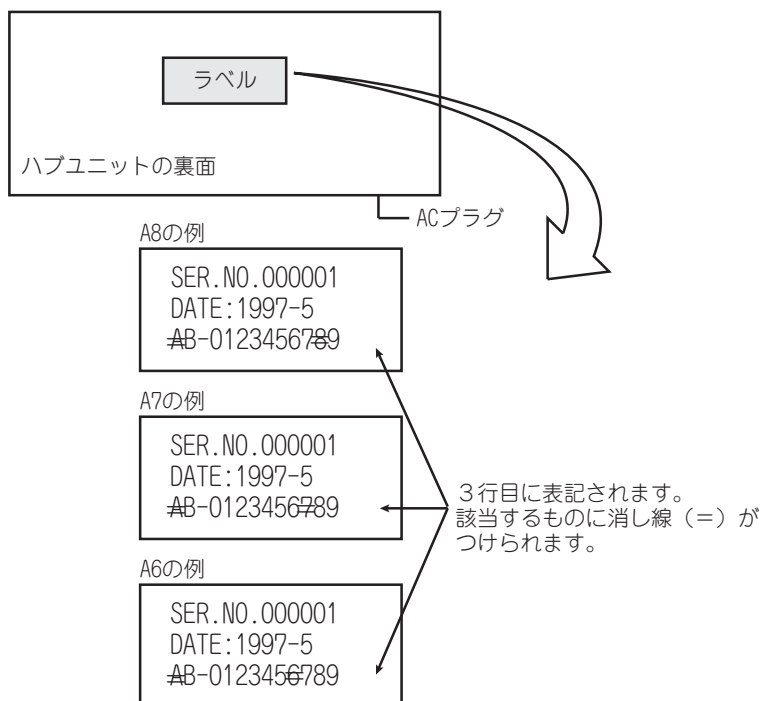
LANに接続するときの注意事項

・LAN ケーブルをハブユニットに接続した場合に、ハブユニット側のリンクランプが点灯せず、ネットワークのサーバなどに接続できないときがあります。このときは、プリンタとハブユニット双方の Ethernet タイプを同じ規格に設定してください。
本プリンタの Ethernet タイプは、「自動」「100Mbps Full」「100Mbps Half」「10Mbps」の中から選ぶことができます。プリンタの Ethernet タイプは、メニューモードの［初期設定］－［LAN 設定］にある「Ethernet タイプ」で変更します。本製品の「10Mbps」は、「Half」です。

参照　メニューモードについては、
「オペレータパネルからの設定（メニューモード）」（122 ページ）参照

ハブユニット側の設定については、ご使用のハブユニットの取扱説明書をお読みください。

・ハブユニット LH1100 と接続する場合は、次の点にご注意ください。
- ケーブル長 100m のツイストペアケーブルは使用しないでください。100m のツイストペアケーブルでは、ネットワークのサーバなどに接続できないことがあります。
- ハブユニットのラベルに「A8」以降の表記がある必要があります。「A7」や「A6」の表記がある場合は、「ハードウェア修理相談センター」（191 ページ）にご相談ください。

ラベルの見かたを次の図に示します。

複数のポートに同時接続するときの注意事項

本プリンタは、LAN 経由でサーバプリンタとして動作するとともに、他のパソコンをパラレルポートや USB ポートにそれぞれ接続することができます。
複数のポートにプリンタを接続したときは、次の点にご注意ください。

・ポートは、自動で切り替えることができます。ただし、プリンタの状態によっては、ポートの自動切り替えが働かない場合や、切り替えに時間がかかる場合があります。
・使用中のポートがある場合、他のポートは使用できません。複数のポートを同時に使用していて、パソコンの画面に「印刷エラー」などが表示された場合は、印刷中のパソコンからの印刷が完了してから印刷を再開してください。
・Printianavi および Printianavi ネットワークポートモニタを使用して複数台のパソコンから同時に印刷した場合、一台のパソコンから印刷中のときは、残りのパソコンに「プリンタが他で使用中のため待ち合わせています。」とメッセージを表示し、プリンタが使用中であることを通知します。
・使用中のポートで未印刷データがある場合、他のポートには切り替わりません。

お願い

印刷中は、プリンタから他のケーブルを抜き差ししないでください。

ポートの切り替え時間については、「第 5 章　オペレータパネルの操作」の「オペレータパネルからの設定（メニューモード）」の「ポート設定」の「タイムアウト時間」（126 ページ）参照

第3章
オプションの装着

本プリンタのオプションには、プリンタ RAM モジュール、両面ユニット、および拡張給紙ユニットがあります。これらの取り付けかたについて説明します。

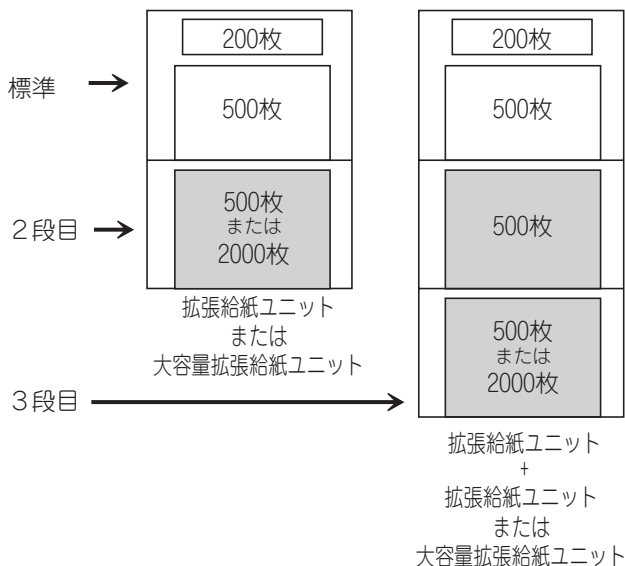
オプションのご紹介

本プリンタは、次のオプション品を用意しています。必要に応じてお買い求めください。

拡張給紙ユニット / 大容量給紙ユニット

品名	型名	内容
拡張給紙ユニット（A3）	XL-EF50T1	2 段目、3 段目の給紙ユニットとして使用できます。A3 ～ A5 サイズ対応、500 枚セット可能な給紙カセットが添付されています。（標準給紙カセット、サプライ品の給紙カセット（A3 ユニバーサル）と同じ）
拡張給紙ユニット（A4）	XL-EF50T3	2 段目、3 段目の給紙ユニットとして使用できます。A4 ～ A5、レターサイズ対応、500 枚セット可能な給紙カセットが添付されています。（サプライ品の給紙カセット（A4）と同じ）XL-6300 専用
大容量給紙ユニット	XL-HF200T3	2段目または3段目の給紙ユニットとして使用できます。ただし、必ず最下段になるように装着してください。A4、レターサイズ対応、2000 枚までセット可能です。XL-6300 専用

●形態

ガイド

- 異なるサイズの用紙を、同時に 1 つの給紙カセットにセットすることはできません。
- 印刷中でも、用紙が走行していない給紙カセットであれば、印刷を停止することなく用紙をセットすることができます。

両面ユニット

品名	型名	内容
両面ユニット	XL-DUPT1	両面印刷用のユニットです。

オプションの両面ユニットをプリンタに取り付けると、A3、A4 横、A5 横、B4、B5 横、リーガル、レター横サイズの用紙を両面印刷できるようになります。

プリンタ RAM モジュール

本プリンタには、次のプリンタ RAM モジュールのいずれかを搭載することができます。

品名	型名	内容
プリンタ RAM モジュール -64MB	XL-EM64M5	RAM を 64MB 搭載したメモリモジュールです。
プリンタ RAM モジュール -128MB	XL-EM128M5	RAM を 128MB 搭載したメモリモジュールです。

●用途

プリンタ RAM モジュールの容量を増やすことにより印刷保証範囲が増えます。また部単位印刷も可能になります。

印刷保証範囲については、次ページの「プリンタ RAM モジュールの有無と印刷可能範囲」参照

部単位印刷については、プリンタドライバのヘルプまたは『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

●プリンタ RAM モジュールの有無と印刷可能範囲

搭載されている RAM の容量によって、印刷できる用紙サイズが異なります。これらの関係を次の表に示します。

	32MB （プリンタ RAM モジュールなし）						96MB/160MB （プリンタ RAM モジュールあり [64MB/128MB]）					
用紙サイズ / 解像度	片面			両面			片面			両面		
	300 dpi	600 dpi	1200 dpi	300 dpi	600 dpi	1200 dpi	300 dpi	600 dpi	1200 dpi	300 dpi	600 dpi	1200 dpi
A3	◎	◎	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
B4	◎	◎	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
Legal	◎	◎	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
Letter	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
A4	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
B5	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
A5	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
はがき	◎	◎	◎	—	—	—	◎	◎	◎	—	—	—
ユーザ定義サイズ	◎	◎	○	—	—	—	◎	◎	◎	—	—	—
長尺紙	◎	—	—	—	—	—	◎	—	—	—	—	—

◎：どんなデータも確実に印刷できます。
○：データの内容によって印刷できない場合があります。（プロテクトモード使用時は印刷できません。）
―：本設定では印刷できません。

解像度、プロテクトモード：プリンタドライバで設定します。

参照　プリンタドライバのヘルプ、または『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

プリンタ LAN アダプタ

本製品内蔵のプリンタ LAN ポートは、次の規格 (プロトコル) に対応しています。
・ 100BASE-TX/10BASE-T(TCP/IP)
IPX/SPX プロトコルを利用する場合は、次のプリンタ LAN アダプタをご使用ください。

品名	型名	内容
プリンタ LAN アダプタ	FM-LNA110	100BASE-TX/10BASE-T に対応した LAN アダプタです。NetWare 3.1xJ、IntranetWare、NetWare5 に対応しています。

プリンタケーブル

ご使用のパソコンに対応したケーブルをご使用ください。

お願い

以下の長さのシールドケーブルをお使いください。
　パラレルインタフェースケーブル：1.5m 以下
　USB ケーブル：5m 以下

ガイド

本製品にはプリンタケーブルは添付されていません。パソコン本体に添付のケーブルか、別売ケーブルをお使いください。

別売ケーブルは以下のものが用意されています。

●パラレルインタフェースケーブル

品名	型名	備考
プリンタケーブル	FMS-CBL711	PRIMERGY/GRANPOWER　5000 シリーズに接続できます。
プリンタケーブル	FMV-CBL712	FMV シリーズ、各社 AT 互換機に接続できます。

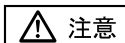
● USB ケーブル

品名	型名	備考
プリンタ USB ケーブル	XL-CBLU2	Windows 98/Me/2000/XP/Windows Server 2003 が動作するパソコンに接続できます。本ケーブルは USB2.0 に対応していますが、本プリンタとの接続時は USB1.1 で動作します。

オプション取り付け上のご注意

オプションを取り付けるときは、次のことがらを守ってください。

⚠ 警告

感　電	オプションを接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。 当社推奨品以外を接続すると、感電・火災・故障の原因となります。

⚠ 注意

け　が	オプション類の取り付け、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。指定された場所以外のネジを外すと、ケガや故障の原因となることがあります。

お願い

オプションの取り付け、取り外しを行う際は、必ず電源を切った状態で作業してください。

プリンタ RAM モジュールの取り付けかた

メモリを増設するためのプリンタ RAM モジュールの取り付け、取り外しについて説明します。

⚠ 警告

感　電	プリンタ RAM モジュールの取り付けおよび取り外しは、電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認し、電源コードをコンセントから抜いた後行ってください。 電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因となります。

お願い

静電気によってプリンタ RAM モジュールが破壊されないように、次の点にご注意ください。
- 本製品に取り付ける直前まで、袋からモジュールを取り出さないでください。
- モジュールに触れる前に、金属製のもの（ロッカーなど）に触れて、人体の静電気を取り除いてください。
- モジュールを持つときは、必ずモジュールの端を持ってください。モジュールの電気回路部品および配線部分に手を触れないでください。

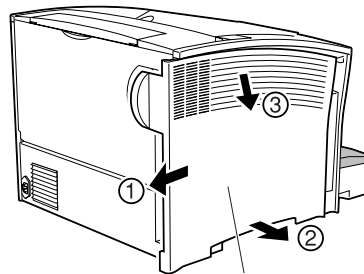
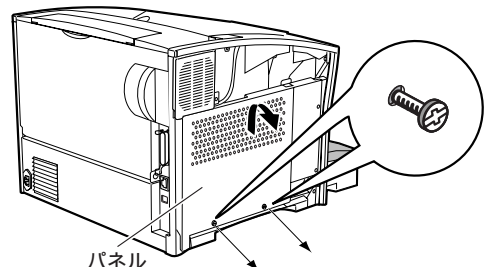
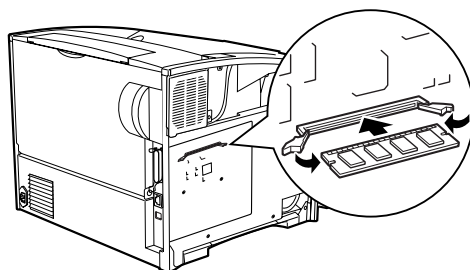
プリンタ RAM モジュールを取り付ける

プリンタ RAM モジュールは、次の手順で取り付けます。

1 プリンタの電源を切り、ケーブルを外す

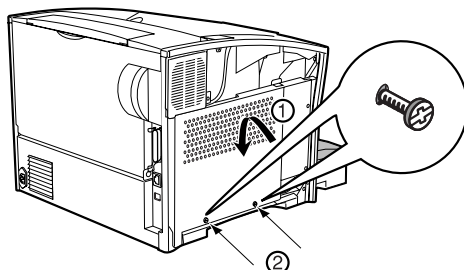
プリンタの電源スイッチを「○」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コードコネクタから抜きます。

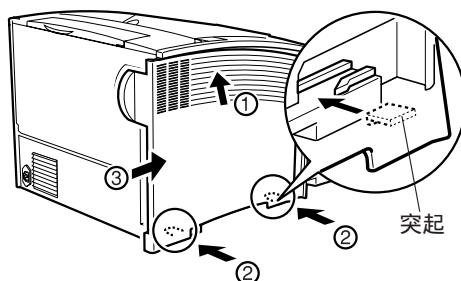
パラレルケーブル、LAN ケーブル、および USB ケーブルを外します。

2 サイドカバーを背面にずらし（①）、下方のくぼみ部分を手前に引いて（②）下方向に外す（③）

3 2 か所のネジをドライバを使って緩め、パネルを上に持ち上げながら上部のツメから外す

コネクタ両端のレバーを開き、プリンタ RAM モジュールの向きに注意し、コネクタの溝に合わせてゆっくりと差しこむ

お願い

プリンタ RAM モジュールの基板は壊れやすいので、取り扱いには十分注意してください。

パネルをネジ（2 本）で固定し、サイドカバーを取り付ける

上部のツメにパネルをはめ込み（①）、ネジ（2 本）をドライバを使って締めます（②）。

6

サイドカバーの上部をプリンタの上部に差し込み（①）、プリンタ下部にあるレールの切れた箇所にサイドカバーの突起を合わせる（②）サイドカバーをプリンタ本体に沿って、前側にスライドさせる（③）

ガイド

プリンタ RAM モジュールを増設したときは、電源を投入した直後にオペレータパネルの液晶ディスプレイの下段に表示される「YYYMB」でメモリの総容量を確認します。プリンタ RAM モジュールを増設したときは「96MB」または「160MB」と表示されます。

```
XL－XXXX
Ver  XX.XX   YYYMB
```

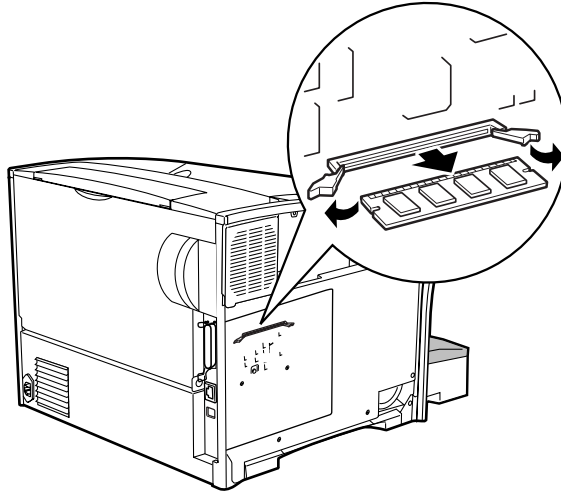
お願い

プリンタRAMモジュールを増設した場合は、必ずプリンタドライバで装置オプションの設定を行ってください。

参照　設置方法についてはプリンタドライバのヘルプ、または『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

プリンタ RAM モジュールを取り外す

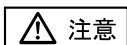
プリンタ RAM モジュールを取り外すときは、左右のレバーを指で開き、手前に引き抜きます。

参照　サイドカバーの外しかたや取り付けかたは、
「プリンタ RAM モジュールを取り付ける」（73 ページ）参照

両面ユニットの取り付けかた

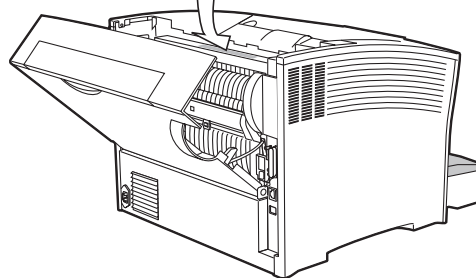
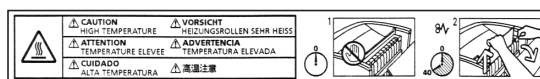
オプションの両面ユニットをプリンタに取り付けると、次のサイズの用紙を両面印刷できるようになります。

A3、A4 横、A5 横、B4、B5 横、リーガル、レター横

⚠ 警告

感　電	両面ユニットを取り付けおよび取り外すときは、電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認し、電源コードをコンセントから抜いた後に行ってください。 電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因となります。

⚠ 注意

故　障	両面ユニットは、本プリンタ用の製品を取り付けてください。また、本プリンタ用の両面ユニットを、他のプリンタ（XL-6100/6010）に取り付けることはできません。指定外の両面ユニットを取り付けると、両面ユニットおよびプリンタ本体の故障の原因となります。
やけど	「高温注意」を促すラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。 やけどの原因となることがあります。

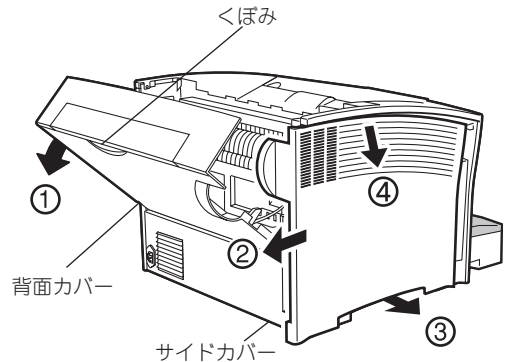
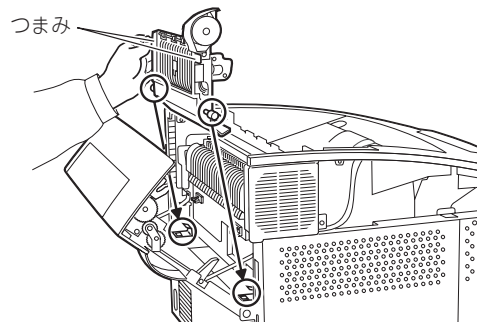
警告ラベル

両面ユニットを取り付ける

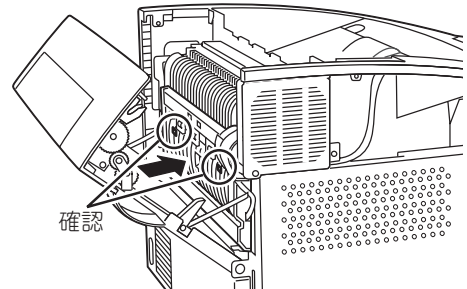
両面ユニットは、次の手順で取り付けます。

1 プリンタの電源を切り、ケーブルを外す

プリンタの電源スイッチを「○」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コードコネクタから抜きます。
パラレルケーブル、LAN ケーブル、および USB ケーブルを外します。

2 背面カバーを開き、サイドカバーを外す

背面カバーの上部中央にあるくぼみに指をかけて背面カバーを開きます（①）。サイドカバーを背面にずらし（②）、下方のくぼみ部分を手前に引いて（③）下方向に抜きます（④）。

3 両面ユニットの左右のつまみ（オレンジ色）を持ち、下部にある 2 本のピンをプリンタのガイドにのせる

4 両面ユニットの左右のつまみを持ち、前方へ押しながらプリンタに固定する

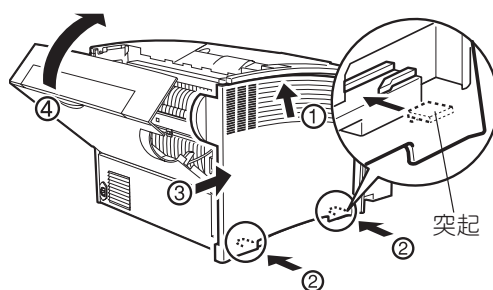
しっかりと固定されていること（2 か所）を確認します。

お願い

両面ユニットが確実に取り付けられていることを確認してください。正しく取り付けられていないと、動作不良や紙づまりなどの原因となります。

3

セットアップ編

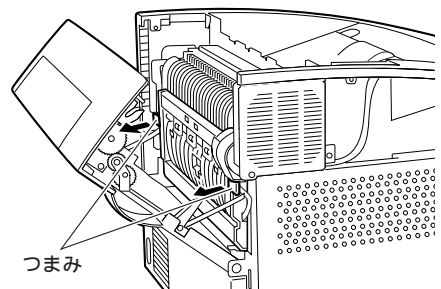
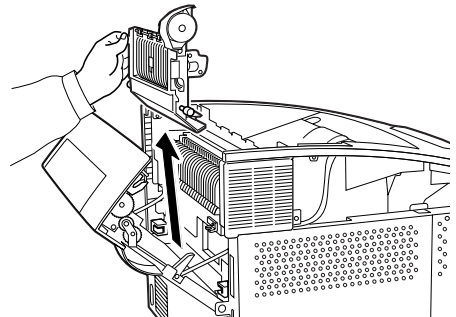
サイドカバーを取り付け、背面カバーを閉じる

サイドカバーの上部をプリンタの上部に差し込み（①）、プリンタ下部にあるレールの切れた箇所にサイドカバーの突起を合わせます（②）。サイドカバーをプリンタ本体に沿って前側にスライドさせます（③）。背面カバーを閉じます（④）。

両面ユニットを取り外す

両面ユニットは、次の手順で取り外します。

1 **プリンタの電源を切り、各コード、ケーブルを外す**

両面ユニットを取り付けるときと同じ手順で、プリンタの電源を切り、電源コード、パラレルケーブル、USB ケーブル、および LAN ケーブルを外します。
次に背面カバーを開き、サイドカバーを取り外します。

2 **両面ユニットの左右のつまみを持って手前に引き、プリンタから取り外す**

3 **両面ユニットを真上に引き上げる**

4 **サイドカバーを取り付け、背面カバーを閉じる**

両面ユニットを取り付けるときと同じ手順で、サイドカバーを取り付け、背面カバーを閉じます。

拡張給紙ユニットの取り付けかた

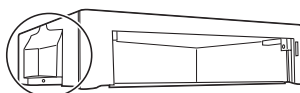
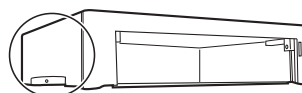
本プリンタには、２ 種類の拡張給紙ユニットを取り付けることができます。プリンタへの取り付け / 取り外しかたは、どちらの拡張給紙ユニットの場合も同様です。また、用紙のセットのしかたは、標準の給紙カセットに用紙をセットする方法と同じです。
本製品には、拡張給紙ユニット２段、または拡張給紙ユニットと大容量給紙ユニットとの組み合わせで最大２段まで取り付けることができます。

参照　拡張給紙ユニットの取り付け形態については、「オプションのご紹介」（68 ページ）参照

⚠ 警告

感　電　拡張給紙ユニットを取り付けおよび取り外すときは、電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認し、電源コードをコンセントから抜いた後に行ってください。
電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因となります。

⚠ 注意

故　障　拡張給紙ユニットは、本プリンタ用の製品を取り付けてください。また、本プリンタ用の拡張給紙ユニットを、他のプリンタ（XL-6100/6010）に取り付けることはできません。指定外の拡張給紙ユニットを取り付けると、拡張給紙ユニットおよびプリンタ本体の故障の原因となります。

XL-6300/6200用（XL-EF50T1）

XL-6100/6010用（XL-EF50K1）

け　が
- 拡張給紙ユニットの金属部分に手を触れる場合は、十分に注意してください。手を傷つける恐れがあります。
- プリンタと拡張給紙ユニットの間に指を挟まないように注意してください。けがの原因となることがあります。
- 本製品は、オプションや消耗品、用紙が入っていない状態で約 25kg あります。プリンタを動かす場合は、必ず ２ 人以上で持ち運んでください。プリンタ本体に拡張給紙ユニット、大容量給紙ユニットを取り付けたまま移動することは危険なので絶対にしないでください。プリンタを動かす場合は、必ずプリンタ本体から拡張給紙ユニット、大容量給紙ユニットを取り外して別々に移動してください。また、プリンタを持ち上げるときは、腰を痛めないように十分に膝を折り、プリンタ本体のくぼみをしっかり持ってください。くぼみ以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。落下によりケガの原因になることがあります。

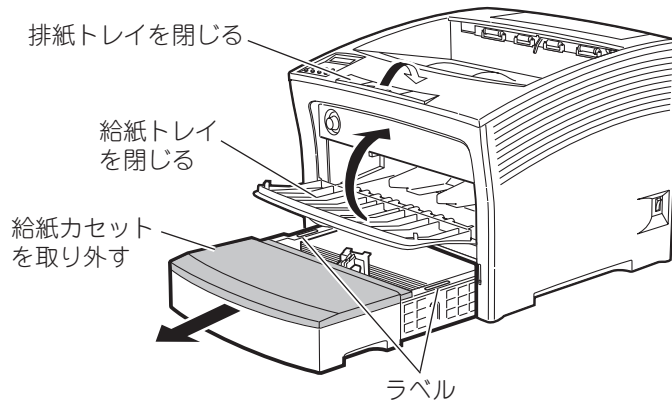
拡張給紙ユニットを取り付ける

拡張給紙ユニットは、次の手順で取り付けます。

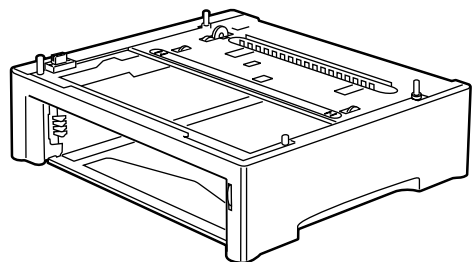
1 プリンタの電源を切り、各コード、ケーブルを外す

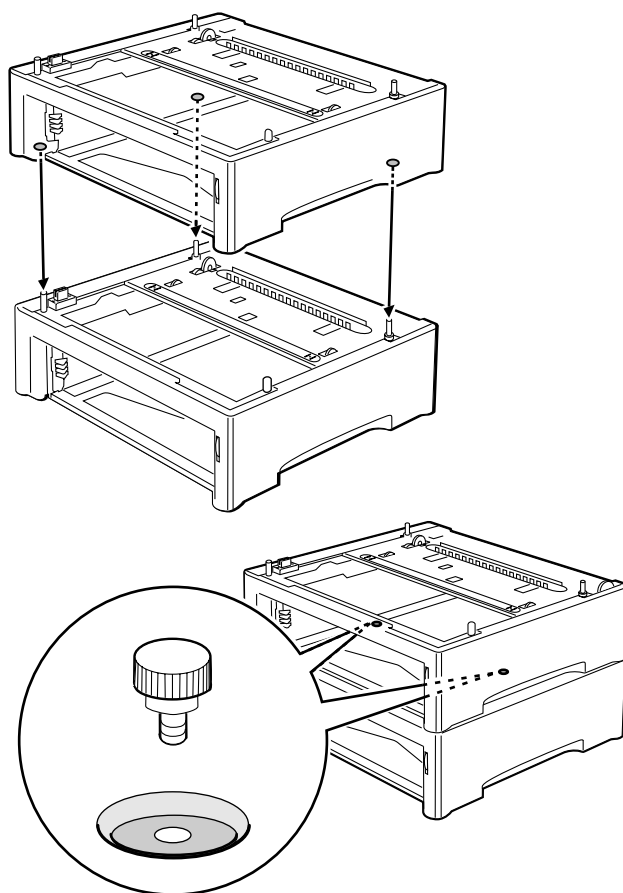
プリンタの電源スイッチを「○」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コードコネクタから抜きます。

パラレルケーブル、LAN ケーブルおよび USB ケーブルを外します。

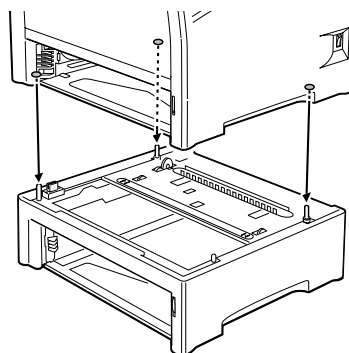
2 給紙トレイと排紙トレイを閉じ、給紙カセットを一度止まるまで手前に引き出し、ラベルの部分を両手で持ち、軽く持ち上げながらプリンタから抜く

3 拡張給紙ユニットを梱包箱から取り出し、設置場所に置く

ガイド

取り付ける拡張給紙ユニットが 1 段しかない場合は、5 へ進んでください。

拡張給紙ユニットを2段取り付けるときは､あらかじめ2個の拡張給紙ユニットをネジで固定する

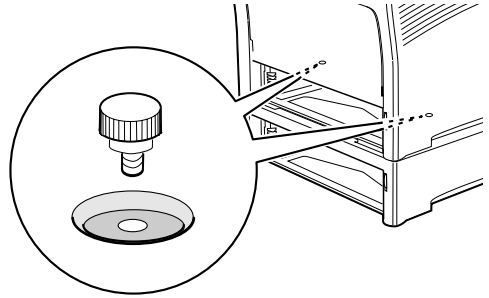
１段目の拡張給紙ユニットを２段目の拡張給紙ユニットに重ねます。このとき、２段目の拡張給紙ユニットの突起（3 か所）が１段目の拡張給紙ユニット底面の穴に納まるように位置を合わせます。１段目の拡張給紙ユニット内部のネジ穴（2 か所）に、付属のネジを通して締め、拡張給紙ユニットを固定します。

プリンタを水平に持ち上げ、拡張給紙ユニットの突起（3 か所）が、プリンタ底面の穴に入るように、プリンタをゆっくりおろす

お願い

拡張給紙ユニットを 2 段以上設置する場合は、拡張給紙ユニットどうしをしっかりと取り付けてから、プリンタ本体と接続してください。

6 **プリンタ本体の給紙ユニット内部のネジ穴（2 個）に付属のネジ（2 本）を通して締め、拡張給紙ユニットを固定する**

お願い

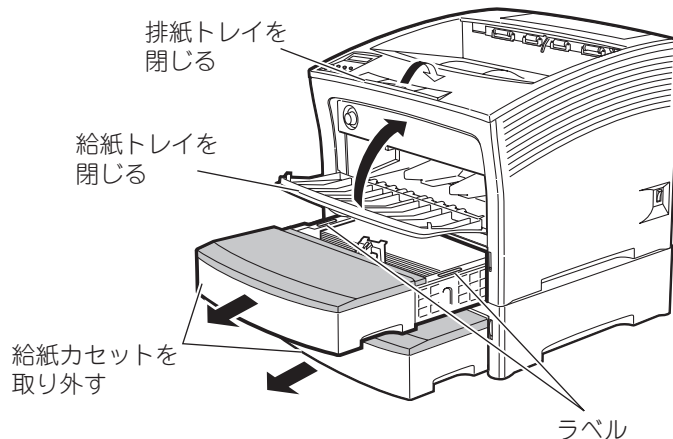
拡張給紙ユニットを増設した場合は、必ずプリンタドライバで装置オプションの設定を行ってください。

参照　設置方法についてはプリンタドライバのヘルプ、または『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

拡張給紙ユニットを取り外す

拡張給紙ユニットは、次の手順で取り外します。

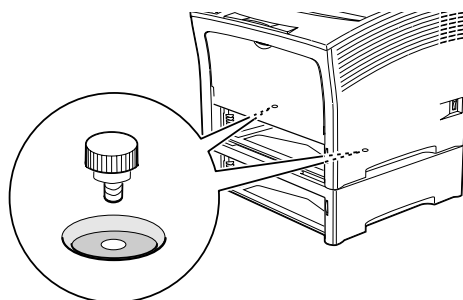
1 **プリンタの電源を切り、ケーブルを外す**

プリンタの電源スイッチを「○」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コードコネクタから抜きます。
パラレルケーブル、LAN ケーブル、および USB ケーブルを外します。

2 **給紙トレイと排紙トレイを閉じ、給紙カセットを一度止まるまで手前に引き出し、ラベルの部分を両手で持ち、軽く持ち上げながらプリンタおよび拡張給紙ユニットから抜く**

3

2 か所の固定ネジを外す

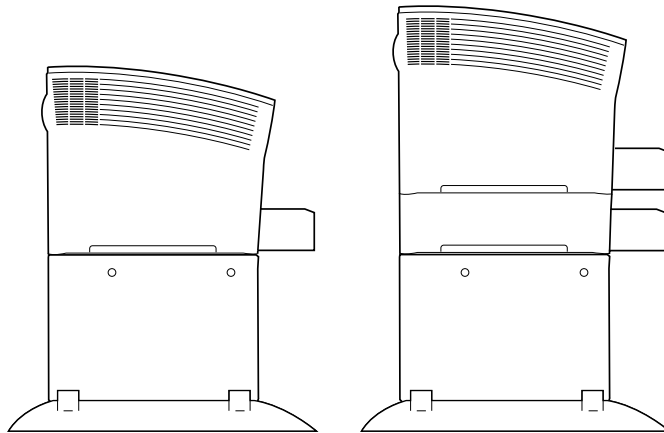
お願い

取り外した拡張給紙ユニットと付属の固定ネジを、破損または紛失することのないように保管してください。

プリンタの左右両側のくぼみを 2 人でしっかり持ち、プリンタをまっすぐに持ち上げる

お願い

まっすぐに持ち上げてください。無理に取り外すと、接続用ピンなどの接続部分を損傷することがあります。

大容量給紙ユニットの取り付けかた

大容量給紙ユニットを取り付けると、A4 サイズまたはレターサイズの用紙を 2,000 枚セットできます。プリンタに直接取り付けたり、オプションの拡張給紙ユニット（1 台）と組み合わせて取り付けることができます。

参照　大容量給紙ユニットの取り付け形態については、「オプションのご紹介」（68 ページ）参照

⚠ 警告	感　電	大容量給紙ユニットを取り付けおよび取り外すときは、電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認し、電源コードをコンセントから抜いた後に行ってください。 電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因となります。

⚠ 注意	け　が	・大容量給紙ユニットの金属部分に手を触れる場合は、十分に注意してください。手を傷つける恐れがあります。 ・プリンタと大容量給紙ユニット、または拡張給紙ユニットとの間に指を挟まないように注意してください。けがの原因となることがあります。 ・本製品は、オプションや消耗品、用紙が入っていない状態で約 25kg あります。プリンタを動かす場合は、必ず 2 人以上で持ち運んでください。プリンタ本体に拡張給紙ユニット、大容量給紙ユニットを取り付けたまま移動することは危険なので絶対にしないでください。大容量給紙ユニットの下に付いているキャスタは、平らな場所の移動時のみ利用可能です。段差や傾斜がある場所を移動する場合は、必ずプリンタ本体を取り外し、大容量給紙ユニットを持ち上げて運んでください。また、プリンタを持ち上げるときは、腰を痛めないように十分に膝を折り、プリンタ本体のくぼみをしっかり持ってください。くぼみ以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。落下によりケガの原因となることがあります。

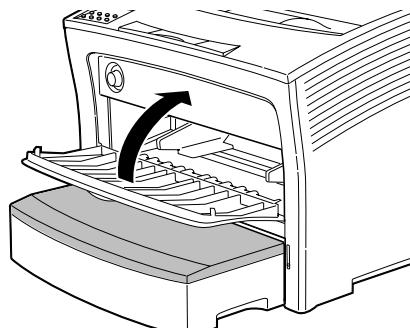
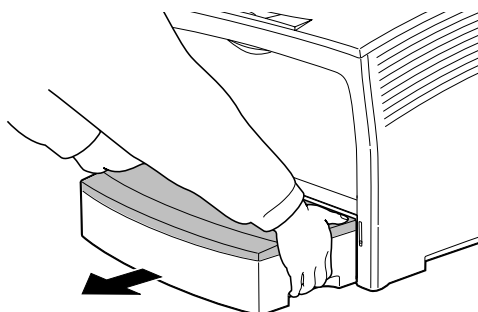
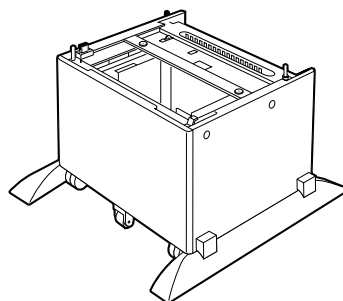
大容量給紙ユニットを取り付ける

大容量給紙ユニットは、次の手順で取り付けます。

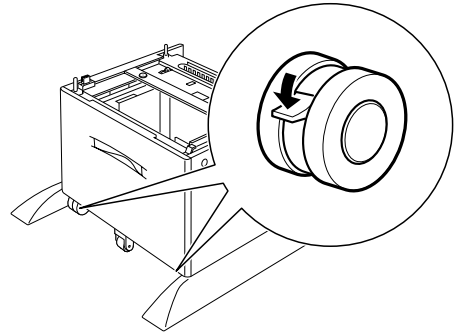
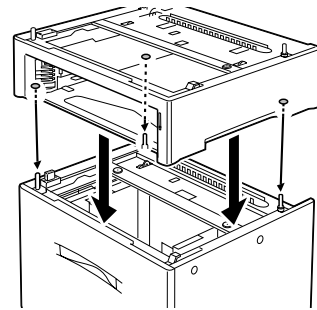
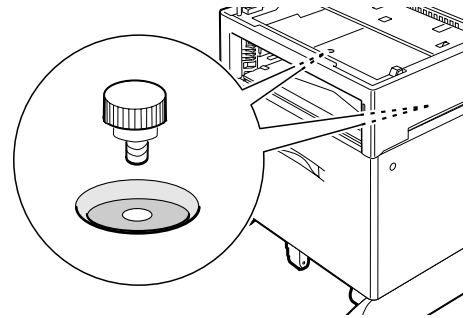
1 プリンタの電源を切り、各コード、ケーブルを外す

プリンタの電源スイッチを「○」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コードコネクタから抜きます。

パラレルケーブル、LAN ケーブルおよび USB ケーブルを外します。

2 給紙トレイおよび排紙トレイから用紙を取り除き、給紙トレイを閉じる

3 給紙カセットを軽く持ち上げながらプリンタから抜く

4 大容量給紙ユニットを梱包箱から取り出し、平らな場所に置く

5 大容量給紙ユニット前面のキャスターにあるストッパを止める

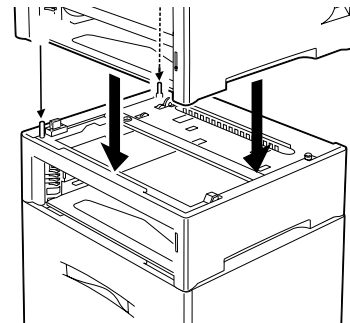
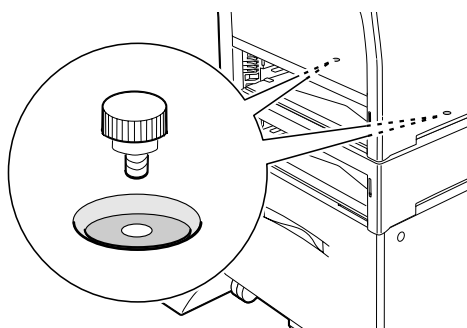
ガイド

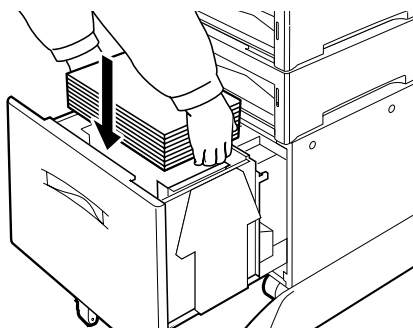
拡張給紙ユニットがない場合は、**8**へ進んでください。

6 拡張給紙ユニットを使用する場合は、先に張給紙ユニットと大容量給紙ユニットを取り付ける

7 拡張給紙ユニット底面にあるネジ穴（２ヵ所）にネジを通し、大容量給紙ユニットと拡張給紙ユニットを固定する

8 プリンタを水平に持ち上げて、大容量給紙ユニットまたは拡張給紙ユニットのガイドピン（3 本）がプリンタの底面の穴に入るように合わせる。その後、ゆっくりとプリンタをおろす

お願い

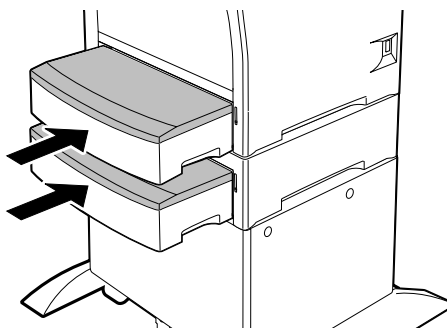
プリンタはゆっくりおろしてください。勢いよくおろすとプリンタ内の部品が壊れる場合があります。

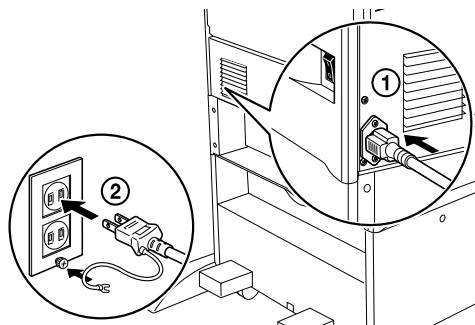
3

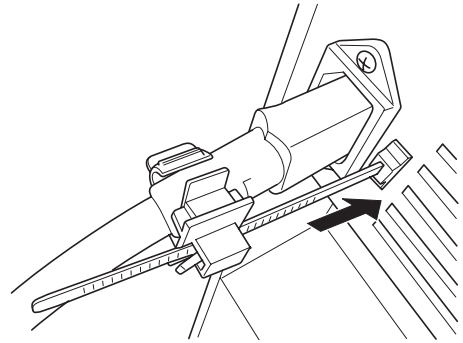
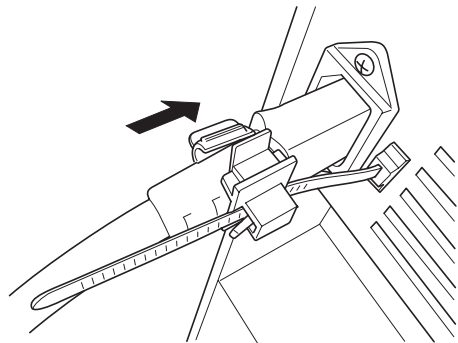
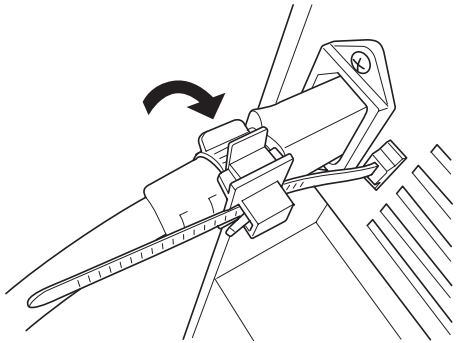
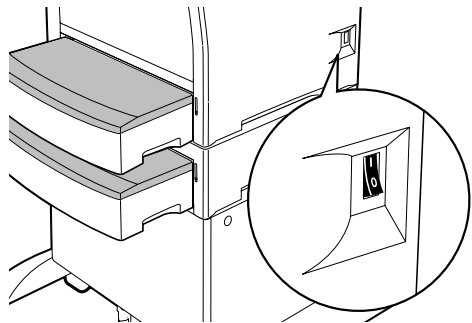
セットアップ編

プリンタ底面にあるネジ穴（２ヵ所）にネジを通し、大容量給紙ユニットまたは拡張給紙ユニットを固定する

大容量給紙ユニットに用紙をセットする

参照　用紙のセット方法
「大容量給紙ユニットに用紙をセットする」（54 ページ）参照

11

給紙カセットをプリンタの奥に突き当たるまで押し込む

突き当たるまで、完全に押し込みます。

12

プリンタの電源コード差し込み口に電源コードを取り付け、電源プラグを電源コンセントに差し込む

大容量給紙ユニットに添付されている固定材を取り付ける

① 電源コードを固定材の保持部ではさみ、固定材の先端をプリンタ背面の穴に強く押し込みます。

② 保持部を電源プラグに突き当たるまで移動します。

③ 保持部を図のように固定します。

電源スイッチを「｜」側に倒し、プリンタの電源を入れる

オペレータパネルに「オンライン」と表示されることを確認する

オンライン

ガイド

エラーメッセージが表示された場合は、「オペレータパネルのエラーメッセージ」（170 ページ）を参照してください。

お願い

大容量給紙ユニットを増設した場合は、必ずプリンタドライバで装置オプションの設定を行ってください。
なお、プリンタのオペレータパネルやプリンタドライバでは、大容量給紙ユニットも「給紙カセット」として表示されます。
例）
・標準＋大容量給紙ユニットの場合
　　標準カセット：　　　　　カセット１
　　大容量給紙ユニット：　カセット２
・標準＋拡張給紙ユニット＋大容量給紙ユニットの場合
　　標準カセット：　　　　　カセット１
　　拡張給紙ユニット：　　カセット２
　　大容量給紙ユニット：　カセット３

参照　プリンタドライバのヘルプ、または『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

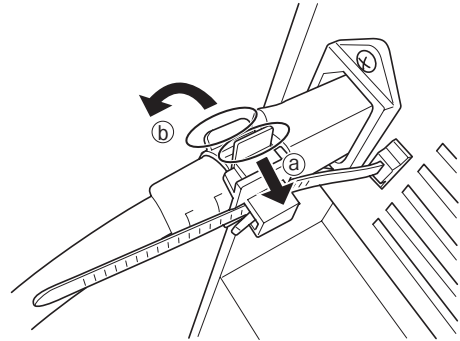
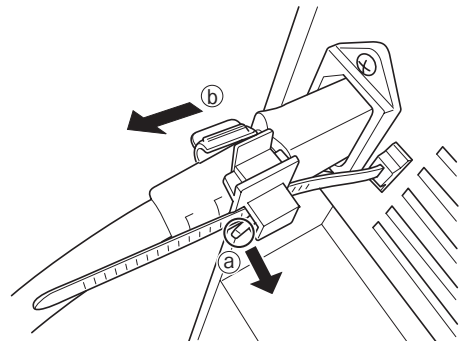
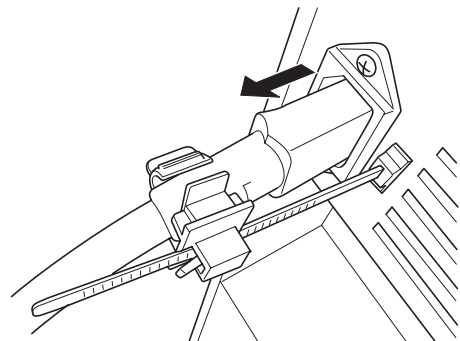
大容量給紙ユニットを取り外す

大容量給紙ユニットは、次の手順で取り外します。

プリンタの電源を切る

プリンタの電源スイッチを「○」側に倒します。

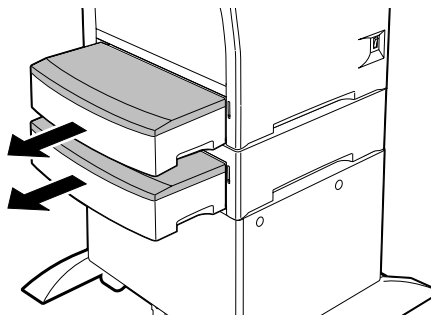
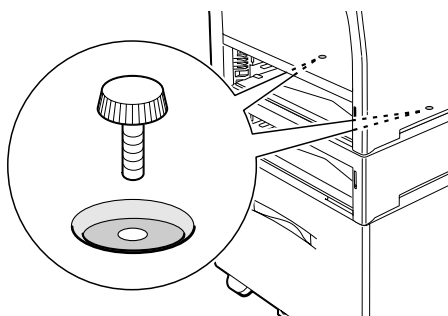
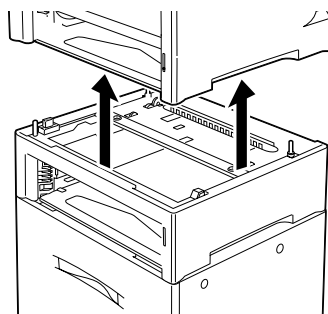
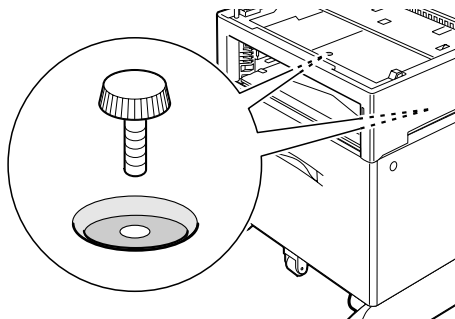
電源コードの固定材を取り外す

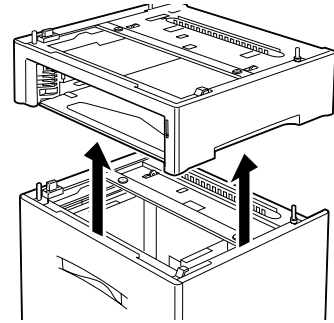
① 手前のつまみを手前に開きながら（ⓐ）、保持部を解除します（ⓑ）。

② 図の○で囲まれた部分を押しながら（ⓐ）、保持部を後ろへ移動します（ⓑ）。

③ 電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コードコネクタから抜きます。

ケーブルを外す

パラレルケーブル、LAN ケーブルおよび USB ケーブルを外します。

3

セットアップ編

4 給紙カセットを、軽く持ち上げながらプリンタから抜く

5 プリンタ内部のねじ（２ヶ所）を取り外す

6 プリンタを水平に持ち上げて、拡張給紙ユニットから取り外す

7 拡張給紙ユニット底面のねじ（2ヶ所）を取り外す

拡張給紙ユニットを水平に持ち上げて、大容量給紙ユニットから取り外す

運　用　編

第4章
日常の操作

この章では、本プリンタを使用するうえで日常的に必要となる操作について説明します。

印刷手順

アプリケーションで作成したデータを実際に印刷するときの操作について説明します。印刷手順はアプリケーションによって異なります。
ここでは、ワードパッドを例に説明します。

1. ワードパッドでデータを作成する

2. ［ファイル］メニューから［印刷］を選択する

3. プリンタが正しく選択されていることを確認し、［プロパティ］をクリックする

各項目を設定し、[OK] をクリックする

参照　各設定項目の詳細については、プリンタドライバの「ヘルプ」または『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

参照　用紙をセットする方法については、「第 6 章　用紙について」（141 ページ）参照

手順 3 の画面に戻ります。

5 [OK] をクリックする

印刷が開始されます。

参照　うまく印刷できないときは、「第 7 章　こんなときには」（151 ページ）参照

プリンタの状態確認（ポップアップ）

Printianavi を使うと、プリンタの状態をパソコン上で見ることできます。
Printianavi は、印刷が実行されるとプリンタのモニタを開始します。プリンタでエラーが発生すると、エラーの内容と対処方法を、パソコンの画面にポップアップ表示します。

Printianavi によるエラー情報をポップアップ表示にするための設定、および詳細については、プリンタドライバの「ヘルプ」、または『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

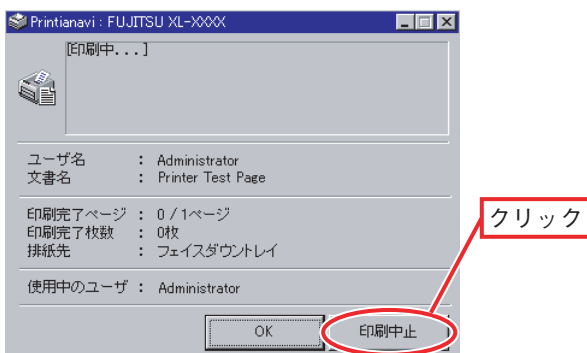
印刷の中止

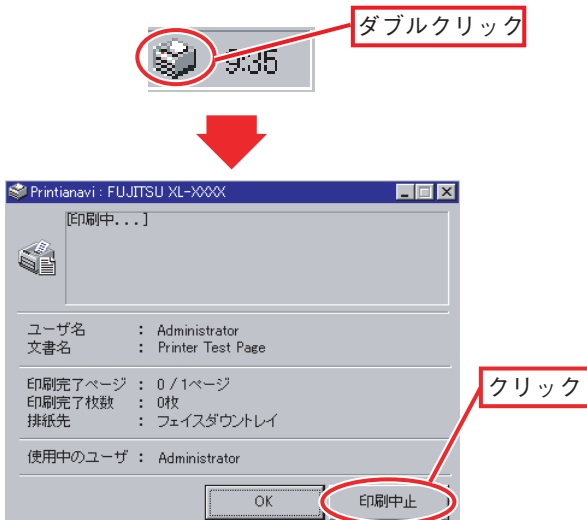
印刷開始後（データランプ点滅または点灯）、印刷を中止する 2 つの方法を説明します。

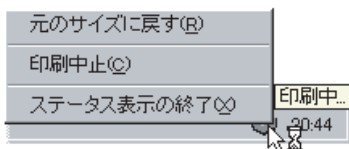
パソコンの画面から中止する（双方向通信機能が有効のとき）

パソコンから印刷を中止するときの操作は、［Printianavi］ダイアログの表示方法の設定によって異なります。

●ポップアップ表示のとき

［印刷中止］をクリックする

●エラー時ポップアップ表示または最小化のとき

タスクトレイのアイコンをダブルクリックし、［印刷中止］をクリックする

ガイド

タスクトレイのアイコンを右クリックし、「印刷中止」を選択して、印刷を中止することもできます。

オペレータパネルから中止する

オペレータパネルでプリンタをオフライン状態に切り替えて、リセットの操作をします。
プリンタをリセットすると、プリンタ内の未印刷データを消去し、パソコンから残りデータを受信しながら、印刷ジョブを削除します。
Printia XL ドライバから印刷しているときは、印刷ジョブの終了を検出するとリセット（初期化）を終了します。

1 印刷中に「オンライン」スイッチを押す

×××××には、使用ポートが表示されます。

印刷中の用紙を排出し、オフライン状態になります。

```
インサツチュウ　ＸＸＸＸＸ
　　　　　　　　　　1ーA4
```

↓「オンライン」

```
ハイシュツ　ショリチュウ
　　　　　　　　　　1ーA4
```

↓

```
オフライン　　　ＸＸＸＸＸ
```

2 「リセット」スイッチを押す

このとき「オンライン」スイッチを押すと、リセットせずに印刷を再開します。

↓「リセット」

```
ショキカ　シマスカ（Y，N）？
リセット→Y　オンライン→N
```

再度「リセット」スイッチを押す

プリンタを初期化します。
受信データがあると、データランプが点滅します。
初期化が終了すると、オンライン状態に戻ります。

↓「リセット」

ショキカチュウ

ガイド

プリンタの接続方法や使用しているパソコンによっては、印刷ジョブが完全には削除できず、オンライン状態に戻った後、文字化けなどのトラブルが発生することがあります。Printianavi を使用しているときは、パソコン上の Printianavi メッセージ上から「印刷中止」または「印刷打ち切り」を行うことをお勧めします。

参照　オペレータパネルの詳細は「第5章　オペレータパネルの操作」(117 ページ)参照

プロセスカートリッジの交換と使用上のご注意

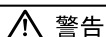
プロセスカートリッジの交換のしかたと使用するときの注意事項について説明します。

プロセスカートリッジの交換

プロセスカートリッジ 1 本あたりの目安として、LB314A の場合 A4 サイズの用紙で約 6000 ページ、LB314B の場合 A4 サイズの用紙で約 15000 ページの印刷ができます。トナーの残りが少なくなると、プロセスカートリッジの交換を促すメッセージが液晶ディスプレイに表示されます。この表示がでたら、プロセスカートリッジを取り外し、新しいプロセスカートリッジと交換します。

参照　プロセスカートリッジの詳細は「サプライ品一覧」（187 ページ）参照

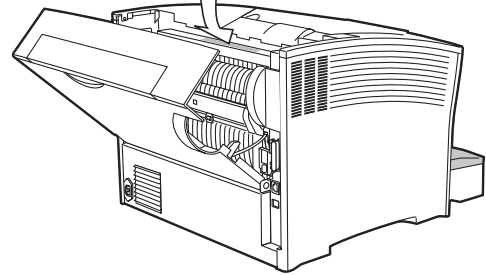
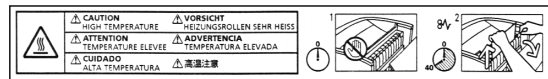
参照　「プロセスカートリッジの取り外し」（106 ページ）参照

参照　「プロセスカートリッジの取り付け」（42 ページ）参照

⚠ 警告

破　裂	プロセスカートリッジを火中に投入しないでください。火中に投入すると、トナー粉がはねて、やけどの原因となります。 使用済みのプロセスカートリッジは、無償回収サービスをご利用ください。 参照　「使用済みプロセスカートリッジの回収サービス」（191 ページ）参照
誤　飲	・トナーは目や口に入らないように注意してください。プロセスカートリッジの交換時などにトナーが手に付いた場合は、速やかに洗い落としてください。 万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。 ・プロセスカートリッジを保管する場合は、小さなお子さまがトナーを誤って飲むことがないように、小さなお子さまの手の届かないところに置いてください。 万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。
け　が	上部カバーを開くとき、カバーとプリンタ本体に手を挟まないように注意してください。ケガをすることがあります。 上部カバーが開いているときに、上部カバーに手を触れると、閉じる方向に自然落下することがあります。手を挟んでケガをする原因となりますので、上部カバーには触れないようにしてください。

注意

故　障	プロセスカートリッジは、本製品専用品を取り付けてください。専用品以外のプロセスカートリッジを取り付けると、プロセスカートリッジおよびプリンタ本体の故障の原因となる恐れがあります。
やけど	プリンタを使用した直後は定着器が非常に熱くなっています。「高温注意」ラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。

警告ラベル

プロセスカートリッジ交換時のお願い

プロセスカートリッジは、光に対して非常に敏感です。トナーを均一にするときや交換に際しては、次の点に注意してください。

- 直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当てないでください。通常の室内の明かりの下でも５分以上は放置しないでください。
- ドラム保護シャッターは絶対に開けないでください。
- 感光体（ドラム）表面には絶対に手を触れないでください。
- 立てたり、裏返しにして置かないでください。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときにはすぐに洗ってください。
- 常に、予備のプロセスカートリッジを用意しておいてください。
- 装置の故障を防ぐため、本プリンタ専用品以外のプロセスカートリッジをセットすると、次のようなエラーメッセージが表示される場合があります。純正品のプロセスカートリッジに交換してください。

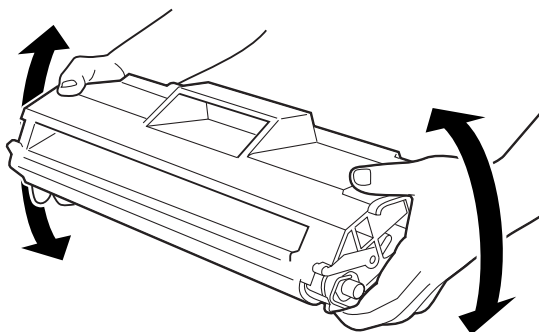
```
カートリッジ゛ イシ゛ョウ
 ＥＰカートリッジ゛ カクニン
```

4

運用編

プロセスカートリッジの交換に関する留意事項

・プロセスカートリッジの保管期限は約 2 年間です。お買い上げ後は 2 年以内にご使用ください。
・プロセスカートリッジ内のトナーが片寄っているために、プロセスカートリッジの交換を促すメッセージが液晶ディスプレイに表示されることがあります。
・プロセスカートリッジの交換を促すメッセージが表示されない場合でも、次のようなときはプロセスカートリッジの交換が必要です。

- 縦のカスレや部分的なカスレがある場合
  プロセスカートリッジを図のように取り出して振り、内部トナーの状態を均一にして印刷してみても、改善されないとき

- 不鮮明な印刷状態が発生した場合
  適切な用紙に替えて印刷しても改善されないとき

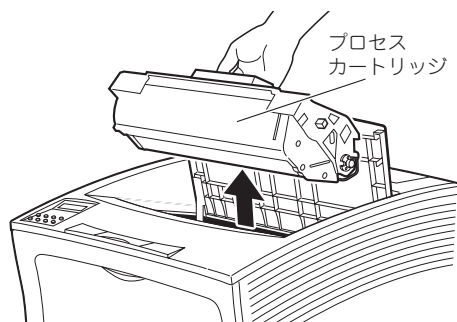
プロセスカートリッジの取り外し

次の手順にしたがって、プロセスカートリッジを取り外します。

1　プリンタの上部カバーを開く

2　プロセスカートリッジの取っ手を持ち、ゆっくり引き上げる

ガイド

・トナーで床を汚さないよう、取り出したプロセスカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。
・使用済みのプロセスカートリッジを処分するときは、弊社の回収サービスをご利用ください。

「プロセスカートリッジの取り付け」にしたがって、新しいプロセスカートリッジを取り付けます。

参照　「プロセスカートリッジの取り付け」（42 ページ）参照

●使用済みプロセスカートリッジの回収サービス

富士通株式会社では、地球環境への配慮から使用済みプロセスカートリッジを無償で回収しております。
下記の『エコ受付センター』にご連絡をいただければ、回収便にて引き取りにうかがいます。お客様のご理解とご協力をお願いいたします。
『エコ受付センター』
　フリーダイヤル：0120-30-0693
　　平日 8:40 ～ 12:00 および 13:00 ～ 17:30
　　（土曜・日曜・祝日・年末年始を除く）

プロセスカートリッジの取り扱いと保管

プロセスカートリッジを取り扱うときや保管するときの注意事項について説明します。

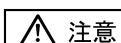
取り扱い上のご注意

プロセスカートリッジを取り扱うときは、次の点にご注意ください。
- 直射日光や強い光 (約 1500 ルクス以上) に当てないでください。
- 室内の明かりの下でも、プロセスカートリッジを 5 分以上放置しないでください。
- プロセスカートリッジをプリンタから外した場合は、強い光に当てないよう梱包されていたアルミ袋に入れるか、厚い布などに包んでください。
- 寒いところから暖かいところに移動した場合は、 1 時間以上室温に慣らしてから使用してください。
- 立てたり、裏返しにして置かないでください。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときはすぐに洗ってください。
- トナーシールを引き抜いた後は、プロセスカートリッジを強く振ったり、衝撃を与えないでください。トナーがこぼれることがあります。
- 感光体（ドラム）表面には絶対に手を触れないでください。

保管上のご注意

プロセスカートリッジを保管するときは、次の点にご注意ください。
- 使用するまでは開封しないでください。万一、開封してしまった場合は、梱包されていたアルミ袋に入れ、保管してください。
- 直射日光をさけ、以下の環境で保管してください。
　　温度範囲　0 ～ 35 ℃、湿度範囲　15 ～ 80%RH（ただし、結露のないこと）
- 高温多湿になる場所には置かないでください。
- 立てたり、裏返しにして置かないでください。
- CRT 画面、ディスクドライブ、フロッピーディスクなど、磁気を帯びたものの近くに置かないでください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。

プリンタの清掃

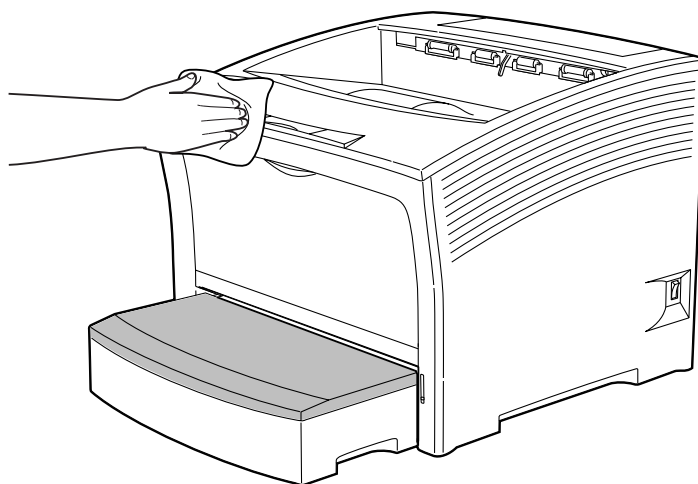
プリンタを良好な状態に保ち、いつもきれいな印刷ができるように、約 1 か月に 1 回、プリンタ本体周辺を清掃してください。また、プロセスカートリッジの交換時や紙づまりの処置時には、プリンタ内部を点検してください。

⚠ 注意

やけど	プリンタの清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
感　電	電源スイッチを切らずにプリンタの清掃を行うと、やけどや感電の原因となることがあります。

お 願 い

清掃に際しては、以下の点に注意してください。
・プリンタを使用した直後は、プリンタ内部が非常に熱くなっています。10 分位たって内部の温度が下がってから作業してください。
・水または中性洗剤以外は、絶対に使用しないでください。ベンジン、シンナーなど揮発性のものを使用すると、カバーの変色や変形の恐れがあります。
・油をさす必要はありません。注油はしないでください。

プリンタ外部を清掃する

カバー表面の汚れは、水またはうすめた中性洗剤を含ませてかたくしぼった布で拭き取ります。そのあと、柔らかい乾いた布で拭きます。

プリンタ内部を清掃する

プリンタ内部の清掃方法を、清掃場所ごとに説明します。

●内部の点検

紙づまりの処置や、プロセスカートリッジ交換のあと、上部カバーを閉じる前に、内部を点検してください。

参照　「プロセスカートリッジの取り外し」（106 ページ）参照

1　プリンタの上部カバーを開く

2　プロセスカートリッジの取っ手を持ち、ゆっくり引き上げる

･紙片が残っていれば取り除きます。
･ほこり、汚れ、こぼれたトナーは、乾いた清潔な柔らかい布で拭き取ります。

●紙送りローラの清掃

年賀はがきなど、絵入り官製はがきに印刷するとき、はがきの粉により送り不良が発生することがあります。プロセスカートリッジを取り外し、紙送りローラ（ゴムローラ（2 個））を清掃してください。

1　紙送りローラの外側にあるプラスチックのローラのツメを、軸の溝から外しながら外側にずらす

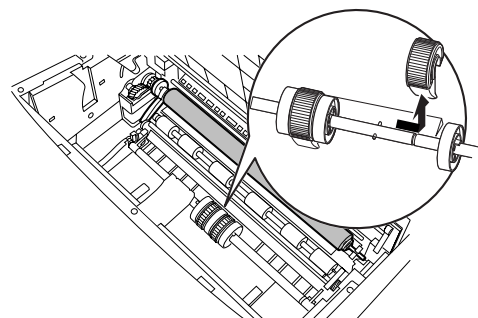
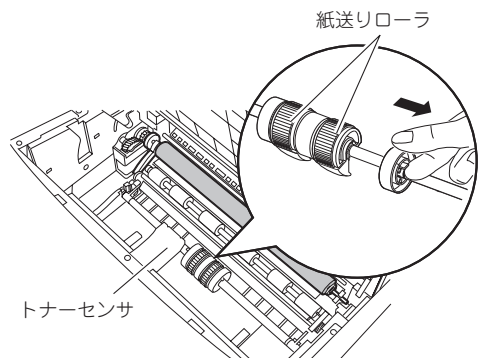
左側のローラは左へ、右側のローラは右へずらします。

お願い

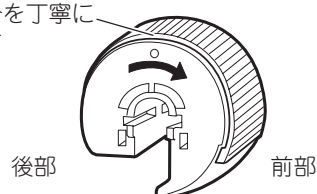
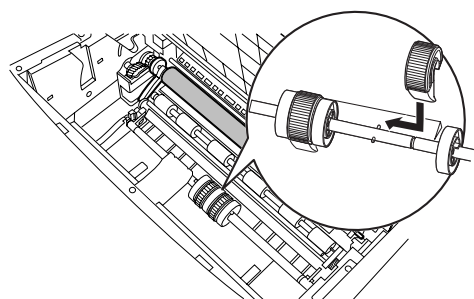
トナーセンサ側にあるプラスチックローラは左側に動かしてください。このとき、トナーセンサを軽く持ち上げながら行ってください。

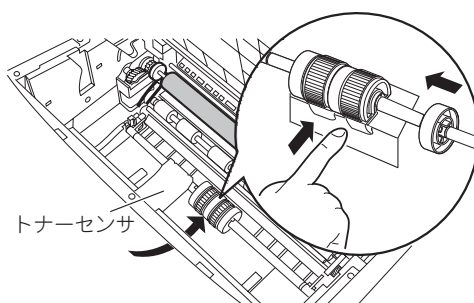
2　紙送りローラを外側にずらして、垂直に取り外す

4

運用編

水でぬらして硬く絞った柔らかい布で、紙送りローラのゴムの部分をていねいに拭く

お願い

水以外は使用しないでください。ゴムが破損することがあります。

紙送りローラの矢印を手前に向けて軸にはめ、軸上の突起と紙送りローラの溝をあわせ内側にずらす

5 給紙トレイの給紙口から手を入れ、軸の後ろにあるプレートを押しながら、外側のローラ（プラスチック）を、内側にずらして紙送りローラを固定する

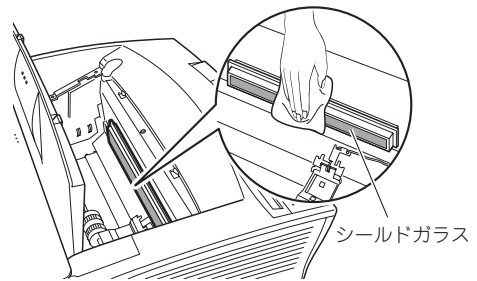
左側の紙送りローラも同じ手順で清掃してください。

外側のローラのツメが、軸の溝にはまっていることを確認してください。

お願い

左側の紙送りローラを清掃するときは、トナーセンサに力を加えないように注意してください。

●シールドガラスの清掃

シールドガラスが汚れていると、レーザ光が遮断されて印刷がかすれることがあります。プロセスカートリッジを取り出し、シールドガラスを清掃してください。

シールドガラスを乾いた布でていねいに拭く

プリンタを長時間使用しないとき

１週間以上プリンタを使用しないときは、電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いておきます。また、用紙を給紙トレイや給紙カセットから取り出し、湿気やほこりの少ない場所に保管します。

⚠ 警告

感　電	電源プラグは絶対に濡れた手で触らないでください。感電の原因となる恐れがあります。
感　電 火　災	電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源コードが傷つき、火災・感電の原因となる恐れがあります。

1 電源の切断を確認し、電源コードを取り外す

プリンタの電源スイッチを「○」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コードコネクタから抜きます。

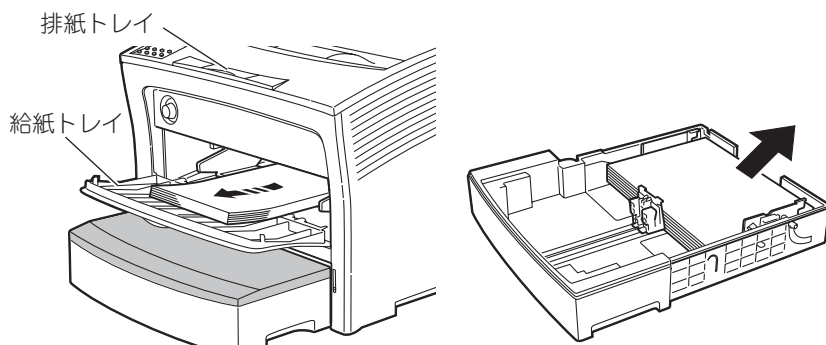
お願い

エラーメッセージが表示されているときは、オペレータパネルのメッセージに従った処置をしてから電源を切ってください。

参照　「オペレータパネルのエラーメッセージ」（170 ページ）参照

2 用紙を取り出す

給紙トレイおよび給紙カセットから用紙を取り出し、湿気やほこりのない場所に保管します。

参照　用紙の保管については、「第６章　用紙について」（141 ページ）参照

プリンタを移動するとき

プリンタを運搬したり、移動したりするときには、次の点に注意してください。

⚠ 注意	けが	本製品は、オプションや消耗品、用紙が入っていない状態で約 25kg あります。プリンタを動かす場合は、必ず 2 人以上で持ち運んでください。プリンタを持ち上げるときは、腰を痛めないように十分に膝を折り、プリンタ正面（操作パネル側）および背面に向かい、左右両側のくぼみを両手でしっかりと持ってください。くぼみ以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。落下によりケガの原因になることがあります。

ガイド

拡張給紙ユニット（オプション）および大容量給紙ユニット（オプション）を取り付けているプリンタを移動する場合には、プリンタ本体から取り外します。プリンタ本体や拡張給紙ユニットおよび大容量給紙ユニットは傷がつかないように梱包してから運搬してください。移転など、プリンタを長距離移動する可能性がある場合は、梱包材を保管しておくと便利です。

お願い

大容量給紙ユニットの下に付いているキャスターは、平らな場所を移動する時のみ利用可能です。段差や傾斜がある場所を移動する場合は、必ずプリンタ本体から大容量給紙ユニットを取り外し、持ち上げて移動してください。

近くに移動する

プリンタを設置していた机を変えたり、隣の部屋に移動させたりする場合は、以下の手順に従ってください。

電源の切断を確認し、電源コードを取り外す

プリンタの電源スイッチを「○」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コードコネクタから抜きます。

お願い

エラーメッセージが表示されているときは、オペレータパネルのメッセージに従って処置をしてから、電源を切ってください。

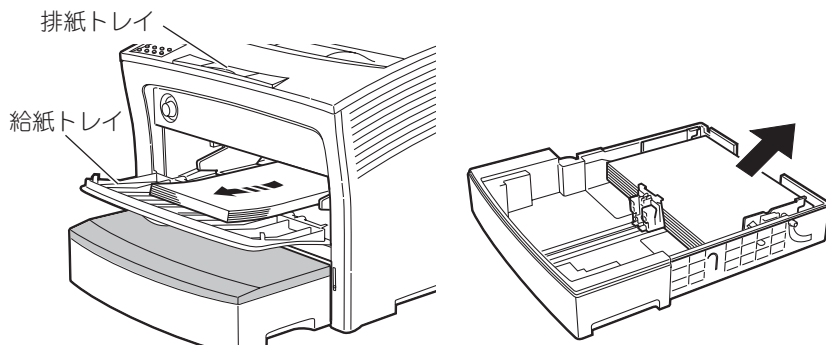
参照　「オペレータパネルのエラーメッセージ」（170 ページ）参照

ケーブルを抜く

パラレルケーブルまたは USB ケーブルを外します。また、LAN ケーブルが接続されている場合、LAN ケーブルを外します。

3 用紙を取り出す

用紙を給紙トレイまたは給紙カセットから取り出し、紙などに包みます。給紙トレイと排紙トレイは閉じます。

参照　用紙の保管については、「第 6 章　用紙について」（141 ページ）参照

ガイド

用紙の入っている給紙カセットは重いので、注意してプリンタから抜いてください。

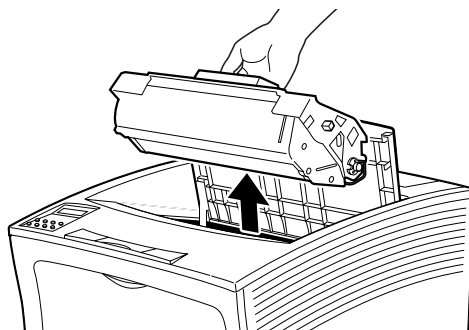
参照 「給紙カセットに用紙をセットする」（47 ページ）参照

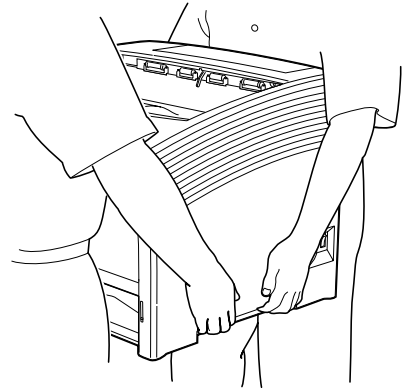
プロセスカートリッジを取り外す

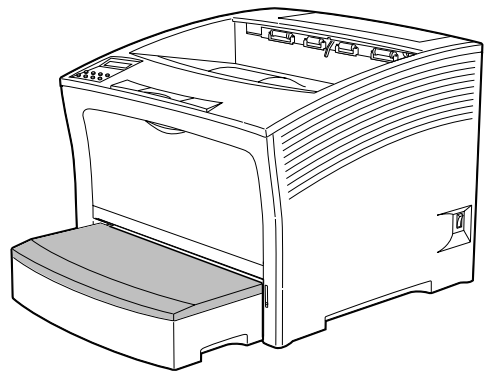
プリンタ内部からプロセスカートリッジを取り外し、上部カバーを閉めます。

参照 「プロセスカートリッジの交換」（104 ページ）参照

お願い

- プロセスカートリッジを取り付けたまま運搬すると、トナーでプリンタ内部が汚れることがあります。必ず取り外してください。
- 取り外したプロセスカートリッジを振らないでください。トナーがこぼれることがあります。
- 取り外したプロセスカートリッジは、強い光に当てないように、ビニール袋に入れるか、厚い布などに包んでください。

プリンタを移動する

給紙カセットを抜いた状態で、プリンタを 2 人以上で持ち、静かに移動します。

6 適切な場所に、プリンタを設置し直す

参照　設置し直すときの手順については、「第 2 章　プリンタ本体の設置」（35 ページ）参照

梱包して運搬する

プリンタを運搬するときは、取り付けてある付属品などを外し、もう一度梱包する必要があります。以下の手順に従ってください。

付属品を取り外す

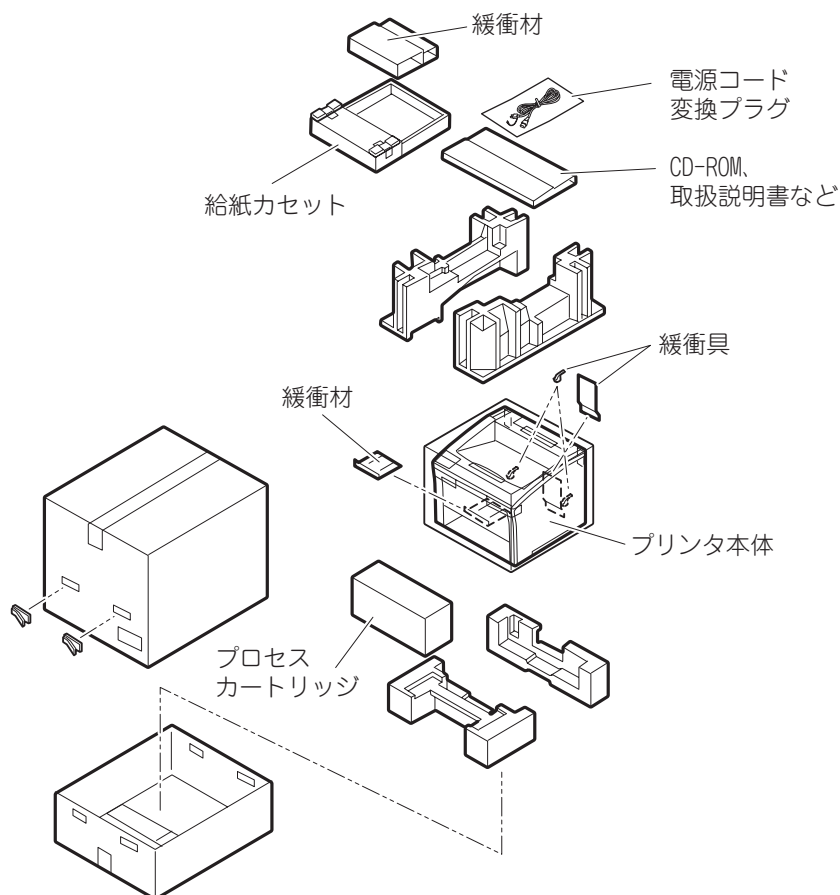
参照　「近くに移動する」の手順 1 ～ 4（113 ページ）参照

梱包し直す

下図のように梱包して、運搬してください。

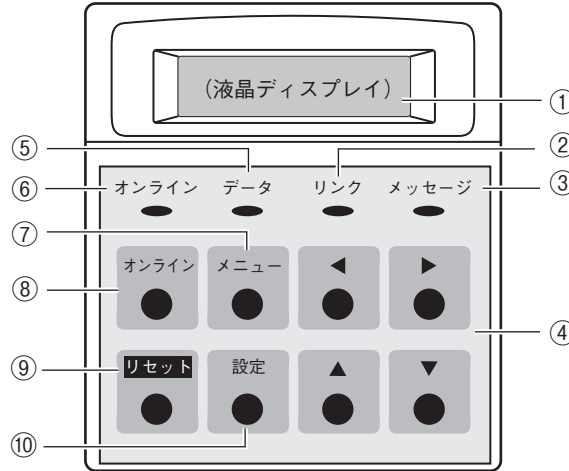
精密機械ですから、運搬するときは以下の点に注意して、ていねいに取り扱ってください。

・梱包時は、製品購入時に使用していた梱包材で梱包してください。
・プロセスカートリッジは必ずプリンタから取り出してください。取り出したプロセスカートリッジはビニール袋等に入れて運搬してください。

参照　「プロセスカートリッジの取り扱いと保管」（107 ページ）参照

第５章
オペレータパネルの操作

この章では、液晶ディスプレイに表示される内容と、オペレータパネルの操作のしかたについて説明します。

オペレータパネル

オペレータパネルには、操作に必要なスイッチ、表示ランプ、および液晶ディスプレイがあります。ここでは、オペレータパネルの機能を説明します。

①	液晶ディスプレイ	プリンタの状態を知らせるメッセージや設定項目などを表示します。（1 行 16 文字の 2 段に表示されます。）	
②	リンクランプ	ネットワークと接続されている状態かどうかを知らせます。	
		点灯	ネットワークと接続されていることを示します。
		消灯	ネットワークと接続されていないことを示します。
③	メッセージランプ	印刷できない状態であることを知らせます。	
		点灯	エラーが発生し、印刷できない状態です。
		消灯	印刷できる状態です。
④	▲▼◀▶スイッチ	メニューモードのときに、設定項目および設定値の選択に使用します。	
⑤	データランプ	印刷データの受信状態を次のように知らせます。	
		点灯	プリンタ内にデータが残っている場合です。
		点滅	データをパソコンから受信中です。
		消灯	データがない状態です。
⑥	オンラインランプ	プリンタが印刷できる状態かどうかを次のように知らせます。	
		点灯	印刷できる状態、または印刷中です。
		消灯	印刷できない状態です。
⑦	メニュースイッチ	プリンタをメニューモードにします。メニューモードでは、プリンタに関する各種の設定を行います。メニューモードを終了するときにも使用します。	
⑧	オンラインスイッチ	オンライン状態とオフライン状態を切り替えます。	
⑨	リセットスイッチ	プリンタ内に残っている未印刷データを消去します。	
⑩	設定スイッチ	メニューモードのときに、選択した値を有効にします。また、印刷中止の確認など、プリンタが一時停止している印刷を続行します。	

参照　「メニュー」「▲」「▼」「◀」「▶」の各スイッチについては、
「オペレータパネルからの設定（メニューモード）」（122 ページ）参照

液晶ディスプレイの表示内容

液晶ディスプレイは、プリンタの設定状態や、エラーが発生したときの内容などを表示するものです。1 行 16 文字で 2 段に表示されます。
エラーが発生すると「メッセージ」ランプが点灯し、液晶ディスプレイにエラーメッセージを表示します。

ガイド

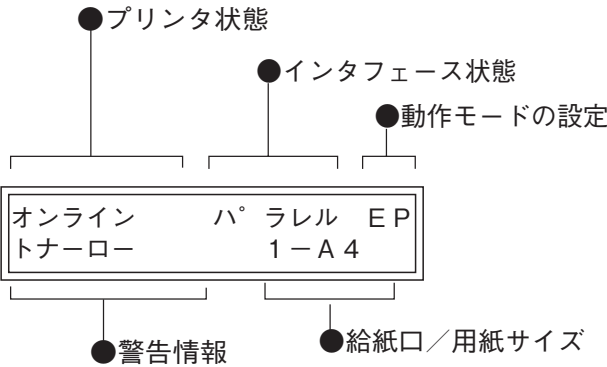
エラーメッセージの表示内容と対処方法については、「第 7 章　こんなときには」の「オペレータパネルのエラーメッセージ」（170 ページ）を参照してください。

電源投入時の表示内容

プリンタの電源を入れると、プリンタが動作するために必要な診断が行われます。診断が終わり、プリンタを使用できるようになると、液晶ディスプレイに「オンライン」と表示されます。

参照　「プリンタの動作とオペレータパネルの表示の確認」（46 ページ）参照

オンライン（印刷できる状態）時の表示内容

印刷可能状態のときに液晶ディスプレイに表示される内容について説明します。

項目	表示内容	説明
プリンタ状態	プリンタの状態を表示します。	
	オンライン	オンライン状態または印刷データを受信中です。
	オフライン	オフライン状態です。
	インサツチュウ	印刷を行っています。
	ジュンビ	ウォームアップ中、クールダウン中（*1）またはリフトアップ中（*2）です。
	セツデン	パワーセーブ中です。
インタフェース状態	データを受信したポート状態を表示します。	
	パラレル	パラレルポート経由でパソコンと通信しています。
	ＬＡＮ	LAN ポート経由でパソコンと通信しています。
	ＵＳＢ	USB ポート経由でパソコンと通信しています。
動作モードの設定	プリンタの動作モードを表示します。エミュレーション設定が「ESC/P」の場合は、Printia　XL ドライバからの印刷時、動作モードを自動で切り替えます。(初期値はエミュレーション設定「解除」)	
	ＥＰ	ESC/P モード
	ＨＸ	HEX ダンプ印刷モード
	表示なし	Printia XL ドライバの印刷動作中
	MW	Printia XL ドライバを使用した部単位印刷時のメモリ書き込み中
	ＭＲ	Printia XL ドライバを使用した部単位印刷時のメモリ読み出し中

*1：大量の連続印刷中や、異なる用紙設定に切り替えて印刷する場合に、定着器の過熱を防ぐために自動的に冷やしています。

*2：用紙を給紙可能位置へ移動しています。

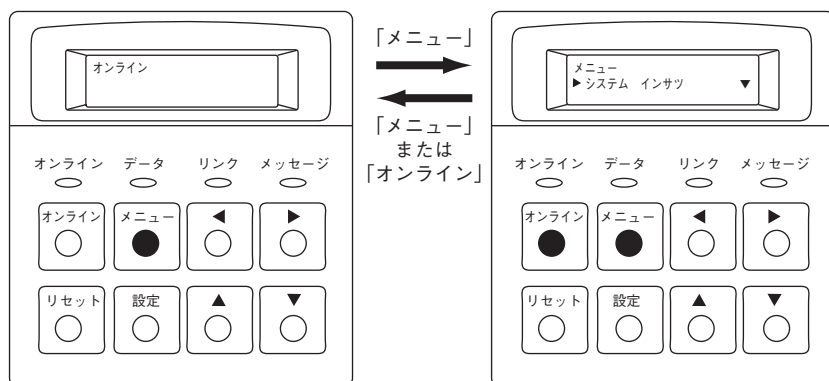
項目	表示内容	説明
警告情報	警告情報を表示します。	
	表示なし	警告なし
	カセットカクニン n	カセットなし、または大容量給紙ユニットなし（n:2 または n:3 のとき）状態
	サイズカクニン n	カセットサイズエラー状態
	トナーロー	トナーの残りが少なくなった状態
	トナーロー *	トナーが残り少なくなった時で、かつ純正品以外のプロセスカートリッジを使用している状態
	テイチャクキ	定着器の交換時期
	ソウチジュミョウ	プリンタが寿命に達した状態
	トナーコウカン	純正品以外のトナー検出
給紙口／用紙サイズ	印刷中の給紙口と用紙サイズを表示します。	
	【給紙口】	
	１	給紙カセット１から、給紙、印刷中です。
	２	給紙カセット２から、給紙、印刷中です。
	３	給紙カセット３から、給紙、印刷中です。
	M-	給紙トレイ（オペレータパネルで設定）から、給紙、印刷中です。
	M*	給紙トレイ（給紙トレイ用紙サイズスイッチで設定）から給紙、印刷中です。
	【用紙サイズ】	
	Ａ３	A3 用紙を給紙、印刷中です。
	Ｂ４	B4 用紙を給紙、印刷中です。
	Ａ４	A4 用紙を給紙、印刷中です。
	Ｂ５	B5 用紙を給紙、印刷中です。
	Ａ５	A5 用紙を給紙、印刷中です。
	ＬＧＬ	リーガル用紙を給紙、印刷中です。
	ＬＴＲ	レター用紙を給紙、印刷中です。
	ハガキ	官製はがきを給紙、印刷中です。
	フテイ	ユーザ定義サイズの用紙を給紙、印刷中です。
	フテイ Ｌ	長尺紙を給紙、印刷中です。

オペレータパネルからの設定（メニューモード）

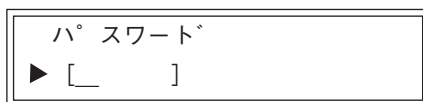
プリンタの設定を変えたり、設定内容を確認したりするときの操作方法について説明します。設定の変更や確認は、メニューモードで行います。

参照　メニューモードで設定できる項目（レベルおよび設定値）は、
「メニューモードの項目一覧」（124 ページ）参照

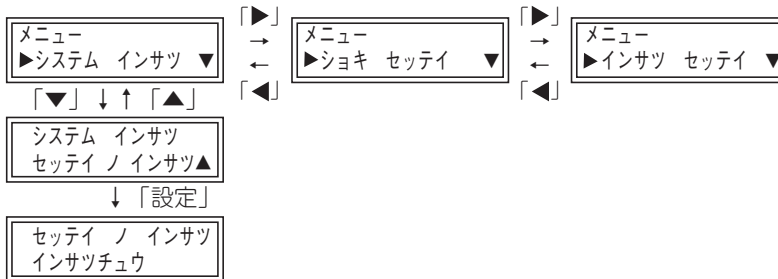
基本的な操作

メニューモードに入るときは、「メニュー」スイッチを押します。
メニューモードを終了させるには、「メニュー」スイッチまたは「オンライン」スイッチを押します。

メニューモードでは、目的の設定値を上位のレベルから順に選んで表示し、設定します。設定値までのレベルの深さは項目によって異なります。

ガイド

・プリンタがオフライン状態、オンライン状態のいずれの場合も、「メニュー」スイッチを押せばメニューモードに移行します。ただし、印刷の途中（データランプ点灯中）は、メニューモードに入ることはできません。電源を入れてからしばらく経っている場合、オペレータパネルに「セツデン」と表示されることがありますが、メニューモードに入れます。
・オペレータパネルの操作を制限している場合は、次の画面が表示され、パスワードの入力が必要になります。

参照　「オペレータパネルの操作制限」（139 ページ）参照

メニューモードでは、次のスイッチを使用します。

「◀」または「▶」スイッチ	同じレベルで項目を切り替えます。設定する値を変えたいときにも使用します。
「▼」または「▲」スイッチ	下のレベルまたは上のレベルに移動します。
「設定」スイッチ	表示された値に設定するときや、メニュー印刷、テスト印刷を行うときに押します。

●スイッチの使い分けと設定例

「◀」「▶」スイッチをカーソルの移動に使用している場合、値の設定には「▼」「▲」スイッチを使用します。
IP アドレスの設定を以下に示します。

1 「◀」「▶」スイッチで、設定するブロックにカーソルを移動する

2 「▲」（加算）、「▼」（減算）スイッチで値を設定する

3 各ブロックの設定が終わったらカーソルを左端に移動し、「設定」スイッチを押す

4 「メニュー」スイッチ、または「オンライン」スイッチを押す

設定が有効になります。

●プリンタのリセット

プリンタは、「IP アドレス設定」および「LAN 設定」内の設定値を変更し、「メニュー」スイッチまたは「オンライン」スイッチでメニューモードを終了した場合にリセットされます。

●テスト印刷（連続印刷）の終了

「テスト印刷」の連続印刷は、「リセット」スイッチを押すと終了します。

5

運用編

メニューモードの項目一覧

メニューモードで設定できる項目の一覧を次の表に示します。設定値に記載された「＊」および数値は、工場出荷時に登録される初期設定を示します。

参照　各項目の設定方法については、
「オペレータパネルからの設定（メニューモード）」（122 ページ）参照

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	設定値	機能〔範囲〕
システム印刷	設定の印刷				現在のプリンタの設定内容を印刷します。
	HEX ダンプ印刷（*4）				ヘキサダンプ形式で印刷します。
	テスト印刷			格子連続 1	格子を 600dpi で連続で印刷します。
				格子連続 2	格子を 300dpi で連続で印刷します。
				格子連続 3	格子を 1200dpi で連続で印刷します。
				ESC/P 印刷（*4）	ESC/P モードで使用する文字をエミュレーション解像度でテスト印刷します。
初期設定	IP アドレス設定 (*1)	DHCP 自動取得		＊ 設定	IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを DHCP により自動取得します。
				解除	IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを DHCP により自動取得しません。
		IP アドレス (*2)		XXX.XXX.XXX.XXX	IP アドレスを設定します。
		サブネットマスク (*2)		XXX.XXX.XXX.XXX	サブネットマスクを設定します。
		ゲートウェイ (*2)		XXX.XXX.XXX.XXX	ゲートウェイを設定します。ゲートウェイを使用しない場合は、0.0.0.0 に設定してください。
	LAN 設定	MAC アドレス		表示	MAC アドレスを表示します。
		Ethernet タイプ（*7）		＊ 自動	自動検出して動作します。
				100Mbps フル	100Mbps(Full) で動作します。
				100Mbps ハーフ	100Mbps(Half) で動作します。
				10Mbps	10Mbps で動作します。
		TCP/IP プロトコル		＊ 有効	TCP/IP を有効にします。
				無効	TCP/IP を無効にします。

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	設定値		機能〔範囲〕
初期設定	LAN 設定	ポート番号（*1）	印刷ポート番号		9313	印刷を行うときに使用するポート番号を設定します。［1 ～ 65535］
			検索ポート番号		9313	ネットワーク内のプリンタを検索するときに使用するポート番号を設定します。［1 ～ 65535］
		サービス設定（*1）（*9）	プリンタ検索	*	有効	ネットワーク内のプリンタを検索する機能を有効にします。
					無効	ネットワーク内のプリンタを検索する機能を無効にします。
			インターネットサービス	*	有効	WEB ブラウザでプリンタの状態を確認することや設定を更新することができます。
					無効	WEB ブラウザでのプリンタの状態確認や、設定が無効になります。
			SNMP	*	有効	SNMP を有効にします。
					無効	SNMP を無効にします。
			プリンタ起動通知	*	有効	プリンタ起動時にネットワークに通知します。
					無効	プリンタ起動時にネットワークに通知しません。
			BPP 印刷	*	有効	Printianavi　ネットワークポートモニタでの LAN ポート印刷を有効にします。
					無効	Printianavi　ネットワークポートモニタでの LAN ポート印刷を無効にします。
			IPP 印刷	*	有効	IPP による印刷を有効にします。
					無効	IPP による印刷を無効にします。
			LPR 印刷	*	有効	LPR 印刷を有効にします。
					無効	LPR 印刷を無効にします。
			RAW 印刷	*	有効	RAW 印刷を有効にします。
					無効	RAW 印刷を無効にします。

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	設定値		機能〔範囲〕
初期設定	LAN 設定	アクセス管理(* 1)(* 8)(*10)		*	無効	プリンタへのアクセスを制限しません。
					有効	プリンタにアクセスするホストを IP アドレスで制限します。(IP アドレスの範囲は Printia LASER Internet Service で設定します。)
	ポート設定	パラレルポート設定	双方向モード	*	設定	双方向インタフェースを有効にします。
					解除	双方向インタフェースを無効にします。
			INIT 受信	*	有効	INIT 信号を受信したときの初期化動作を有効にします。
					無効	INIT 信号を受信したときの初期化動作を無効にします。
			タイムアウト時間		30 秒	一定時間印刷しなかった場合に、他のポートからの印刷を可能にするときのタイムアウト時間を設定します。［10 ～ 3600 秒］10 秒単位
		USB ポート設定	双方向モード	*	設定	双方向インタフェースを有効にします。
					解除	双方向インタフェースを無効にします。
			タイムアウト時間		30 秒	一定時間印刷しなかった場合に、他のポートからの印刷を可能にするときのタイムアウト時間を設定します。［10 ～ 3600 秒］10 秒単位
	管理／初期化	メニュー操作制限(*9)			設定	オペレータパネルをロックし、パスワードの入力を要求します。
				*	解除	オペレータパネルの操作が有効になります。
		LAN 初期化				LAN に関する設定値を工場出荷時の値に戻します。
		設定初期化				すべての設定値を工場出荷時の値に戻します。(LAN に関する設定、フルスタックセンサ設定を除きます。)

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	設定値		機能〔範囲〕
初期設定	管理／初期化	パスワード変更				オペレータパネルをロックしているときに要求されるパスワードを変更します。パスワードは 4 ケタ以内の数字を入力します。
	その他の設定	節電時間			1 分	設定した値が経過すると、節電モードに移行します。
					15 分	
				＊	30 分	
					60 分	
					240 分	
		ブザー		＊	設定	エラー時にブザーを鳴動させます。
					解除	エラー時にブザーを鳴動させません。
		タッチ音		＊	設定	スイッチを押したときに、タッチ音を鳴らします。
					解除	スイッチを押したときに、タッチ音を鳴らしません。
		印字濃度調整			8	印字濃度を設定します。 0 ～ 15
		主走査方向位置			0.0mm	スキャンする方向（横ライン）の位置を調整します。 [-3.5 ～ 3.5mm]0.5mm 単位
		副走査方向位置			0.0mm	紙送り方向（縦ライン）の位置を調整します。 [-3.5 ～ 3.5mm]0.5mm 単位
		エミュレーション設定		＊	解除	プリンタを XL ドライバモードで動作させます。
					ESC/P	プリンタを ESC/P エミュレーションモードで動作させます。
		フルスタックセンサ設定		＊	有効	フルスタックセンサを有効にします。
					無効	フルスタックセンサを無効にします。

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	設定値		機能〔範囲〕
印刷設定	給紙口			＊	カセット 1	自動給紙指定時に検索を開始する給紙口を設定します。また、システム印刷時は、ここで指定した給紙口から給紙します。
					カセット 2 (*3)	
					カセット 3 (*3)	
					給紙トレイ	
	自動給紙設定	キュウシトレイ		＊	有効	自動給紙を行います。
		カセット 1			無効	自動給紙を行いません。
		カセット 2 (*3)				
		カセット 3 (*3)				
	給紙トレイサイズ			＊	A4	A4 サイズに設定します。
					B5	B5 サイズに設定します。
					A5	A5 サイズに設定します。
					リーガル	リーガルサイズに設定します。
					レター	レターサイズに設定します。
					ハガキ	はがきサイズに設定します。
					不定形	ユーザ定義サイズに設定します。このときの用紙サイズは、「不定形サイズ」の「不定形幅」および「不定形長さ」で設定します。
					A3	A3 サイズに設定します。
					B4	B4 サイズに設定します。
	不定形サイズ	不定形幅			297mm	給紙トレイにセットする不定形用紙の横の長さを指定します。 [100 ～ 297mm] 1mm 単位
		不定形長さ			420mm	給紙トレイにセットする不定形用紙の縦の長さを指定します。 [148 ～ 420mm] 1mm 単位

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	設定値		機能〔範囲〕
印刷設定	両面印刷 (*5)			*	解除	システム印刷時およびESC/P 印刷時に両面印刷を行いません。（片面印刷）
					設定	システム印刷時およびESC/P 印刷時に両面印刷を行います。
	印刷方向 (*4)			*	縦	用紙の短い辺に対して平行に印刷します。上端 / 左端の余白は固定になります。
					縦余白	用紙の短い辺に対して平行に印刷します。縦余白設定で設定した余白を付けて印刷します。
					横	用紙の長い辺に対して平行に印刷します。上端 / 左端の余白は固定になります。
					横余白	用紙の長い辺に対して平行に印刷する。横余白設定で設定した余白を付けて印刷します。
	縮小印刷 (*4)			*	100%	縮小せずに印刷します。
					75%	75%に縮小して印刷します。
					70%	70%に縮小して印刷します。
					リスト印刷 A4	ストックフォーム用の印刷データを 75％に縮小してA4 用紙に横方向で印刷します。
					リスト印刷 B4	ストックフォーム用の印刷データをB4用紙に横方向で印刷します。
	コピー枚数 (*4)				1 枚	印刷する部数を設定します。 [1 ～ 999 枚]
	とじしろ 方向 (*4)			*	長辺とじ	長辺側をとじしろとします。
					短辺とじ	短辺側をとじしろとします。
	とじしろ モード (*4)			*	左 / 上とじ	左側，または上側をとじます。
					右 / 下とじ	右側，または下側をとじます。
	とじしろ量 (*4)	表			0mm	表面のとじしろ量を設定します。 [0 ～ 30mm]1mm 単位
		裏 (*5)			0mm	裏面のとじしろ量を設定します。 [0 ～ 30mm]1mm 単位

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	設定値		機能〔範囲〕
印刷設定	スムージング (*4)			＊	設定	印刷結果を滑らかにします。
					解除	印刷結果を滑らかにしません。
	トナーセーブ (*4)			＊	解除	トナーを節約しません。
					設定	トナーを節約します。
	データなし印刷 (*4)			＊	解除	データのないページを印刷しません。
					設定	データのないページを印刷します。
	タイマー監視印刷 (*4)			＊	解除	タイマー監視印刷を行いません。
					30 秒	監視時間を 30 秒にします。
					10 秒	監視時間を 10 秒にします。
EP モード設定 (*4)	文字コード			＊	カタカナ	カタカナコード表を使用します。 参照　『オンラインマニュアル』「エミュレーション編」参照
					グラフィック	拡張グラフィックコード表を使用します。 参照　『オンラインマニュアル』「エミュレーション編」参照
	給紙位置 (*6)			＊	8.5mm	印刷開始位置を用紙の上辺から 8.5mm に設定します。
					22mm	印刷開始位置を用紙の上辺から 22mm に設定します。
	右マージン位置			＊	用紙幅	用紙幅に合わせて右マージンを設定します。右マージンは、使用する用紙サイズの印刷領域の右端までです。
					136 桁	用紙サイズに関係なく 136 桁（13.6インチ）に設定します。用紙幅が 136 桁に満たない場合、印刷領域を越えた部分は印刷されません。
	ANK 文字			＊	ローマン	ANK 文字の書体をローマンにします。
					サンセリフ	ANK 文字の書体をサンセリフにします。
	漢字書体			＊	明朝	漢字の書体を明朝体にします。
					ゴシック	漢字の書体をゴシック体にします。

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	設定値		機能〔範囲〕
EP モード設定 (*4)	CR コード			＊	CR のみ	CR 動作（復帰のみ）を行います。
					CR&LF	CR 動作（復帰）と LF 動作（改行）を行います。
EP モード設定 (*4)	縦余白設定	縦上端余白			8.5mm	縦印刷のときの上端余白を設定します。[給紙位置 (*6) ～ 50.0mm]0.1mm 単位
		縦左端余白			5.0mm	縦印刷のときの左側余白を設定します。[5.0 ～ 50.0mm]0.1mm 単位
	横余白設定	横上端余白			8.5mm	横印刷のときの上端余白を設定します。[給紙位置 (*6) ～ 50.0mm]0.1mm 単位
		横左端余白			5.0mm	横印刷のときの左側余白を設定します。[5.0 ～ 50.0mm]0.1mm 単位
	印字位置調整	縦印字位置			0.0mm	印刷時の縦印字位置を設定します。[-30.0mm ～ 30.0mm]0.1mm 単位
		横印字位置			0.0mm	印刷時の横印字位置を設定します。[-30.0mm ～ 30.0mm]0.1mm 単位
保守メニュー	印刷枚数				XXXXX ページ	総印刷枚数を表示します。
	メモリ容量				XXXMB	標準メモリおよび増設メモリの合計のメモリ容量を表示します。
	ROM 版数				Ver XX.XX	プリンタのファームウェアの版数を表示します。
	エンジン ROM 版数				Ver X.XX	プリンタのハードウェア制御プログラムの版数を表示します。(*11)
	エンジンステータス				STATUS XX=XX	サービス員がメンテナンスのために使用する装置情報です。
	NV コード				XX=XX	サービス員がメンテナンスのために使用する装置情報です。
	カートリッジステータス				XX=XX	サービス員がメンテナンスのために使用する装置情報です。
	装置ステータス				XX=XXXX XXXX	サービス員がメンテナンスのために使用する装置情報です。

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	設定値		機能〔範囲〕
保守 メニュー	LAN ステータス				a.bbbb.cc cc.dd	LAN の通信状態を表示します。 参照　「TCP/IP の動作確認」（136 ページ）参照
	IP アドレス 表示				IPアドレス	現在の IP アドレスを表示します。
					サブネット マスク	現在のサブネットマスクを表示します。
					ゲートウェ イ	現在のゲートウェイを表示します。
	ソフト スイッチ	ソフト スイッチ X-X		*	OFF	サービス員がメンテナンスのために使用する装置情報です。変更しないでください。
					ON	

*1：「TCP/IP プロトコル」が「無効」のときは、表示されません。
*2：「DHCP 自動取得」が「設定」のときは、表示されません。
*3：拡張給紙ユニット（オプション）または大容量給紙ユニット（オプション）を取り付けているときに表示します。
*4：「エミュレーション設定」で「解除」を選択している場合は、表示されません。

ガイド

アプリケーションで PrintiaXL ドライバを使用して印刷する場合には、オペレータパネルの設定は無効になります。プリンタドライバ側で設定してください。

参照　プリンタドライバのヘルプ、または『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

*5：両面ユニット（オプション）を取り付けているときに表示されます。
*6：給紙位置が余白の最小値となります。
*7：Ethernet タイプを設定した場合、電源を切断して、数秒経過後に再び投入してください。
*8：Printia LASER Internet Service のアクセス許可リストの許可設定がすべて「無効」になっているときは表示されません。
*9：設定の詳細は、「セキュリティに関する設定」（138 ページ）参照
設定を無効にした場合の詳細は、『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」の Pritnia LASER Internet Service の説明を参照
*10：機能の詳細は「アクセス 管理」（126 ページ）参照
*11：電源投入時にリフトアップ中の場合、リフトアップが終了するまで Ver　xx.xx と表示され、プリンタのハードウェア制御プログラムの版数は表示されません。

オペレータパネルで行える主な設定と操作

ここでは、プリンタのオペレータパネルで行える主な機能の設定や操作方法について説明します。

設定の一覧印刷

プリンタおよび LAN ポートの現在の設定内容の一覧を印刷します。
設定の一覧は、メニューモードの「システム印刷」－「設定の印刷」で印刷します。

・ 設定の一覧の例

FUJITSU　XL－XXXX

システム情報

総印刷枚数　＝　xxx枚
メモリ容量　＝　xxMB
ＲＯＭ版数　＝　Ver　1.xx
エンジンＲＯＭ版数　＝　Ver　1.xx
両面ユニット　＝　あり
大容量給紙ユニット　＝　あり
給紙トレイダイヤル位置　＝　A4
給紙口情報
　給紙トレイ　＝　A4
　カセット１　＝　A4
　カセット２　＝　A4
　カセット３　＝　A4

ＩＰアドレス設定

ＤＨＣＰ自動取得　＝　解除
ＩＰアドレス　＝　192.168.　0.　12
サブネットマスク　＝　255.255.255.　0
ゲートウェイ　＝　0.　0.　0.　0

ＬＡＮ設定

ＭＡＣアドレス　＝　xxxxxxxxxxxx
Ｅｔｈｅｒｎｅｔタイプ　＝　自動認識
ＴＣＰ／ＩＰプロトコル　＝　有効
印刷ポート番号　＝　9313
検索ポート番号　＝　9313
ＴＣＰ／ＩＰ動作状態　＝　0（エラーなし）
ＬＡＮステータス　＝　1.1111.1111.11
アクセス管理　＝　有効
サービス設定
　プリンタ検索　＝　有効
　インターネットサービス　＝　有効
　ＳＮＭＰ　＝　有効
　プリンタ起動通知　＝　有効
　ＢＰＰ印刷　＝　有効
　ＩＰＰ印刷　＝　有効
　ＬＰＲ印刷　＝　有効
　ＲＡＷ印刷　＝　有効

プリンタのＵＲＬ　＝

ガイド

・ 印刷は、現在設定されている方法で行われます。A4 サイズの用紙を基準とし、A4 より小さい用紙がセットされているときは、自動的に縮小して印刷します。ただし、はがき、A5 サイズより小さい不定形用紙は印刷できません。印刷した場合は、「サイズフソク Ａ ４ ヲ イレテクダサイ」と表示されますので、他のサイズに変更して再度印刷してください。
・ 用紙がない場合は「ヨウシ　ナシ」と表示されますので、用紙を補給してください。
・ 印刷を中止する場合は、「リセット」スイッチを押してください。
・ LAN 設定で「TCP/IP プロトコル」を「無効」にしたとき、LAN 設定内容は印刷されません。
また、エミュレーション設定を「無効」にしたときは、エミュレーション設定の内容は表示されません。

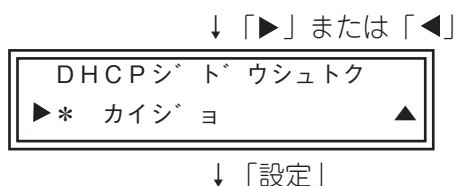
IPアドレスの設定

本プリンタに IP アドレスを設定するには、プリンタに直接設定する手動設定と、プリンタの電源投入時に DHCP サーバから自動的に取得する自動取得設定の 2 つがあります。ご使用の環境に合わせていずれかの方法で設定してください。
設定は、ネットワークに接続されたパソコンから添付の CD-ROM に収められているソフトウェアを使用して行うこともできます。ソフトウェアによる設定方法は『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」を参照してください。

●手動設定の場合

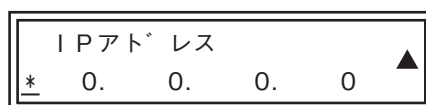
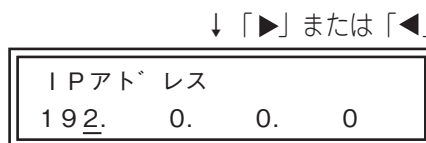
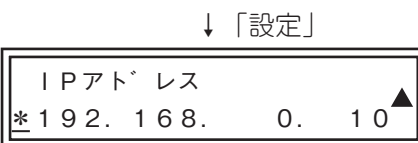
設定は、メニューモードの「初期設定」－「IP アドレス設定」で、まず「DHCP 自動取得」を解除に変更してから、IP アドレスの設定を行います。
メニューモードで DHCP 自動取得の画面を表示し、次の手順で設定してください。

DHCP 自動取得を解除する

「▶」または「◀」スイッチを押して「カイジョ」と表示させます。「設定」スイッチを押すと「＊」が表示され、値が設定されます。初期設定は「＊セッテイ」です。

IP アドレスを設定する

① 「▲」スイッチを押して次の表示にします。

② 「▶」スイッチを押して「IP アドレス」と表示し、「▼」スイッチを押します。

③ 「▶」または「◀」スイッチを押して IP アドレスを変更するブロック（IP アドレス 1 ～ 4）を選択して「▲」「▼」スイッチで値を設定します。

④ 各ブロックすべてを設定したら「設定」スイッチを押し、カーソルが * に移動しているのを確認します。（この操作では、IP アドレスはまだ反映されません。）

サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定を行うときは、「▲」スイッチを押して手順②の表示に戻した後「▶」「◀」スイッチを押して「サブネットマスク」「ゲートウェイ」とそれぞれ表示された状態で③～④の操作を行ってください。

※IPアドレスは設定例です。

設定を終了する

設定が終わったら「メニュー」スイッチを押し、プリンタに設定値を反映させます。
設定値反映後、プリンタが再起動しオンライン状態に戻ります。

● DHCP による自動取得の場合

DHCP サーバとプリンタをネットワークに接続し、プリンタの電源を投入してください。プリンタの起動時に IP アドレスを DHCP サーバから取得します。

ガイド

- DHCP により TCP/IP 構成情報を自動的に取得する場合は、本プリンタの電源を再投入しても同じ IP アドレスを取得できるように DHCP サーバにクライアントの予約を行ってください。予約のときに必要となるプリンタの MAC アドレスについては、メニューモードの「初期設定」－「LAN 設定」－「MAC アドレス」を参照、または設定の一覧を印刷してください。
- DHCP による自動取得の場合、IP アドレスの取得までにかかる時間はネットワーク環境によって異なります。
  取得した IP アドレスは、メニューモードの「保守メニュー」－「IP アドレス表示」で確認することができます。
- IP アドレスが取得できなかった場合や、表示された IP アドレスが以前手動設定した値の場合は、メニューモードの「初期設定」－「IP アドレス設定」－「DHCP 自動取得」(「●手動設定の場合」の手順 1 ～ 2 参照）が「＊セッテイ」になっているか確認します。「＊カイジョ」の場合は、「＊セッテイ」に変更してください。(初期値は「＊セッテイ」です。)
  設定変更後、メニューモードを抜けるとプリンタが再起動し、IP アドレスの取得を行います。

5

運用編

TCP/IP の動作確認

TCP/IP が正常に動作しているかの確認は、メニューモードの「システム印刷」-「設定の印刷」を行い、「LAN 設定」の「TCP/IP 動作状態」および「LAN ステータス」を確認してください。

● TCP/IP 動作状態

コード	内容と処置
0	TCP/IP は正常に動作しています。
1	IP アドレス、またはサブネットマスクの設定に誤りがあります。設定内容が正しいか確認してください。
2	DHCP により TCP/IP 構成情報を取得中です。
3	DHCP による TCP/IP 構成情報の取得要求がタイムアウトしました。 LAN ケーブルが正しく接続されているか、または DHCP サーバの電源が投入されているか確認してください。
4	DHCP による TCP/IP 構成情報のリース更新が拒否されました。 いったん電源を切断し、再び投入してください。
5	DHCP による TCP/IP 構成情報のリース更新要求がタイムアウトしました。 LAN ケーブルが正しく接続されているか、または DHCP サーバの電源が投入されているか確認してください。
6	DHCP で自動取得した IP アドレスが他のホストで使用されています。他のホストの設定を確認し、重複していないか確認のうえ、電源を再投入してください。
9	その他不明の状態です。 考えられる主な原因に、ゲートウェイの設定に誤りがある可能性があります。

● LAN ステータス

LAN の接続状態を「a．ｂｂｂｂ．ｃｃｃｃ．ｄｄ」の形式で表示します。各部の意味は次の通りです。

ａ：ネットワークに接続されているかを表示します。
└─ 1：ネットワークに接続されています。
　　0：ネットワークに接続されていません。LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。

ｂｂｂｂ：プリンタのデータ転送能力を表示します。
｜｜｜└─ 10Base-T Half　　1：有効／0：無効
｜｜└── 10Base-T Full　　1：有効／0：無効
｜└─── 100Base-TX Half　　1：有効／0：無効
└──── 100Base-TX Full　　1：有効／0：無効
※ メニューモードの「LAN 設定」-「Ethernet タイプ」で設定を変更できます。

ｃｃｃｃ：ハブなどのプリンタの接続先のデータ転送能力を表示します。
｜｜｜└─ 10Base-T Half　　1：有効／0：無効
｜｜└── 10Base-T Full　　1：有効／0：無効
｜└─── 100Base-TX Half　　1：有効／0：無効
└──── 100Base-TX Full　　1：有効／0：無効
※ ハブによっては「0000」と表示される場合があります。このときは、ハブの取扱説明書で転送能力を確認してください。

ｄｄ：現在プリンタがどの転送速度で接続しているかを表示します。
｜└─ 1：100Mbps／0：10Mbps
└── 1：Full／0：Half
※ ａが0のときは、「──」と表示されます。

セキュリティに関する設定

ここでは、プリンタを使用する場合に設定できるセキュリティ機能について説明します。

ガイド

セキュリティに関するすべての機能は、Pritnia LASER Internet Service から設定することができます。

参照　『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

「サービス管理」の「インターネットサービス」を無効に設定した場合など、Pritnia LASER Internet Service からの設定が行えないときは、オペレータパネルで設定を行ってください。

ポート/サービスの管理

ネットワークサービスと印刷や検索に使用するポートの有効 / 無効を設定します。
設定は、メニューモードの「初期設定」－「ＬＡＮ設定」－「サービス設定」から行います。

ガイド

各設定を無効にした場合についての詳細は、Pritnia LASER Internet Service のネットワークサービスの説明を参照してください。

参照　『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

IPアドレスによるアクセス管理

プリンタにアクセスできるパソコン (IP アドレス) を制限するかしないかを設定します。
設定は、メニューモードの「初期設定」－「ＬＡＮ設定」－「アクセス管理」から行います。

ガイド

ＩＰ アドレスを制限する場合は、あらかじめ Pritnia LASER Internet Service のネットワークサービス設定でアクセス許可リストの設定を行っておく必要があります。

参照　『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

オペレータパネルの操作制限

管理者以外のユーザによるプリンタの設定変更を防止するために、オペレータパネルからのメニューモードの操作をパスワード（４桁以内の数字）で制限します。
設定は、メニューモードの「初期設定」−「管理／初期化」−「メニュー操作制限」から行います。
パスワードの初期値は、「 9999 」です。パスワードの変更は、メニューモードの「初期設定」−「管理／初期化」−「パスワードの変更」から行ってください。
メニュー操作制限を有効にすると、オペレータパネルでメニューモードに移るときにパスワードの入力を要求されます。

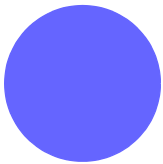
「▶」または「◀」スイッチを押してパスワードを入力する桁を選択し、「▲」または「▼」スイッチで値を設定したあと、「設定」スイッチを押してください。

ガイド

パスワードを忘れた場合は、次のいずれかの方法で対処してください。

- Pritnia LASER Internet Service で新しいパスワードを設定
「管理者モード」−「オプション情報」−「管理者情報」の「オペレータパネル操作制限のパスワードの変更」で新しいパスワードを設定してください。

  参照　『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

- オペレータパネル操作制限無効モードで起動
「メニュー」スイッチと「設定」スイッチを同時に押しながら、プリンタの電源を入れると、オペレータパネル操作制限機能を無効にしてプリンタが起動します。この場合は、メニューモードに入る前のパスワード入力が必要ありません。パスワードの変更で新しいパスワードを設定し直してください。

5

運用編

第6章

用紙について

この章では、本プリンタで使用できる用紙とその保管のしかたについて説明します。

使用できる用紙

本製品で使用できる用紙について、給紙方法、用紙サイズ、および用紙の種類ごとに説明します。

給紙方法と用紙のサイズ

給紙方法と用紙サイズの関係を次の表に示します。

給紙方法	タイプ	サイズ	重量	積載可能枚数
給紙カセット	普通紙 / 再生紙	A3 タテ	60 ～ 90g/m^2	約 500 枚 (重量 64g/m^2 の用紙の場合)
		B4 タテ		
		A4 ヨコ		
		B5 ヨコ		
		A5 ヨコ		
		リーガルタテ		
		レターヨコ		
給紙トレイ	普通紙 / 再生紙	A3 タテ、B4 タテ、A4 ヨコ、B5 ヨコ、A5 ヨコ、リーガルタテ、レターヨコ、不定形（幅 100 ～ 297 ×長さ 148 ～ 420mm）	60 ～ 90g/m^2	約 200 枚 (重量 64g/m^2 の用紙の場合)
	厚紙		91 ～ 135g/m^2	約 75 枚
	長尺紙	幅 297（固定）× 長さ 420.1 ～ 900mm	60～135g/m^2	一枚ずつ手でセット
	官製はがき	ハガキヨコ	190g/m^2	約 75 枚
	OHP フィルム	A4 ヨコ	―	約 75 枚
	ラベル紙	A4 ヨコ	60～135g/m^2	約 75 枚
拡張給紙ユニット（オプション）（A3/500 枚）	普通紙 / 再生紙	A3 タテ	60 ～ 90g/m^2	約 500 枚 (重量 64g/m^2 の用紙の場合)
		B4 タテ		
		A4 ヨコ		
		B5 ヨコ		
		A5 ヨコ		
		リーガルタテ		
		レターヨコ		
拡張給紙ユニット（オプション）（A4/500 枚）	普通紙 / 再生紙	A4 ヨコ	60 ～ 90g/m^2	約 500 枚 (重量 64g/m^2 の用紙の場合)
		B5 ヨコ		
		A5 ヨコ		
		レターヨコ		
大容量給紙ユニット（オプション）	普通紙 / 再生紙	A4 ヨコ	60 ～ 90g/m^2	約 2000 枚 (重量 64g/m^2 の用紙の場合)
		レターヨコ		

お願い

- 用紙を大量にお買い求めになる前に、サンプル用紙でためし印刷して、支障がないことを確認することをお勧めします。
- はがきは、官製はがきを使用してください。あらかじめ印刷されたはがきや反りのあるはがきを使用すると、走行不良が発生することがあります。
- 官製はがき、厚紙（重量 91g/m^2 ～ 135g/m^2)、OHP フィルム、ラベル紙、不定形用紙、長尺紙は、給紙カセットからは印刷できません。給紙トレイから印刷してください。
- プリンタドライバおよびオペレータパネルで設定した用紙のサイズと、実際に使用する用紙のサイズは、必ず一致させてください。
  異なるサイズの用紙に印刷した場合、プリンタが故障するおそれがあります。
- 不定形用紙および長尺紙に印刷する場合は、プリンタドライバの用紙サイズ設定を、それぞれ「ユーザ定義サイズ」「長尺紙」にしてください。印刷する用紙とプリンタドライバで設定した用紙サイズが異なっていると、装置が故障するおそれがあります。
- 幅が 297mm 未満の長尺紙は絶対に使用しないでください。プリンタが故障するおそれがあります。
- 再生紙をご使用される場合は、以下の点にご注意頂きますようお願いいたします。
  - 湿度が高い環境では用紙が吸湿するため、印刷時に紙づまりやしわ、折れ、印字乱れ等が発生する場合があります。このような環境でご使用される場合は、包装紙から必要な分だけ用紙を取り出してご使用ください。
  - また、夜間／休日等のプリンタ停止時は、給紙カセット／給紙トレイに用紙を放置しないでください。プリンタから用紙を取り出して包装紙に戻し、密閉して保管してください。
  - 「古紙 100％再生紙」は銘柄によって吸湿の傾向が異なります。特に、夏場の空調が入らないような高温・高湿環境でご使用になる場合は、事前に同様の環境で十分な確認を行っていただいたうえで、銘柄を選定してください。

普通紙

本製品では、PPC 用紙および普通紙を使用することができます。しかし、一般の市販品には本製品に適さないものもあります。できるだけサプライ用紙をご使用ください。また、再生紙は条件によってしわや折れ等が発生する場合があります。

参照　サプライ用紙の詳細は、「サプライ品一覧」（187 ページ）参照

参照　しわや折れ等の発生については、「使用できない用紙」（147 ページ）参照

プレプリント紙、カラー紙

カラー紙の着色顔料やプレプリント用のインクは、耐熱性で 190 ℃でも変質せず、紙質は普通紙と同等のものをご使用ください。プレプリント用紙に耐熱性の低いインクを使用した場合やインクが乾いていない状態で用紙を使用した場合、インクが本製品の定着器、感光ドラムおよびローラなどに付着し、印字品質の低下、ジャム、装置破損の原因となります。
また、インクや紙粉の影響により、用紙搬送 / 印刷 / 定着に関係する部品が汚損 / 変質 / 磨耗する場合があります。定期的に清掃、または部品の交換を行ってください。

お願い

- 金属混入インク、導電性インク、コールドセットインク、ラバーベースインクで印刷された用紙は絶対に使用しないでください。
- 印刷枠を設ける場合、次の印刷位置のバラツキを十分考慮に入れて設計してください。
  - 位置精度　A4 サイズで± 2mm 程度
  - 用紙の傾き　100mm 当たり± 1mm 程度
  - 画像の伸縮　100mm 当たり± 1mm 程度

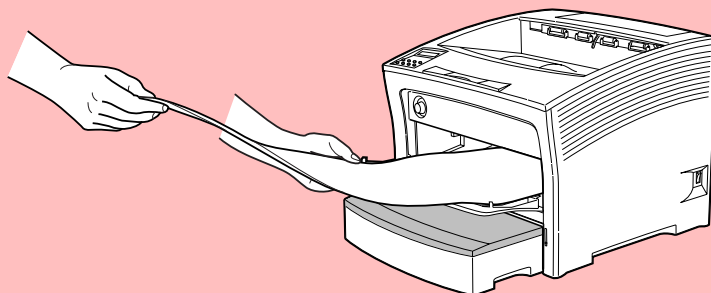
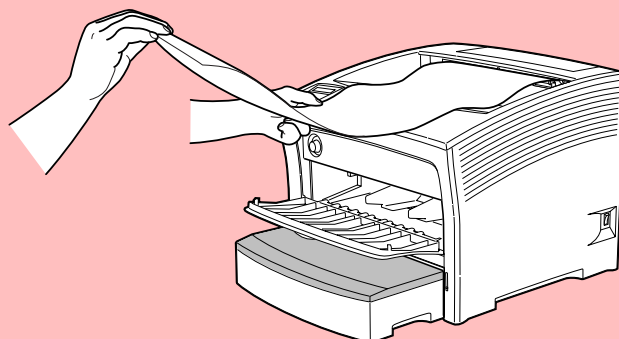
長尺紙

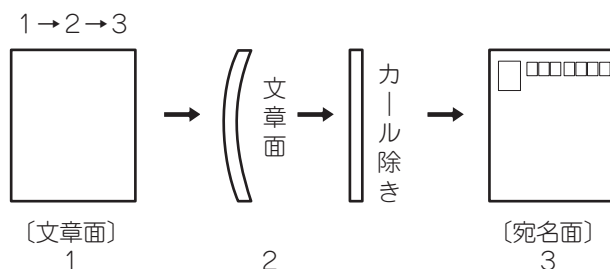
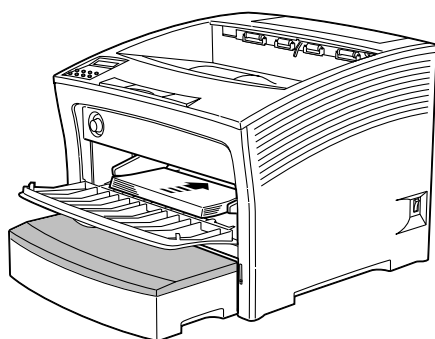
- 縦や横に長いデータ（900mm の長さまで）を印刷することができます。印刷は Printia XL ドライバのみ使用可能です。
- 長尺紙は、サプライ用紙をご使用ください。サプライ用紙以外を使用した場合は、しわ、印刷ずれ、定着不良、および汚れが発生することがあります。

参照　サプライ用紙の詳細は、「サプライ品一覧」（187 ページ）参照

- 長尺紙の全領域（全長）に印刷すると、印刷内容の下端（用紙方向：縦の場合）、または左端（用紙方向：横の場合）が欠けることがあります。その場合は、下端（用紙方向：縦の場合）、または左端（用紙方向：横の場合）余白を増やして印刷してください。

お願い

・幅が 297mm 未満の長尺紙は絶対に使用しないでください。プリンタが故障する恐れがあります。
・アプリケーションソフトによっては長尺紙に印刷できない場合があります。
・長尺紙に印刷する場合は、下端（用紙方向：縦の場合）、または左端（用紙方向：横の場合）余白を十分に（10mm 以上）とって印刷してください。全領域（全長）に印刷すると、下端または左端が欠けることがあります。
・用紙サイズスイッチは「パネルで設定」に合わせてください。
・長尺紙は、１枚ずつセットしてください。
・長尺紙をセットするときは、次の図のように手で支えてください。

・印刷が始まったら、長尺紙に無理な力を加えないでください。紙づまりの原因になります。また、排紙口から出てくる長尺紙は次の図のように手で支えてください。

官製はがき

はがきに印刷するときは、文章面→宛名面の順に片面ずつ印刷してください。（両面印刷機能には、対応していません。）
宛名面→文章面の順で印刷すると、はがきの反りの影響できれいに印刷できないことがあります。反りがあるときは上向きに約 2mm 以内の反りになるように修正してから印刷してください。

官製はがきをセットするときは、次の点に留意してください。
・印刷面を上にしてセットしてください。
・給紙トレイに横長方向にセットしてください。

・ご使用になるアプリケーションソフトの設定内容と印刷方向に合わせて官製はがきをセットしてください。試し印刷で方向を確認されることをお勧めします。

OHP フィルム

定着時の熱（約 190 ℃）で溶けたり、変質したりしないものをご使用ください。

ラベル紙

ツルツルした台紙面が表面になく、台紙全体がラベルで覆われているレーザプリンタ用のものをご使用ください。また、粘着剤が定着時の熱（約 190 ℃）で溶けたり変質したりしないものをご使用ください。

お願い

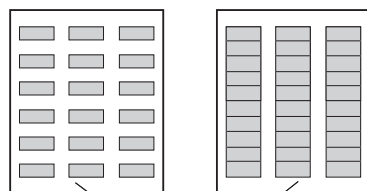
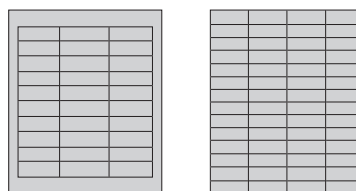
OHP フィルムやラベル紙をご使用になるときは、レーザプリンタ用のものをお買い求めください。市販のものの中には本製品に適さないものがありますので、ためし印刷などで確認したうえでご使用ください。

使用できない用紙

以下の用紙は本製品では使用できません。

本プリンタで使用できない用紙

以下に挙げる用紙は、紙づまりを起こしたり、プリンタ本体の故障の原因となったり、またはきれいに印刷できなかったりしますので、使用しないでください。

- 厚すぎる用紙や、薄すぎる用紙
- 湿っている用紙や、濡れている用紙
- 一度印刷された用紙
- 貼り合わせた用紙や、糊などがついている用紙
- 反り、しわ、折り目のある用紙や、破れている用紙
- カールしている用紙
- 静電気で密着している用紙
- 長方形以外の用紙や、バインダー用の穴またはミシン目のある用紙
- 表面を加工、または特殊なコーティングをおこなった用紙（感熱紙、カーボン紙、メールシール紙など）
- 大量のタルク成分を含んだ用紙（オフセット印刷用の用紙等）や酸性紙（中性紙をご使用ください）
- 用紙の全面または大部分にあらかじめ印刷されている、プレプリント用紙
- インクに導電材料（金属、カーボンなど）を使用したり、190 ℃の熱でガスが発生するインクを使用したプレプリント用紙
- 190 ℃の熱で溶けたり、変質する用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙
- 裁断部のバリが大きい用紙
- 紙粉の多い用紙
  カオリン成分含有率の高い用紙（一部の「インクジェット /LBP/ 複写機共用紙」等）を給紙トレイで使用すると、カオリン成分が給紙トレイのリタードパッドに付着し、用紙が一枚づつ分離しにくくなったり、紙づまりが発生したりする場合があります。
  「サプライ品一覧」（187 ページ）に記載している用紙のご使用をお勧めします。
- カラーページプリンタ用の OHP フィルム、長尺紙
- 台紙全体がラベルで覆われてなく、かつレーザプリンタ用以外のラベル用紙

両面印刷で使用できない用紙

以下の用紙は両面印刷では使用できません。
官製はがき、厚紙（重量 91g/m^2 ～ 135g/m^2）、OHP フィルム、ラベル紙、不定形用紙、長尺紙

給紙カセットで使用できない用紙

以下の用紙は、プリンタ給紙カセットでは使用できません。
官製はがき、厚紙（重量 91g/m^2 ～ 135g/m^2）、OHP フィルム、ラベル紙、不定形用紙、長尺紙

お願い

・不定形用紙および長尺紙に印刷する場合は、プリンタドライバの用紙サイズ設定を、それぞれ「ユーザ定義サイズ」「長尺紙」にしてください。設定した用紙のサイズと、実際に使用する用紙のサイズは、必ず一致させてください。異なるサイズの用紙に印刷した場合、プリンタが故障する恐れがあります。
・プリンタドライバおよびオペレータパネルで設定した用紙のサイズは、必ず一致させてください。異なるサイズの用紙に印刷した場合、プリンタが故障する恐れがあります。

用紙の保管上のご注意

用紙は水分を吸収しやすい特性を持っているため、非常に変化しやすいものです。製造条件を厳重に管理して製造した用紙でも、保管状態が悪いと品質が損なわれ、印刷品質や紙送りなどに悪い影響を与えます。以下に示す保管上の注意事項を守って、最良の状態に保ってください。
用紙は次のような場所に保管してください。

・暗く、湿気の少ない平らな書棚の中のような場所
・平らなパレットの上
・温度 20 ℃、湿度 50%RH の環境

次のような場所は避けてください。

・床の上に直接置く
・直射日光の当たる場所
・外壁の内側の近く
・段差や、曲がりのある場所
・静電気が発生するところ
・過度の温度上昇と、急激な温度変化のあるところ
・複写機、空調機、ヒータ、ダクトのそば

次のような状態で保管してください。

・開封後の残りの用紙は、ほこりが付かないよう、包装してあった紙に包む
・長期間プリンタを使用しないときは、給紙カセットや給紙トレイから用紙を抜き取り、包装してあった紙に包む

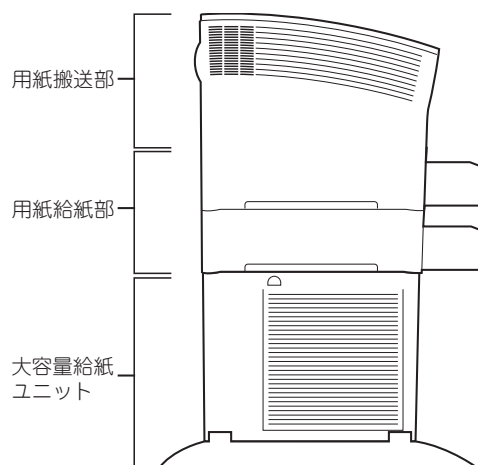
ガイド

・長期間放置した用紙を使用した場合、うまく印刷できないことがあります。
・再生紙をご使用される場合は、以下の点にご注意頂きますようお願いいたします。
  - 湿度が高い環境では用紙が吸湿するため、印刷時に紙づまりやしわ、折れ、印字乱れ等が発生する場合があります。このような環境でご使用される場合は、包装紙から必要な分だけ用紙を取り出してご使用ください。
  - また、夜間／休日等のプリンタ停止時は、給紙カセット／給紙トレイに用紙を放置しないでください。プリンタから用紙を取り出して包装紙に戻し、密閉して保管してください。
  - 「古紙 100％再生紙」は銘柄によって吸湿の傾向が異なります。特に、夏場の空調が入らないような高温・高湿環境でご使用になる場合は、事前に同様の環境で十分な確認を行っていただいたうえで、銘柄を選定してください。

第7章
こんなときには

この章では、故障が発生したと思われるとき、紙づまりのとき、各種メッセージが表示されたときの処置のしかたについて説明します。

紙づまりになったとき

紙づまりが発生するとメッセージランプが点灯し、液晶ディスプレイに『カミヅ　マリ』および『カセット 1』や『リョウメン　ユニット』などの場所を示すメッセージが表示されます。
このときすべてのスイッチが無効になります。
次の要領でつまった用紙を取り除いてください。
つまった用紙をすべて取り除きカバーを閉じると、オンライン状態になり、紙づまりが発生したページから印刷を再開します。

お願い

・つまった用紙を取り除いて上部カバーを閉じてもメッセージが消えないときは、用紙がまだ残っています。再度点検して、つまった用紙を完全に取り除いてください。
・つまった用紙を取り除いた後に、必ず上部カバーを一度開き、内部に紙が残っていないことを確認します。その後、上部カバーを閉じてください。
・用紙は破れないようゆっくりと取り除いてください。

注意

けが　つまった用紙を取り除いたり故障処置を行ったりするときは、次の点に注意してください。
・ネックレスやネクタイなどがプリンタ内部に巻き込まれないように注意してください。ケガの原因となることがあります。
・プリンタの突起部分などに触れないように注意してください。ケガの原因となることがあります。

火災　つまった用紙を取り除くときは、プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると火災などの原因となることがあります。
なお、定着器やローラ部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないで、「ハードウェア修理相談センター」（191 ページ）にご連絡ください。

紙づまりのおもな原因

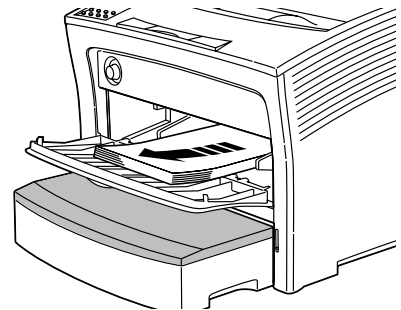
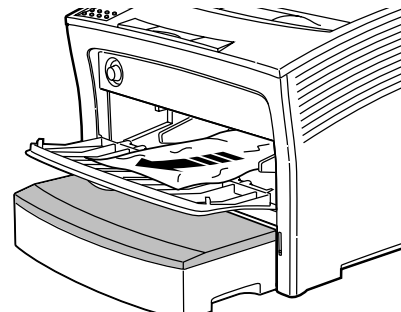
紙づまりの原因には、プリンタ設置時や用紙セット時の不備、不適切な用紙の使用などが考えられます。紙づまりを防ぐために、以下のことにご注意ください。

・プリンタを水平に設置する
・適切な用紙を使用する
・給紙カセットや給紙ユニットに用紙を正しくセットする
・カールしていない用紙を使用する
・給紙カセットを奥に突き当たるまで、しっかりと押し込む

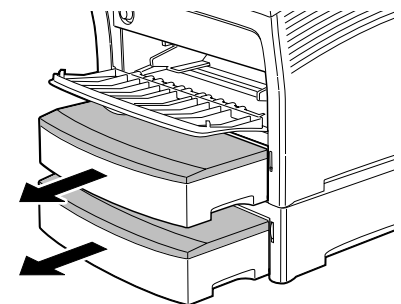
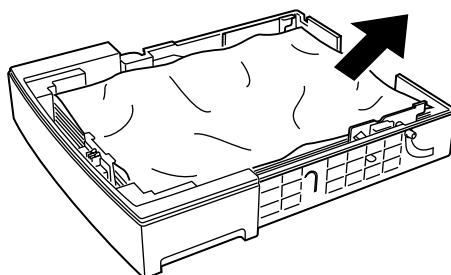
給紙部でつまった用紙を取り除く

給紙部でつまった用紙は、次の手順に従って取り除いてください。

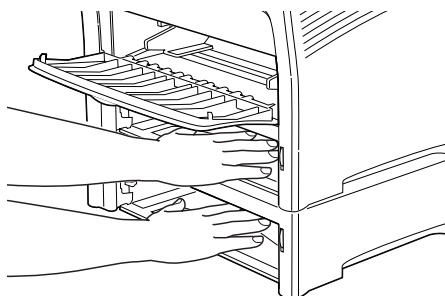
給紙トレイから給紙していた場合は、給紙トレイにセットされている用紙を取り出す

給紙カセットから給紙していた場合は、3に進みます。

2 **給紙トレイの奥（用紙の差し込み口付近）を点検し、つまった用紙があった場合は取り除く**

3 **給紙カセットから給紙していた場合は、給紙カセットを一度止まるまで手前に引き出し、緑色のラベルの部分を両手で持ち、軽く持ち上げながらプリンタから抜く**

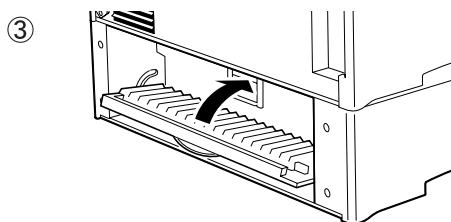
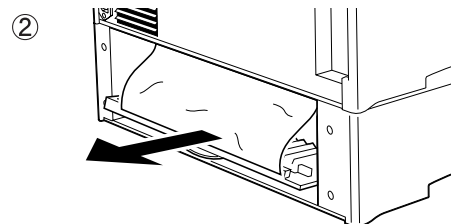
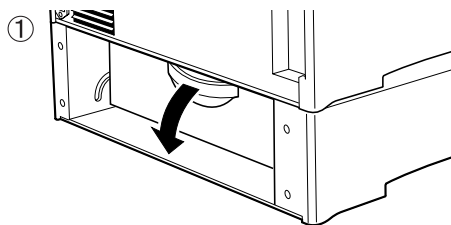
お願い

オプションの拡張給紙ユニットを取り付けている場合は、すべてのカセットを引き抜いて確認してください。

給紙カセット内にしわになっている用紙がある場合は、取り除く

5 給紙カセット差し込み口の奥を点検し、つまった用紙がある場合は取り除く

オプションの拡張給紙ユニットを使用している場合は、それぞれの給紙カセット差し込み口の奥を点検します。

お願い

プリンタ内部の部品を破損させないように注意してください。

6 拡張給紙ユニット背面のカバーを開き点検する

オプションの拡張給紙ユニットを使用している場合は、背面のカバーを開きます（①）。つまった用紙があれば取り除き（②）、カバーを閉じます（③）。

給紙トレイ、給紙カセットに用紙をセットする

参照　「給紙トレイに用紙をセットする」（51 ページ）参照

参照　「給紙カセットに用紙をセットする」（47 ページ）参照

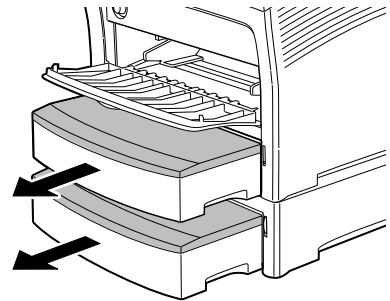
ガイド

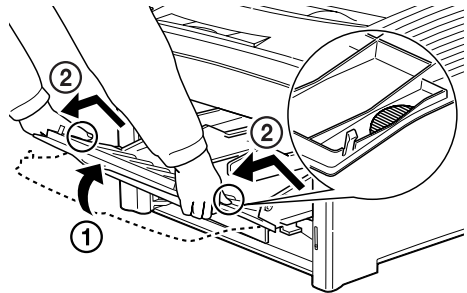
給紙トレイ内での紙づまりの場合も、上部カバーを一度開閉してください。上部カバーを開閉すると、エラーメッセージが消えます。

装置内部でつまった用紙を取り除く

用紙搬送部でつまった用紙は、次の手順に従って取り除いてください

給紙カセットから給紙していた場合は、給紙カセットを一度止まるまで手前に引き出し、緑色のラベルの部分を両手で持ち、軽く持ち上げながらプリンタから抜く

オプションの拡張給紙ユニットを使用している場合は、それぞれの給紙カセットを抜きます。

給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、給紙トレイを引き出す

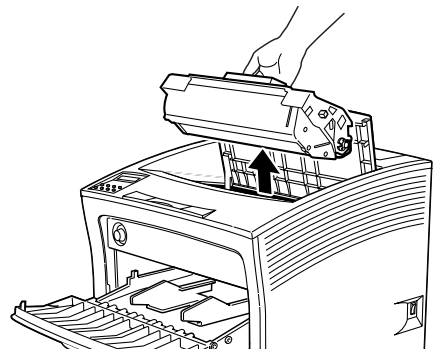
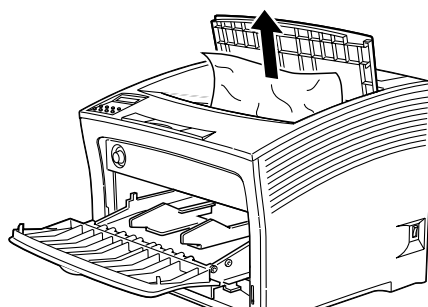
給紙トレイの左右を持って、少し斜めにします（①）。
さらに、手前上方に持ち上げながら引き出します（②）。

ガイド

給紙トレイが手前に 8cm 程度移動します。

プロセスカートリッジを取り外す

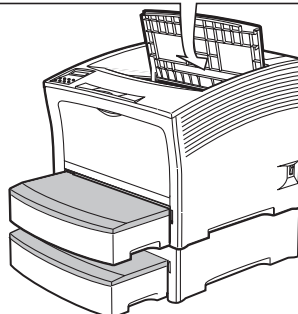
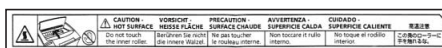
「プロセスカートリッジの交換」（104 ページ）参照

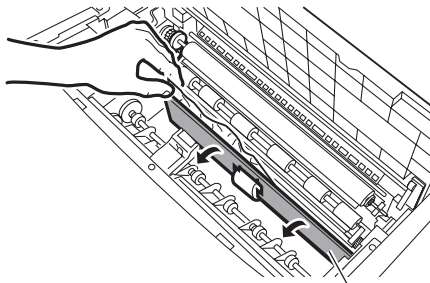
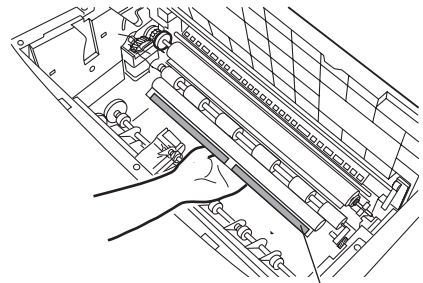
お願い

トナーで床を汚さないように、取り出したプロセスカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。

プロセスカートリッジを抜き出した奥を点検し、つまっている用紙が見えるときには、破らないように矢印の方向にゆっくりと引き抜く

⚠ 警告	誤　飲	用紙上の文字は定着していないので、触れるとトナーが手に付きます。用紙を取り除くとき、手や服がトナーで汚れないよう注意してください。 トナーが付いてしまったときは、すぐに水で洗ってください。 万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

⚠ 注意	やけど	「高温注意」ラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。

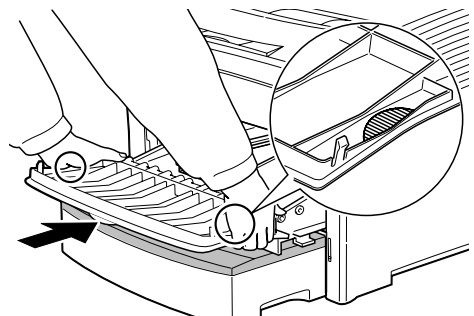
警告ラベル

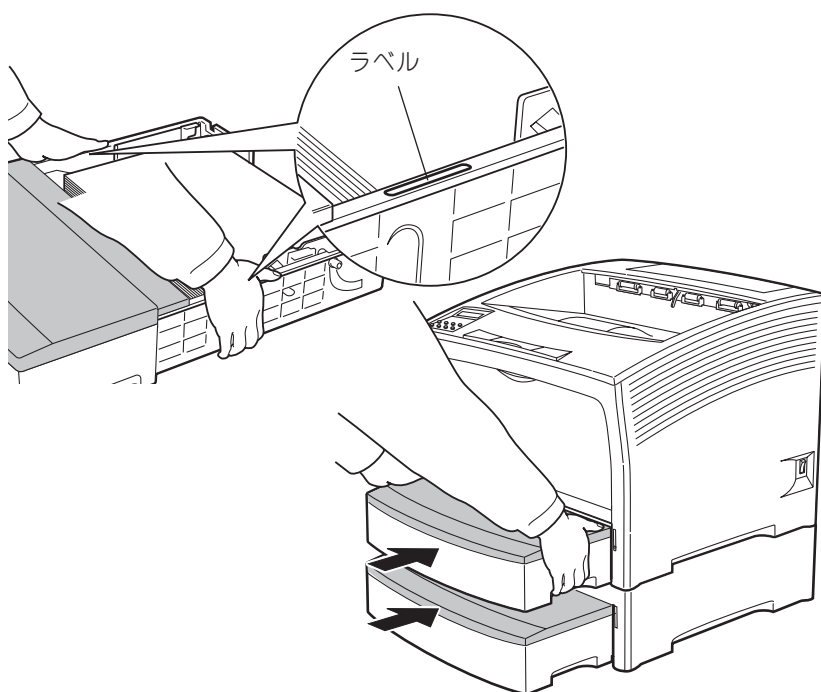
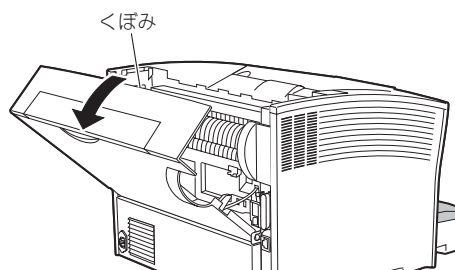
お願い

プリンタ内部の部品を破損させないように注意してください。

5 用紙搬送部のカバーを開け、つまっている用紙があったら取り除く

ガイド

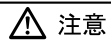
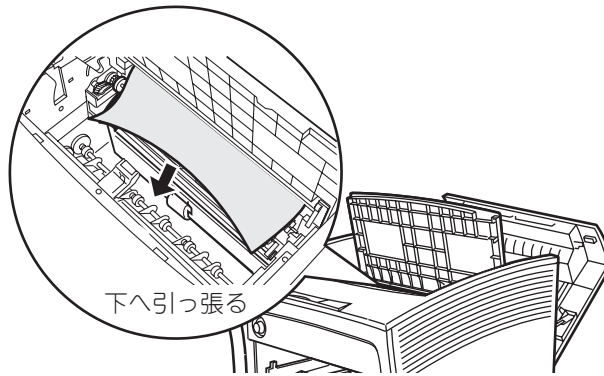
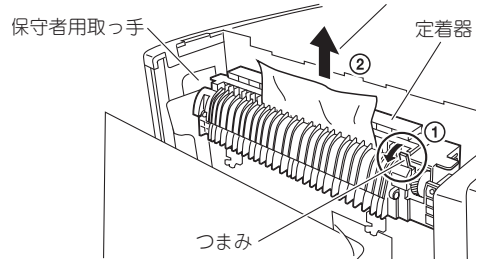
用紙搬送ガイドの下に用紙が隠れている場合があります。手で触って用紙がないか確認してください。

6 給紙トレイの左右を持ち、突き当たるまで押し込む

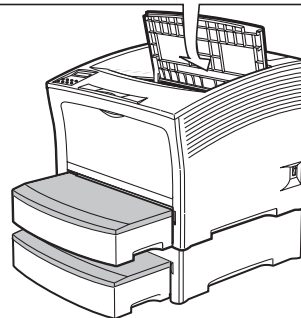
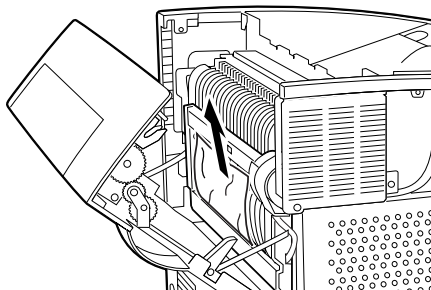
突き当たると「カチッ」という音がします。

給紙カセットのラベルが貼ってある部分を両手で持ち、突き当たるまでプリンタに押し込む

奥までしっかり押し込まれていることを確認してください。

8 背面カバー上部のくぼみに手をかけ、手前に引いて背面カバーを開く

定着器のつまみ（緑色）を手前に引き（①）、つまった用紙があれば取り除く（②）

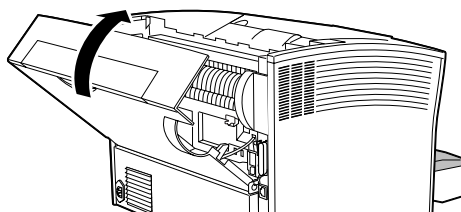
お願い

- オレンジ色の取っ手は保守者用のため、手を触れないでください。定着器がプリンタから外れてしまいます。
- つまった用紙が手でつかみにくい場合は、上部カバーを開き、プリンタ内部から取り除いてください。用紙を無理に引っ張ると、破損する恐れがあります。

⚠ 注意

やけど　「高温注意」ラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。

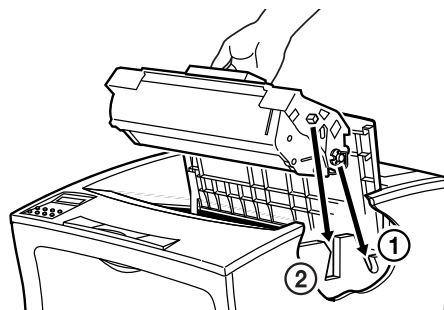
警告ラベル

オプションの両面ユニットを使用している場合は、両面ユニットを点検し、つまった用紙があれば、取り除く

定着器のつまみ（緑色）を元に戻し、背面カバーを閉じる

お願い

定着器が確実に元に戻っていることと、背面カバーが確実にロックされていることを確認してください。印刷不良が発生することがあります。

プロセスカートリッジをプリンタ内部に確実にセットし、上部カバーを閉じてしっかりとロックする

「プロセスカートリッジの取り付け」（42 ページ）参照

お願い

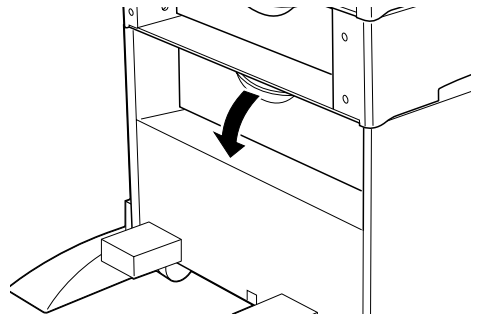
・上部カバーが確実にロックされていることを確認してください。完全にロックされていないと、印刷不良が発生することがあります。
・次に印刷された用紙が汚れる場合がありますが、数枚印刷すれば、汚れはつかなくなります。

大容量給紙ユニットでつまった用紙を取り除く

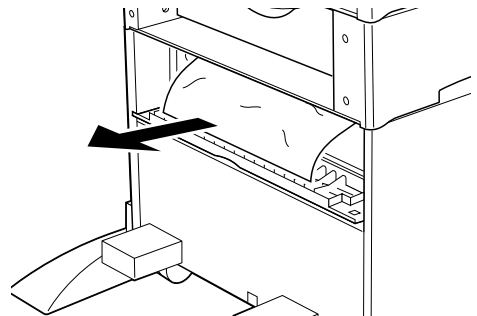
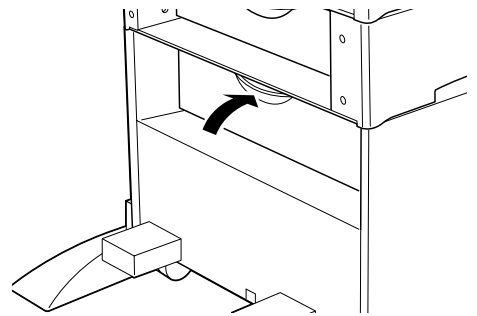
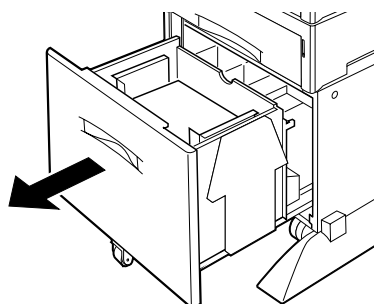
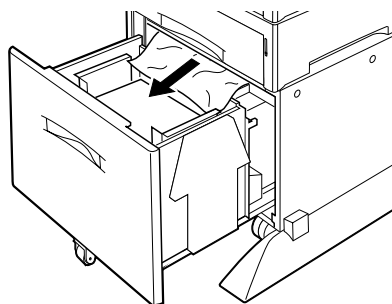
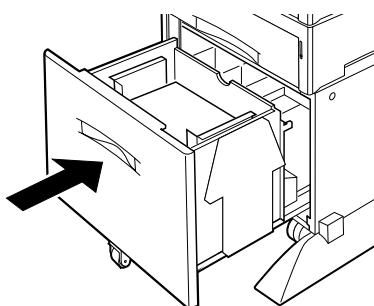
大容量給紙ユニットでつまった用紙は、次の手順で取り除きます。

1 プリンタの上部カバーを開く

お願い

排紙トレイに印刷された用紙がある場合は、上部カバーを開く前に排紙トレイの用紙を取り除いてください。排紙トレイに用紙を載せたまま上部カバーを開くと、紙づまりなどの原因になることがあります。

2 大容量給紙ユニットの背面のカバーを開く

3 つまった用紙を取り除く

つまっている用紙があれば、取り除きます。途中で用紙が破れている場合は、紙片が残っていないかどうかを確認してください。

4 背面カバーを閉じる

大容量給紙ユニットの給紙カセット上部のくぼみに手を入れ、手前に引いて給紙カセットを開く

6 つまった用紙を取り除く

7 給紙カセットを元に戻す

8 上部カバーを元に戻す

故障かなと思ったとき

故障かなと思っても、故障ではないことがよくあります。
そんなとき、次の各項目を読んで確認してください。

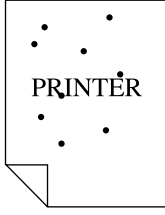
ガイド

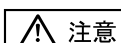
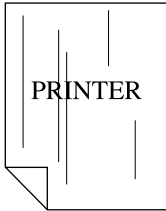
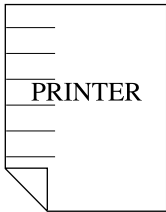
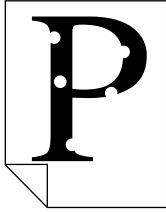
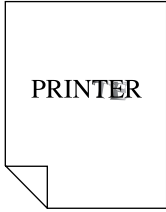
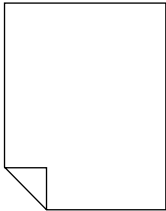
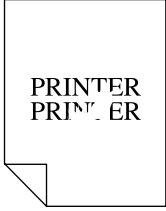
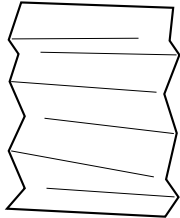
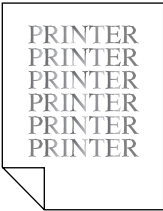
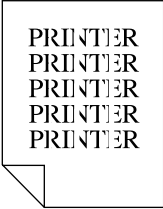
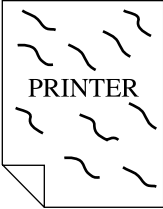
パソコンのアプリケーションからの印刷やネットワーク経由で使用時のトラブルについては、『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」を参照してください。

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
電源が投入できない 電源を投入してもすぐに切れる	・電源コードの抜け ・停電 ・コンセントに問題あり ・電圧が違う	・電源コードを確実に差し込み、電源が投入（｜側）されていることを確認してください。 ・ほかの電気製品が動作することを確認してください。 ・コンセントの電圧を調べてください。 参照「安全上のご注意」（12 ページ）参照 参照「電源の投入」（44 ページ）参照 参照「電源の切断」（58 ページ）参照
印刷しない	・プリンタの電源未投入 ・パラレルケーブル、USB ケーブルが抜けている ・オンライン状態でない	・パラレルケーブル、USB ケーブルが外れていないか確認してください。 ・「オンライン」ランプが点灯し、『オンライン』と表示されていることを確認してください。 参照「パラレルインタフェースによる接続」（60 ページ）参照 参照「USB インタフェースによる接続」（62 ページ）参照 参照「電源の投入」（44 ページ）参照 参照「電源の切断」（58 ページ）参照 参照「第 5 章　オペレータパネルの操作」（117 ページ）参照
オペレータパネルのスイッチが機能しない	オペレータパネルの操作が制限されている	オペレータパネルの操作制限を解除してください。 参照「オペレータパネルの操作制限」（139 ページ）参照
オペレータパネルのスイッチがときどき機能しない	・スイッチを確実に押していない ・プリンタの状態で効かないスイッチがある	スイッチのまん中をしっかり押してください。 参照「第 5 章　オペレータパネルの操作」（117 ページ）参照

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
異常音がする	・プリンタ内部に用紙くずやクリップなどの異物がある ・給紙カセットの装着が不完全	・プリンタ内部を点検してください。 ・給紙カセットを完全に装着してください。 参照 「用紙のセット」（47 ページ）参照 参照 「紙づまりになったとき」（152 ページ）参照
用紙が傾く、外れる、破れる、つまる	・用紙が正しくセットされていない ・用紙が適切でない ・プリンタが水平でない	それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を取ってください。 参照 「安全上のご注意」（12 ページ）参照 参照 「用紙について」（141 ページ）参照
用紙が二重送りされる	・用紙どうしがくっついてしまう	・用紙をよくさばいてください。 ・ラベル紙の場合は１枚ずつセットして印刷してください。 参照 「用紙のセット」（47 ページ）参照
紙づまりが発生した	・用紙がくっつきやすい ・用紙が正しくセットされていない ・用紙が適切でない ・プリンタが水平でない	・それぞれの状態をよく確認し、適切な処置をとってください。 ・用紙のセット方向を確認してください。 - A4、B5、A5、レターサイズの用紙は、横長にセットしてください。 - A3、B4、リーガルサイズの用紙は、縦長にセットしてください。 参照 「安全上のご注意」（12 ページ）参照 参照 「第６章　用紙について」（141 ページ）参照 参照 「紙づまりになったとき」（152 ページ）参照
給紙カセットの出し入れができない	・印刷中に電源を切断した ・紙づまりが発生している	・電源を切断（○側）して、数秒経過後に投入（｜側）してください。 ・それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を取ってください。 参照 「電源の投入」（44 ページ）参照 参照 「電源の切断」（58 ページ）参照 参照 「紙づまりになったとき」（152 ページ）参照
裏面が汚れる	プリンタ内の用紙搬送路が汚れている	数枚テスト印刷して、汚れの薄れ具合で、汚れがとれたかどうか判断してください。 オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、テスト印刷をしてください。 参照 「プリンタの清掃」（108 ページ）参照 参照 「オペレータパネルからの設定（メニューモード）」（122 ページ）参照
エラーメッセージが表示され、印刷されない	—	それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を取ってください。 参照 「オペレータパネルのエラーメッセージ」（170 ページ）参照

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
用紙がないのにブザーが鳴らない	・ブザーが鳴らない設定にしている ・給紙トレイから用紙を補給している	・オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、ブザーの設定値を「設定」にしてください。 参照 「オペレータパネルからの設定（メニューモード）」（122 ページ）参照 ・給紙トレイからの印刷時は、ブザーは鳴りません。
プロセスカートリッジを装着してもカートリッジなしとエラーが表示される	・他社製のプロセスカートリッジを装着している ・プロセスカートリッジが故障している	・他社製のプロセスカートリッジを使用していないか確認してください。 ・上部カバーを開いている場合には、上部カバーを閉じてください。 純正のプロセスカートリッジを使用していて、下記のエラー表示される場合にはプロセスカートリッジが故障しています。新しいプロセスカートリッジに交換してください。 カートリッシ゛　イシ゛ョウ ＥＰカートリッシ゛　コウカン 参照 「プロセスカートリッジの交換」（104 ページ）参照
印刷開始時や印刷中にジュンビと表示される	・印刷終了後、すぐに異なる用紙設定の印刷を開始した ・幅の狭い用紙などを大量に連続印刷した	定着器の温度調整中であり、プリンタの異常ではありません。しばらく待つと印刷が再開されます。
液晶ディスプレイの表示が判読できない プリンタの動作が安定しない ハングアップする	静電気による誤作動	アースが正しく接続されていることを確認してください。 参照 「安全上のご注意」（12 ページ）参照

運用編

印刷品質が低下したとき

印刷品質が低下したときの処置について説明します。
ここで説明する処置をしても印刷品質が改善されない場合や、ここに示した以外の現象が起きた場合は、「ハードウェア修理相談センター」（191 ページ）にご連絡ください。

注意

やけど　プリンタを使用した直後は定着器が非常に熱くなっています。「高温注意」ラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
印刷がうすい （かすれる、不鮮明） PRINTER	印字濃度の設定が適正でない。	印字濃度を調整してください。 オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、環境設定の印字濃度調整で設定してください。 参照　「オペレータパネルからの設定（メニューモード）」（122 ページ）参照
	シールドガラスが汚れている。	シールドガラスを清掃してください。 参照　「シールドガラスの清掃」（111 ページ）参照
	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。 参照　「用紙のセット」（47 ページ）参照
	プロセスカートリッジ内にトナーがない。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照　「プロセスカートリッジの交換」（104 ページ）参照
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照　「プロセスカートリッジの交換」（104 ページ）参照
黒点「・」や小円「。」が印刷される PRINTER	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。 参照　「用紙について」（141 ページ）参照
	トナー残量が少なくなった。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照　「プロセスカートリッジの交換」（104 ページ）参照
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照　「プロセスカートリッジの交換」（104 ページ）参照

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
黒線が印刷される PRINTER	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照「プロセスカートリッジの交換」（104 ページ）参照
等間隔に汚れる PRINTER	プリンタ内の用紙搬送路が汚れている。	数枚テスト印刷して、汚れの薄れ具合で汚れがとれたかどうか判断してください。 参照「オペレータパネルからの設定（メニューモード）」（122 ページ）参照
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照「プロセスカートリッジの交換」（104 ページ）参照
黒く塗りつぶされた部分に白点がある P	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。 参照「用紙について」（141 ページ）参照
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照「プロセスカートリッジの交換」（104 ページ）参照
指でこするとトナーがかすれる PRINTER	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。 参照「用紙のセット」（47 ページ）参照
	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。 参照「用紙について」（141 ページ）参照
用紙全体に黒色がついて印刷される	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照「プロセスカートリッジの交換」（104 ページ）参照
	プリンタ内の高圧電源などの故障が考えられる。	「ハードウェア修理相談センター」（191 ページ）にご連絡ください。

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
何も印刷されない	プロセスカートリッジのトナーシールが完全に引き抜かれていない。	トナーシールを引き抜きます。 参照 「プロセスカートリッジの交換」（104 ページ）参照
	一度に複数枚の用紙が搬送されている。	用紙をいったん取り出し、よくさばいてから再度セットしてください。 参照 「用紙のセット」（47 ページ）参照
	プロセスカートリッジにトナーが残っていない。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照 「プロセスカートリッジの交換」（104 ページ）参照
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照 「プロセスカートリッジの交換」（104 ページ）参照
	プリンタ内の高圧電源などの故障が考えられる。	「ハードウェア修理相談センター」（191 ページ）にご連絡ください。
白抜けが起こる	シールドガラスが汚れている。	シールドガラスを清掃してください。 参照 「シールドガラスの清掃」（111 ページ）参照
	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。 参照 「用紙のセット」（47 ページ）参照
	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。 参照 「用紙について」（141 ページ）参照
	トナーシールの切れはしが、プロセスカートリッジ内に残っている。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照 「プロセスカートリッジの交換」（104 ページ）参照
用紙にしわがつく	用紙のセットが適切でない。	用紙を正しくセットしてください。 参照 「用紙のセット」（47 ページ）参照
	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。 参照 「用紙のセット」（47 ページ）参照
	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。 参照 「用紙について」（141 ページ）参照

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
文字がにじむ	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。 参照　「用紙のセット」（47 ページ）参照
	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。 参照　「用紙について」（141 ページ）参照
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照　「プロセスカートリッジの交換」（104 ページ）参照
縦長に白抜けする	プロセスカートリッジが正しくセットされていない、またはプロセスカートリッジ内のトナーがかたよっている。	いったんプロセスカートリッジを取り出し、軽く振ってからもう一度セットし直してください。 参照　「プロセスカートリッジの交換」（104 ページ）参照
	シールドガラスが汚れている。	シールドガラスを清掃してください。 参照　「シールドガラスの清掃」（111 ページ）参照
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照　「プロセスカートリッジの交換」（104 ページ）参照
不要なトナーがつく	印字濃度の設定が適正でない。	印字濃度を調整してください。 オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、環境設定の印字濃度調整で設定してください。 参照　「オペレータパネルからの設定（メニューモード）」（122 ページ）参照
	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。 参照　「用紙について」（141 ページ）参照
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照　「プロセスカートリッジの交換」（104 ページ）参照
太い文字や図形に影が出る	解像度、ディザ、明るさの設定が適切でない。	プリンタドライバの［グラフィックス］ダイアログで、解像度、ディザ、明るさを調整してください。 参照　『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照　「プロセスカートリッジの交換」（104 ページ）参照

メッセージ一覧

オペレータパネルのエラーメッセージ

プリンタでエラーが発生すると、オペレータパネルの液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。
次の表に従って処置してください。

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
ヨウシ　ナシ ・・・・ヲ　イレテ　クダサイ	自動給紙で印刷を開始したときに、給紙カセットまたは給紙トレイに用紙がないと表示されます。 給紙カセット X(1、2 または 3) または給紙トレイに、表示されたサイズの用紙をセットすると、オンライン表示に切り替わり、印刷を開始します。	参照 「用紙のセット」(47 ページ) 参照
ヨウシ　ナシ　　　カセット ・・・・ヲ　イレテ　クダサイ	自動給紙を設定しているときに給紙カセットに指定されたサイズの用紙がないと表示されます。給紙カセット X(1、2 または 3) に、表示されたサイズの用紙をセットすると、オンライン表示に切り替わり、印刷を開始します。	参照 「給紙カセットに用紙をセットする」(47 ページ) 参照 参照 「大容量給紙ユニットに用紙をセットする」(54 ページ) 参照
ヨウシ　ナシ　　カセット× ・・・・ヲ　イレテ　クダサイ	印刷を開始したときに、給紙カセットに用紙がないと表示されます。給紙カセット X(1、2 または 3) に、表示されたサイズの用紙をセットすると、印刷可能状態に切り替わり、印刷を開始します。	参照 「給紙カセットに用紙をセットする」(47 ページ) 参照 参照 「大容量給紙ユニットに用紙をセットする」(54 ページ) 参照
ヨウシ　ナシ　キュウシトレイ ・・・・ヲ　イレテ　クダサイ	印刷を開始したときに、給紙トレイに用紙がないと表示されます。表示されたサイズの用紙をセットすると、印刷を開始します。	参照 「給紙トレイに用紙をセットする」(51 ページ) 参照
カセット　ナシ ・・・・ヲ　イレテ　クダサイ	すべてのカセット給紙口にカセットがないと表示されます。いずれかの給紙口にカセットをセットしてください。	

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
カセット　ナシ　　カセット× ・・・・ヲ　イレテ　クダサイ	印刷を開始したときに、指定した給紙カセットがないと表示されます。印刷するサイズの用紙を入れた給紙カセットをプリンタにセットすると、印刷を開始します。	
カミヅマリ 　×××××××××××	紙づまりが発生すると表示されます。 上部カバー、給紙カセット、プリンタ内部、排出部、両面ユニット、大容量給紙ユニットの中を確認してください。また、プリンタ内で紙づまりが発生した場合、給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、給紙トレイユニットを引き出して、プリンタの内部を確認してください。 ×はエラー箇所です。以下が表示されます。 ・カセット１ 　カセット１ ・カセット２ 　カセット２ ・カセット３ 　カセット３ ・キュウシトレイ 　給紙トレイ ・リョウメン　ユニット 　両面ユニット ・ハイシトレイ 　排紙部	参照 「紙づまりになったとき」（152 ページ）参照
カミヅ゛マリ　レジ゛スト テジ゛ュン　サンショウ−−−−→	プリンタ内部で紙づまりが発生すると表示されます。次の手順で用紙を取り除いてください。 ①給紙カセットを引き抜く ②給紙トレイを引き出す ③上部カバーを開け、プロセスカートリッジを取り出す ④プリンタ内部の用紙を取り除く 用紙搬送ガイドの下に用紙が隠れている場合があります。手で触って用紙がないか確認してください。	参照 「装置内部でつまった用紙を取り除く」（155 ページ）参照

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
リフトアップ　エラー 　ダイヨウリョウキュウシ	大容量給紙ユニットに給紙カセットをセットしてから、リフトアップトレイが規定の位置に上がっていない場合、および給紙カセットを抜いたときにリフトアップトレイが下がらない場合に表示されます。 大容量給紙ユニットの用紙を正しくセットし直してください。 ※用紙をセットし直してもエラーが消えない場合、大容量給紙ユニットが故障している可能性があります。この場合は、大容量給紙ユニットを取り外すか、大容量給紙ユニット内の給紙カセットを抜いてください。	参照 「大容量給紙ユニットに用紙をセットする」（54 ページ）参照
ハイシ　トレイ　フル カミヲ　トリノゾイテクダサイ	排紙トレイに用紙が溜まっている場合に表示されます。排紙トレイの用紙を取り除いてください。	
カバー　オープン 　×××××××××××××	カバーを開けていると表示されます。オペレータパネルに表示された箇所を確認してください。 ×はカバーが開いている箇所です。 ・ダイヨウリョウキュウシ　リア 　大容量給紙ユニットのカバー ・ウエ / ハイメンカバー 　上部カバー、背面カバー	
ヨウシサイズ　フイッチ ・・・・ヲ　イレテ　クダサイ	自動給紙で印刷を開始したときに、給紙カセットまたは給紙トレイの用紙サイズと、印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。給紙カセット X(1、2 または 3)、または給紙トレイに、表示されたサイズの用紙をセットすると、印刷を開始します。 また、給紙カセットの縦 / 横のガイドクリップが正しく設定されていない場合にも、表示される場合があります。縦 / 横のガイドクリップが正しく設定されていることを確認してください。	参照 「用紙のセット」（47 ページ）参照

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
サイズフイッチ　カセット× ・・・・ヲ　イレテ　クダサイ	印刷を開始したときに、給紙カセットＸ（1、2または3）にセットされている用紙サイズと、印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。表示されたサイズの用紙をセットすると、印刷を開始します。 また、給紙カセットの縦/横のガイドクリップが正しく設定されていない場合にも、表示される場合があります。縦/横のガイドクリップが正しく設定されていることを確認してください。	参照 「給紙カセットに用紙をセットする」（47ページ）参照 参照 「大容量給紙ユニットに用紙をセットする」（54ページ）参照
サイズフイッチ　　　カセット ・・・・ヲ　イレテ　クダサイ	プリンタドライバの「基本設定」で「自動給紙」を設定しているときに、給紙カセットの用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。いずれかのカセットに表示されたサイズの用紙をセットすると、印刷を開始します。	参照 「給紙カセットに用紙をセットする」（47ページ）参照 参照 「大容量給紙ユニットに用紙をセットする」（54ページ）参照
サイズフイッチ　キュウシトレイ ・・・・ヲ　イレテ　クダサイ	印刷を開始したときに給紙トレイにセットされている用紙サイズと、印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	参照 「給紙トレイに用紙をセットする」（51ページ）参照
サイズカクニン　××××× ・・・・ヲ　イレテ　クダサイ	印刷を開始したときに指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 ・××××× 給紙を行ったカセット、大容量給紙ユニットまたは給紙トレイ	参照 「用紙のセット」（47ページ）参照
サイズフソク　キュウシトレイ Ａ４　ヲ　イレテ　クダサイ	設定の印刷時にA5より小さい用紙がセットされています。A4サイズの用紙をセットするか、リセットスイッチで印刷を中止し、A5以上の大きさで再度印刷してください。	参照 「給紙トレイに用紙をセットする」（51ページ）参照
カートリッジ　イジョウ ＥＰカートリッジ　コウカン	純正品以外のプロセスカートリッジをセットすると表示されます。 純正のプロセスカートリッジをセットし直してください。	参照 「プロセスカートリッジの交換」（104ページ）参照
サイズエラー　カセット ・・・ヲ　イレテクダサイ	サポートしていない用紙をセットしたときに表示されます。給紙カセットＸ（1、2または3）に正しい用紙をセットしてください。	参照 「給紙カセットに用紙をセットする」（47ページ）参照

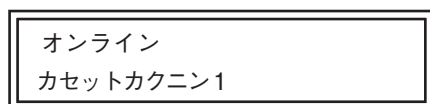
表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
ユニット　カクニン ××××	表示されたユニットが正しくセットされていない場合に表示されます。表示箇所を確認し、セットし直してください。両面ユニット、大容量給紙ユニットおよび定着器を装着する場合は、あらかじめ電源を切ってから作業を行ってください。 ×はエラー箇所です。（上段：エラー箇所、下段：確認箇所） ・キュウシトレイ 給紙トレイ ・リョウメンユニット 両面ユニット ・ダイヨウリョウキュウシ 大容量給紙ユニット ・ＦＵＳＥＲ ユニット 定着器	参照 「両面ユニットの取り付けかた」（76 ページ）参照 参照 「大容量給紙ユニットに用紙をセットする」（54 ページ）参照
カイゾウド　シテイムコウ インサツ　セッテイ　カクニン	プリンタが印刷できない解像度が指定された印刷データを受信したときや、長尺紙設定時に 600/1200dpi を指定した場合に印刷を中止して表示されます。 プリンタドライバの解像度を設定し直してください。	
メモリ　フソク カタメン　インサツ→セッテイ	メモリを増設していない状態でA3、B4、Legal、レターサイズの用紙を 1200dpi で両面印刷するときに、以下の状態の場合、表示されます。 ・プリンタドライバで「プロテクトモードで印刷する」を ☑ にしている ・プリンタドライバの「プロテクトモードで印刷する」が ☐ のとき、および印刷データの処理に必要なメモリが確保できないとき。 Printianavi 使用時は、「設定」スイッチを押す、または３秒経過すると片面で印刷します。 Printianavi 未使用時は、「設定」スイッチを押すと片面で印刷します。	参照 「プリンタ RAM モジュールの取り付けかた」（73 ページ）参照
メモリ　フソク インサツ　セッテイ　カクニン	メモリを増設していない状態でA3、B4、Legal、ユーザ定義サイズの用紙を 1200dpi で印刷する場合に、表示されることがあります。 ※プロテクトモードで印刷するを ☑ にしている場合は、必ず表示されます。	

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
メモリ　フソク １ブ　　インサツ→セッテイ	プリンタRAMモジュールを取り付けずに部単位印刷を設定して印刷を行った場合に表示されます。 Printianavi 使用時は、「設定」スイッチを押す、または3秒経過すると1部のみ印刷します。 Printianavi 未使用時は、「設定」スイッチを押すと 1 部のみ印刷します。 ただし、プリントサーバがWindows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003環境でPrintianaviを使用している場合、上記メッセージを表示後、部単位印刷を再開します。	
メモリ　オーバー １ブ　　インサツ→セッテイ	メモリを増設しているとき、部単位印刷を設定して行った印刷のデータ量が、部単位印刷用のメモリ残量より大きい場合に表示されます。 Printianavi 使用時は、「設定」スイッチを押す、または3秒経過すると1部のみ印刷します。 Printianavi 未使用時、「設定」スイッチを押すと 1 部のみ印刷します。 ただし、プリントサーバがWindows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003環境でPrintianaviを使用している場合、上記メッセージを表示後、部単位印刷を再開します。	
アンタ゛ーラン　エラー インサツ　セッテイ　カクニン	印刷中にアンダーランエラーが発生した場合に表示されます。 再度印刷するには、メモリを増設する、用紙のサイズを小さくする、またはドライバの解像度を下げてください。メモリを増設するときは、あらかじめ電源を切ってから行ってください。 ※アンダーランエラーは、印刷内容が複雑でプリンタの処理が追いつかない場合に発生します。	
シ゛ト゛ウ　キュウシ　ムコウ インサツ　セッテイ　カクニン	すべての給紙口に対し、メニューモードの自動給紙設定を「無効」にしているときに、自動給紙で印刷を行うと表示されます。給紙口を指定して印刷をし直してください。	

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
Ｃ０２　コントローラ　イジョウ ＲＡＭ１エラー	ROM および RAM の異常を検出すると表示されます。 いったん電源を切断し、再び投入してください。 それでもこのエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「ハードウェア修理相談センター」（191 ページ）へご連絡ください。 『Ｃ　１６　コントローラ　イジョウ』発生時は、電源を再投入するとプリンタの設定内容を工場出荷時の初期設定に戻します。 設定値を変更している場合は再度設定してください。	
Ｃ０３　コントローラ　イジョウ ＲＡＭ２エラー		
Ｃ０４　コントローラ　イジョウ ＣＧ－ＲＯＭ１エラー		
Ｃ０５　コントローラ　イジョウ ＣＧ－ＲＯＭ２エラー		
Ｃ０６　コントローラ　イジョウ ＣＧ－ＲＯＭ１２エラー		
Ｃ１３　コントローラ　イジョウ ＭＡＣアド゛レスエラー		
Ｃ１５　コントローラ　イジョウ Ｆｌａｓｈ－ＲＯＭ		
Ｃ１６　コントローラ　イジョウ トウロク　ショキカ　シマス		
Ｃ２１　コントローラ　イジョウ ＬＳＩエラー		
Ｃ２２　コントローラ　イジョウ ＥＥＰＲＯＭエラー		
Ｃ２３　コントローラ　イジョウ ＲＯＭ１チェックサムエラー		
Ｃ２４　コントローラ　イジョウ ＲＯＭ２チェックサムエラー		
Ｃ２５　コントローラ　イジョウ ＵＳＢエラー		
Ｅ０１　エンジン　イジョウ ＦＵＳＥＲイジョウ	ハードウェアの異常を検出すると表示されます。 いったん電源を切断し、再び投入してください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「ハードウェア修理相談センター」（191 ページ）へご連絡ください。	
Ｅ０２　エンジン　イジョウ ＲＯＳ　モータ　コショウ		
Ｅ０３　エンジン　イジョウ メイン　モータ　コショウ		
Ｅ０４　エンジン　イジョウ ファン　アラーム		
Ｅ０５　エンジン　イジョウ メモリ　イジョウ　Ｘ		

オペレータパネルの警告メッセージ

メンテナンス情報や給紙口のセット状態に関する警告を下段の１～９桁目に表示します。
警告メッセージが表示されても、印刷は続けることができます。
・警告表示の例

```
オンライン
カセットカクニン1
```

ガイド

警告が複数発生している場合、下記の表の上から順番に該当するエラーが表示されます。
※「カセットカクニン」と「トナーコウカン」のエラーが同時に発生した場合、「カセットカクニン」のエラーのみオペレータパネルに表示されます。「カセットカクニン」のエラーを回避後、「トナーコウカン」のエラーが表示されます。

表示メッセージ	表示内容と処置
カセットカクニン n	セットされていない給紙カセットがあると、表示されます。給紙カセットをセットしてください。（n：カセット番号）
サイズカクニン n	いずれかの給紙カセットに、使用できないサイズの用紙がセットされると表示されます。正しいサイズの用紙をセットしてください。（n：カセット番号）
トナーロー（＊）	トナーの残量が少なくなると表示されます。新しいプロセスカートリッジをセットしてください。 純正品以外のトナーを使用していると、「＊」が表示されます。
テイチャクキ	定着器の交換時期になると表示されます。「ハードウェア修理相談センター」（191 ページ）へご連絡ください。
ソウチジュミョウ	本装置の寿命として規定している印刷ページ数を超過した場合に表示されます。この警告が表示されても、ただちに印刷ができなくなるわけではありませんが、故障頻度が上昇することが予想されます。 また、この警告が表示されなくても、装置導入後５年を経過した場合は装置寿命となります。 参照 「プリンタの基本仕様」（180 ページ）参照
トナーコウカン	純正品以外のトナーを使用していると表示されます。純正のプロセスカートリッジをセットしてください。

7

運用編

付録

ここでは、プリンタを使用する際に補助的に必要となることがらについて説明します。

プリンタの基本仕様

以下に、XL-6300 の各仕様を示します。

印刷方式	電子写真方式
印刷速度 (コピー動作による連続印刷時)	普通紙 片面 両面 A4 40.0 ページ/分 30.5 ページ/分 (600dpi) A4 20.0 ページ/分 15.0 ページ/分 (1200dpi)
	・両面印刷にすると印刷速度は遅くなります。 ・厚紙モードにすると印刷速度は遅くなります。 ・不定形用紙の場合は、4 ページ/分以下になります。*4
ウォームアップ時間	約 40 秒以下 (22 ℃/ 55%RH 電源電圧 100V)
エンジン解像度	600dpi / 1200dpi(半速)
データ処理解像度	300dpi × 300dpi 600dpi × 600dpi 1200dpi × 1200dpi
スムージング処理	Super FEIT(1200dpi 以外) ※ FEIT=Fujitsu Enhanced Image Technology
用紙種類	・給紙トレイ 普通紙 (重量 60g/m^2 ~ 90g/m^2)、厚紙 (重量 91g/m^2 ~ 135g/m^2)、OHP フィルム、ラベル紙、はがき ・給紙カセット 普通紙 ・拡張給紙ユニット (オプション)/ 大容量給紙ユニット (オプション) 普通紙
用紙サイズ	・給紙トレイ A3、B4、A4、B5、A5、リーガル、レター、ユーザ定義サイズ (幅 100 ~ 297mm、長さ 148mm ~ 420mm)、長尺紙 (幅 297mm 固定、長さ 420.1mm ~ 900.0mm) 官製はがき ・給紙カセット (標準) A3、B4、A4、B5、A5、リーガル、レター ・拡張給紙ユニット (A3)(オプション) A3、B4、A4、B5、A5、リーガル、レター ・拡張給紙ユニット (A4)(オプション) A4、B5、A5、レター ・大容量給紙ユニット (オプション) A4、レター
給紙方式 *1	給紙カセットによる自動給紙 (収容枚数 500 枚、拡張給紙ユニット使用時最大 3200 枚) 給紙トレイによる自動給紙 (収容枚数 200 枚 (はがき横 75 枚、厚紙 75 枚、OHP フィルム 75 枚))
両面印刷 (オプション)	A3、A4、A5、B4、B5、レター、リーガル ※:普通紙 (60g/m^2 ~ 90g/m^2) のみ
排紙方法 *1	フェースダウンスタッカ (スタック枚数 500 枚)
使用環境条件	温度 10 ℃~ 32 ℃ 湿度 15%~ 85%RH(ただし、温度 28 ℃以上のときは湿度 70%RH 以下、湿度 70%RH 以上のときは温度 28 ℃以下、結露しないこと)

電源・電源周波数	AC100V ± 10%、50/60 Hz
消費電力	動作時　1100W 以下、節電時　25W 以下（節電モード後 30 分間は 25W、30 分以降は約 15W） 平均消費電力：700W 以下（片面連続印刷時） 電源オフ時：0W*5
突入電流	最大突入電流　120A 以下（電源 ON 時　突入時間：10m 秒以下）
騒　音	動作時 54dB(A)、待機時 34dB(A) (フルオプション 58dB(A))
外形寸法	幅 490mm、奥行き 460mm、高さ 395mm（本体のみ） 幅 490mm、奥行き 585mm、高さ 395mm（A　3カセット装着時）
質　量	約 25kg（給紙カセット、消耗品を除く） 約 28kg（消耗品を除く）
インタフェース	IEEE 1284 双方向パラレルポート USB1.1 準拠 USB インタフェース 100Base-TX/10Base-T LAN ポート
プリンタシーケンス *2	XL プリンタドライバ、ESC/P
文字・書体	ESC/P 用：ANK、明朝体、ゴシック体
耐用期間 *3	5 年 (8 時間 / 日) または 100 万ページ印刷 (A4 サイズ横送り) のいずれか早い方

*1：収容枚数は $64g/m^2$ にて換算

*2：データ処理解像度

・XL プリンタドライバ :1200dpi/600dpi/300dpi(スーパー FEIT:2400dpi × 600dpi 相当)

・ESC/P:180dpi(FEIT:600dpi 相当)

*3：・本製品には、下表の定期交換部品が含まれています。安定してご使用いただくためには、定期的な交換が必要となります。交換時期の目安は下表をご覧ください。また、本製品には下記の有寿命部品が含まれています。交換時期の目安は使用頻度や条件によって異なりますが、適切な使用環境 (22 ℃) において、約 5 年 (8 時間 / 日、200 時間 / 月)、または 100 万ページ印刷 (A4 サイズ横送り) のいずれか早い方です。この耐用期間はあくまでも目安であり、無故障の動作や無償修理を保証するものではありません。また、動作保証環境内の運用であっても寿命を保証するものではなく、特に動作保証環境の上限 / 下限での連続使用による故障は無償修理期間内であっても有償修理となる場合があります。12,000 時間 (約 5 年を時間換算) を超えて長時間使用した場合は、早期の部品交換が必要となります。

・本製品は２４時間以上の連続使用（常時通電含む）を前提とした設計にはなっておりません。

・A4 より大きく長い用紙を使用する場合は、耐用期間が 100 万ページより短くなります。

・定期交換部品料金および交換作業費は有償です。費用の支払い方法については、契約保守サービスの締結の有無、および契約内容によって異なります。詳しくはカタログや「FMWORLD.NET」をご参照、または「ハードウェア修理相談センター」（191 ページ）にご相談ください。

定期交換部品	交換目安	表示メッセージ
定着器（除電シート含む）	10 万ページ印刷 (A4 サイズ横送り)	テイチャクキ
用紙搬送ロールキット（給紙トレイ、給紙カセット、大容量給紙ユニット）	20 万枚印刷 (A4 サイズ横送り)	なし
転写ロール	20 万ページ印刷 (A4 サイズ横送り)	なし

＊ A4 サイズ横送り / 片面印刷時　1 枚＝ 1 ページ

＊ A4 サイズ横送り / 両面印刷時　1 枚＝ 2 ページ

付

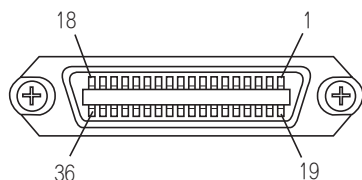
・主な有寿命部品
光学ユニット（ROS）、電源、用紙搬送ガイド、用紙搬送ローラ等
・本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、耐用期間を超えて使い続けると電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となることがありますので、早期に交換してください。
・部品の交換は、弊社の定める補修用性能部品単位で行います。
「ハードウェア修理相談センター」（191 ページ）にご連絡ください。交換は有償です。
・定期交換部品、補修用性能部品の保有期間は、プリンタ本体の製造終了後５年間です。
・プロセスカートリッジ、用紙等の消耗品は、お客様ご自身で新品を購入し、交換してください。

*4：用紙幅、用紙長の組み合わせにより印刷速度は変わります。定着器を保護するため、用紙幅の狭い用紙に印刷する場合には、印刷速度は低下します。
*5：電源プラグがコンセントに差し込まれていても、電源スイッチが OFF の場合、電力の消費はありません。

インタフェース仕様

パソコンとのインタフェースは、パラレルインタフェースおよび USB インタフェースを採用しています。

●パラレルインタフェース仕様とコネクタピン配列

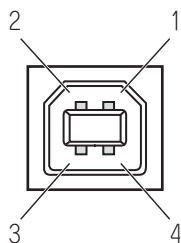
・基本仕様
IEEE 1284 に準拠した双方向パラレルインタフェース
・インタフェースコネクタ
プリンタ側：36 極コネクタ（メス） アンフェノール 57-40360 相当品
・ケーブル
1.5m 以下のケーブルを使用してください。
（雑音対策にはツイストペア線を使用し、シールドされていること。）
・信号レベル
LOW：0.0V ～＋ 0.4V HIGH：＋ 2.4V ～＋ 5.0V
・データ転送方式
８ビットパラレル
・コネクタピン配列

インタフェースコネクタ(36ピン)

ピン番号	信号名称	発信元
1	＊ Strobe	パソコン
2	Data 1	パソコン
3	Data 2	パソコン
4	Data 3	パソコン
5	Data 4	パソコン
6	Data 5	パソコン
7	Data 6	パソコン
8	Data 7	パソコン
9	Data 8	パソコン
10	＊ Ack	プリンタ
11	Busy	プリンタ
12	Perror	プリンタ
13	Select	プリンタ
14	＊ AutoFd	パソコン
15	—	–
16	SG	–
17	FG	–
18	+5Vsignal	プリンタ
19	-RET	–

ピン番号	信号名称	発信元
20	-RET	ー
21	-RET	ー
22	-RET	ー
23	-RET	ー
24	-RET	ー
25	-RET	ー
26	-RET	ー
27	-RET	ー
28	-RET	ー
29	-RET	ー
30	-RET	ー
31	＊ Init	パソコン
32	＊ Fault	プリンタ
33	-RET	ー
34	—	ー
35	—	ー
36	＊ SelectIn	パソコン

注）“＊”は、負論理信号であることを示します。
-RET 信号は、すべて SG に接続されています。

● USB インタフェース仕様とコネクタピン配列

・基本仕様
USB 仕様の Revision1.1 準拠
・インタフェースコネクタ
プリンタ側：B レセプタクル（メス）
・ケーブル
XL-CBLU2 または、5m 以下の USB 仕様 Revision1.1 以上に適合したケーブル（雑音対策にはツイストペア線を使用し、シールドされていること。）
・伝送モード
フルスピード（最大 12Mbps）
・電力制御
セルフパワーデバイス
・USB ピン配列

ピン番号	信号名称	機能
1	vbus	電源（+5v）
2	D-	データ転送用
3	D+	データ転送用
4	GND	信号グランド

オプション品一覧

●拡張給紙ユニット / 大容量給紙ユニット

品名	型名	内容
拡張給紙ユニット(A3)	XL-EF50T1	2 段目、3 段目の給紙ユニットとして使用できます。 A3 ～ A5 サイズ対応、500 枚セット可能な給紙カセットが添付されています。 (標準給紙カセット、サプライ品の給紙カセット(A3 ユニバーサル)と同じ)
拡張給紙ユニット(A4)	XL-EF50T3	2 段目、3 段目の給紙ユニットとして使用できます。 A4 ～ A5、レターサイズ対応、500 枚セット可能な給紙カセットが添付されています。 (サプライ品の給紙カセット (A4) と同じ) XL-6300 専用
大容量給紙ユニット	XL-HF200T3	2 段目または 3 段目の給紙ユニットとして使用できます。ただし、必ず最下段になるように装着してください。 A4、レターサイズ対応、2000枚セット可能です。 XL-6300 専用

●両面ユニット

品名	型名	内容
両面ユニット	XL-DUPT1	両面印刷用のユニットです。

●プリンタ RAM モジュール

品名	型名	内容
プリンタRAMモジュール-64MB	XL-EM64M5	RAM を 64MB 搭載したメモリモジュールです。
プリンタRAMモジュール-128MB	XL-EM128M5	RAM を 128MB 搭載したメモリモジュールです。

●プリンタ LAN アダプタ

品名	型名	内容
プリンタLANアダプタ	FM-LNA110	100BASE-TX/10BASE-T に対応した LAN アダプタです。NetWare 3.1xJ、IntranetWare、NetWare5 に対応しています。

●プリンタケーブル

・パラレルインタフェースケーブル

品名	型名	備考
プリンタケーブル	FMS-CBL711	PRIMERGY/GRANPOWER 5000 シリーズに接続できます。
プリンタケーブル	FMV-CBL712	FMV シリーズ、各社 AT 互換機に接続できます。

・USB ケーブル

品名	型名	備考
プリンタUSBケーブル	XL-CBLU2	Windows 98/Me/2000/XP/Windows Server 2003 が動作するパソコンに接続できます。本ケーブルは USB2.0 に対応していますが、本プリンタとの接続時は USB1.1 で動作します。

サプライ品一覧

サプライ用品の商品番号を次の表に示します。
これらの品物については、本製品をお買い求めの販売店へご相談ください。
PPC 用紙および普通紙を使用することができますが、より良い印刷品質が得られるよう、下記の推奨用紙のご使用をお勧めします。

⚠ 警告

故 障	プロセスカートリッジは、本製品専用品を取り付けてください。専用品以外のプロセスカートリッジを取り付けると、プロセスカートリッジおよびプリンタ本体の故障の原因となる恐れがあります。

商品名		商品番号	備考
普通紙推奨用紙 オフィス用紙 W	A3	0411650	500 枚× 3 冊で 1 ケース
	B4	0411620	500 枚× 5 冊で 1 ケース
	A4（Y）	0411612	
	B5（Y）	0411645	
	A5（Y）	0411635	
再生オフィス用紙 EC100 （100% 再生紙）	A3	0414355	500 枚× 3 冊で 1 ケース
	B4	0414325	500 枚× 5 冊で 1 ケース
	A4	0414315	
	B5	0414345	
モノクロ LBP 用長尺用紙		0421020	プリンタドライバで「用紙種類」を「厚紙」に設定してください。
プロセスカートリッジ LB314A		0836110	A4 用紙で有効画像面積に対して画像面積比率が 5% 以下のときに、印刷寿命は約 6,000 枚です（印刷の内容により、多少の差があります）。
プロセスカートリッジ LB314B		0836120	A4 用紙で有効画像面積に対して画像面積比率が 5% 以下のときに、印刷寿命は約 15,000 枚です（印刷の内容により、多少の差があります）。
LB309 給紙カセット （A3 ユニバーサル）		0877310	サイズ ：A3 ～ A5 枚数 ：500 枚（推奨用紙） 本体および拡張給紙ユニット（XL-EF50T1）添付のカセットと同一品です。
LB314 給紙カセット （A4）		0836310	サイズ ：A4 ～ A5 枚数 ：500 枚（推奨用紙） 拡張給紙ユニット（XL-EF50T3）添付のカセットと同一品です。 XL-6300 専用
レーザプリンタ置台		0530580	デスクサイド専用置台 外形寸法 600(W) × 610(D) × 440(H)mm

付

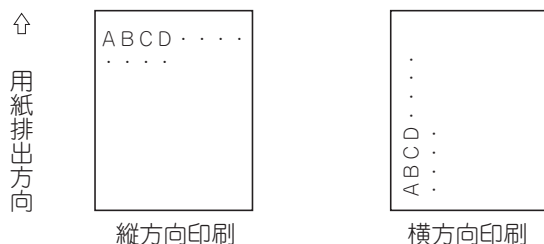
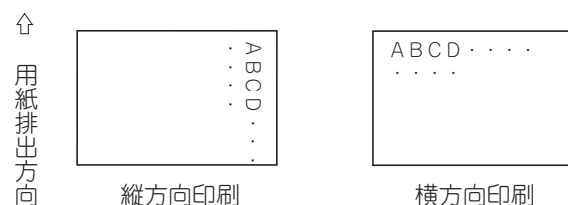
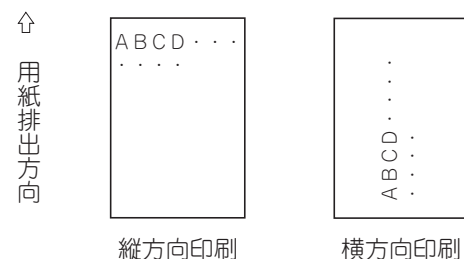
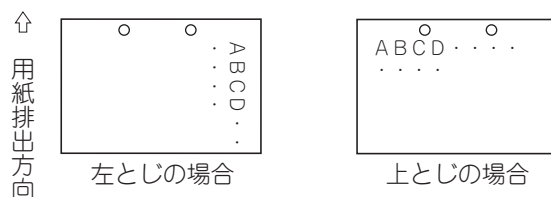
ガイド

- プロセスカートリッジは、純正品をご使用ください。リサイクル品や他社製サプライ品を使用されますと、印字品質の低下、故障および装置破損の原因となることがあります。
- 100%再生紙に印刷した場合、しわやカールが発生する場合があります。

用紙関係

本プリンタは、給紙カセットと給紙トレイを使い分けることによって、いろいろな用紙を使うことができます。以下に、それぞれの給紙方法と用紙サイズとの対応を示します。

●印刷方向

・A3、B4、リーガル、長尺紙サイズの用紙の場合

・A4、A5、B5、レター、はがきサイズの用紙の場合

・ユーザ定義サイズの用紙の場合

とじ穴のある A 4サイズの用紙を使用する場合は、「印刷方向」の指定に合わせてとじ穴の位置が正しくなるようにセットします。

ガイド

用紙方向、印刷の向きに関する設定は、プリンタドライバで設定できます。

参照 プリンタドライバのヘルプ、または『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

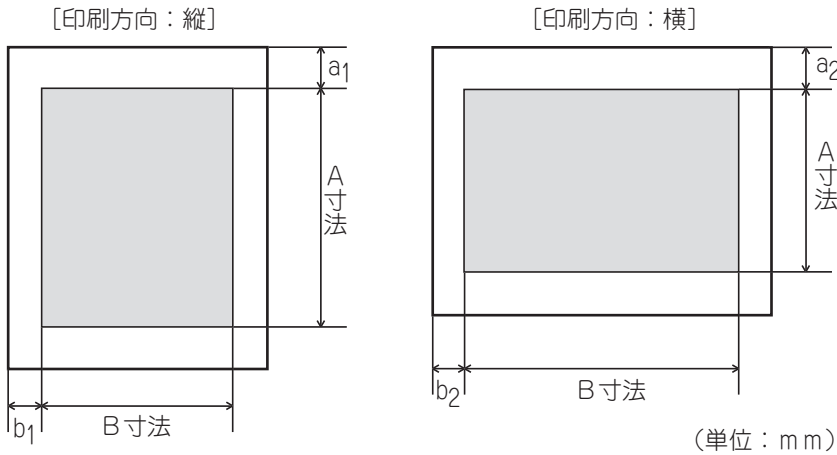
●印刷可能領域

本プリンタで印刷できる、各用紙サイズの印刷可能領域は次のとおりです。

［印刷方向：縦］

a1
A寸法
b1
B寸法

［印刷方向：横］

（単位：mm）

・Printia XL ドライバ使用時
a1=a2=5mm、b1=b2=5mm

用紙方向	用紙サイズ	A 3	B 4	A 4	B 5	A 5	リーガル	レター	はがき
縦方向	A 寸法	410	354	287	247	200	346	270	138
	B 寸法	287	247	200	172	138	206	206	90
横方向	A 寸法	287	247	200	172	138	206	206	90
	B 寸法	410	354	287	247	200	346	270	138

・ESC/P モード使用時
a1=a2=8.5mm または 22mm(はがき :10mm)、b1=b2=5mm

用紙方向	用紙サイズ		A 3	B 4	A 4	B 5	A 5	リーガル	レター	はがき
縦方向	A 寸法	8.5mm 時	399.5	343.5	276.5	236.5	189.5	335	259	128
		22mm 時	386	330	263	223	176	321.5	245.5	128
	B 寸法		287	247	200	172	138	206	206	90
横方向	A 寸法	8.5mm 時	276.5	236.5	189.5	161.5	127.5	195	195	78.5
		22mm 時	263	223	176	148	114	182	182	78.5
	B 寸法		410	345	287	247	200	345	269	138

アフターサービスについて

・お買い求めの際に販売店でお渡しする保証書は、大切に保管してください。
・保証書は日本国内のみで有効です。
・無償保証期間は、お買い上げ日より６ケ月です。詳細は保証書をご覧ください。
・本製品の保守部品の最低保有期間は製造終了後５年です。ご了承ください。
・分解、改造などを行わないでください。無償保証の期間内でも無償修理が受けられないことがあります。
・プリンタのご使用にあたっては、純正のサプライ用品をお使いください。純正のサプライ用品以外の用品をお使いになったことによる製品の誤動作および故障に関しましては、当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。
・故障の際は下記にご連絡ください。
「ハードウェア修理相談センター」
　フリーダイヤル：0120-422-297
　　受付時間：平日 9:00 〜 17:00
　　（土曜・日曜・祝日および当社指定の休日を除く）
・プリンタのご使用に関する技術的なご相談は、下記にご連絡ください。
『富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口』
　フリーダイヤル：0120-950-222
　　受付時間：平日 9:00 〜 17:00
　　（土曜・日曜・祝日およびメンテナンス日を除く）

●使用済みプロセスカートリッジの回収サービス

富士通株式会社では、地球環境への配慮から使用済みプロセスカートリッジを無償で回収しております。
下記の『エコ受付センター』にご連絡をいただければ、回収便にて引き取りにうかがいます。お客様のご理解とご協力をお願いいたします。
『エコ受付センター』
　フリーダイヤル：0120-30-0693
　　平日 8:40 〜 12:00 および 13:00 〜 17:30
　　（土曜・日曜・祝日・年末年始を除く）

付

●修理装置の返却準備 ～お客様へ～

「ハードウェア修理相談センター」に連絡した結果、修理装置の返却が必要と判断された場合は、輸送時のトラブル防止のため、以下の手順で準備いただきますようお願い申し上げます。

設定の一覧を印刷する

オペレータパネルで次の操作を行い、設定を復元するために必要な情報を印刷します。

① 印刷可能状態

↓「メニュー」スイッチ押下

②

↓「▼」スイッチ押下

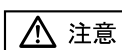
↓「設定」スイッチ押下

↓

③ 印刷終了

2 拡張給紙ユニットを取り外す

参照 「拡張給紙ユニットを取り外す」（83 ページ）参照

参照 「大容量給紙ユニットを取り外す」（91 ページ）参照

⚠ 注意	けが	・必ず２人で行ってください。 ・プリンタの電源スイッチを切り、ケーブル類（電源コード、パラレルケーブル、USB ケーブル、LAN ケーブル）を外してから行ってください。

索　引

は

ふ

ほ

め

よ

ら

り